

COTOHA Meeting Assist

管理者マニュアル

最終更新：2023 年 7 月

NTTコミュニケーションズ株式会社

この度は「COTOHA Meeting Assist」をご契約いただき、ありがとうございます。

本書は「COTOHA Meeting Assist」の主に管理者さまが行っていただくサーバーの管理設定や、メールやウェブといったホスティング機能について必要事項・重要事項等をご説明しています。


快適にご運用いただく為に、ご運用開始前に必ずお読みください。

本書では「COTOHA Meeting Assist」を全て「本サービス」と表記しています。本サービスではお客様のサーバー運用において、トラブルなく円滑にご利用いただく為に、様々なツールや情報を提供しております。ご利用の際は予め設定を行う必要がございます。管理者様におきましては、本書をご覧いただき、設定に過不足がないよう心がけてください。


サービスの仕様変更により、本書の内容とサービスが一致しない場合がありますので、ご了承ください。

表示やマークについて


サーバーを利用する契約者、または利用者が損害を受ける可能性のある事や、サーバーが利用不可となる可能性があることを、回避法とともに記載しています。

 注意	ご確認をお願いいたします。未確認の場合、一時的にサービスを利用できない等の不都合が生じる可能性があります。
--	---

禁止行為は禁止マークが入っています

 禁止	禁止事項を示しています。
--	--------------

その他の表示

 アドバイス	知っておくと便利なこと、知っておいていただきたいこと
---	----------------------------

本書および本書以外のマニュアルについて

ご利用の用途・目的毎に別冊のマニュアルがあります。

様々なご利用方法がありますので、ご覧いただく事をお薦めします。

マニュアル名	用途・目的	対象
セットアップマニュアル	本サービスを初めてご利用いただく際に必要な設定マニュアル ・ 利用準備（ユーザー作成、セキュリティ設定等） ・ ウェブサーバーとして利用する場合の設定手順 ・ メールサーバーとして利用する場合設定手順	管理者
管理者マニュアル（本書）	本サービスの設定マニュアル ・ CGI/データベース（MySQL）などの設定 ・ アクセスレポート（Piwik）のご利用方法等	管理者
【別冊】 二要素認証設定マニュアル	二要素認証のクライアントアプリ（Authy）の設定マニュアル	管理者
利用者マニュアル	利用者向け設定及び、ご利用マニュアル ・ ミーティング／議事録管理の利用方法 ・ タスク管理機能の利用方法 ・ メール機能の設定方法 ・ ファイル機能の利用方法 ・ 各種ツール など	利用者
【別冊】 メール設定マニュアル （M&WPremiumR2 共通）	メールソフト Outlook 等の設定マニュアル	利用者
【別冊】 Active!mail 利用マニュアル （M&WPremiumR2 共通）	ウェブメール機能 Active!mail の利用マニュアル	利用者

目次

1. 事前準備	6		
1.1. ご利用内容のご案内について	6		
2. 管理者画面	7		
2.1. ログイン・ログアウト	7		
2.2. 管理者画面の表示内容	9		
2.3. リソース使用状況	11		
3. 管理者ユーザー設定	14		
3.1. パスワード	14		
3.2. 二要素認証	20		
4. ドメイン	24		
4.1. ドメインについて	24		
4.2. ドメインの登録方法	26		
4.3. ドメインの設定変更	33		
4.4. ドメインの削除	34		
5. ユーザー	38		
5.1. ユーザーの種類	38		
5.2. ユーザーの作成	43		
5.3. ユーザーの設定変更	47		
5.4. ユーザーの停止	49		
5.5. ユーザーの削除	50		
5.6. ユーザーの一括登録	52		
6. 音声認識・翻訳エンジン	57		
6.1. 音声認識・翻訳エンジンの種類	57		
6.2. 音声認識・翻訳エンジンの設定	59		
7. メールサーバー	61		
7.1. メールサーバーの概要	61		
7.2. メールアドレス	63		
7.3. メーリングリスト	70		
7.4. 受信サーバー設定	82		
7.5. ウェブメール	85		
7.6. メール分析	91		
8. ウェブサーバー	100		
8.1. ウェブサーバーの概要	100		
8.2. SSL/TLS 証明書	107		
8.3. サイトアクセス制限	125		
8.4. サイト編集権限	137		
8.5. サイトバックアップ	142		
8.6. 自動応対	151		
8.7. ウェブサイト分析	155		
9. アプリケーション	163		
9.1. アプリケーション概要	163		
9.2. 基本アプリ	164		
9.3. 追加アプリ	176		
9.4. データベース	195		
10. システム	214		
10.1. 定期実行タスク	214		
10.2. IP アクセス制限	220		
10.3. ファイルバックアップ	227		
11. ディレクトリ構成	229		
11.1. ディレクトリの概要	229		
11.2. システム領域のディレクトリ	230		
11.3. ウェブ領域のディレクトリ	232		
11.4. ユーザー領域のディレクトリ	234		
12. サービスのご利用にあたって	235		
12.1. 本サービスの提供形態に関する注意	235		
12.2. サポートに関する注意事項	236		
12.3. 本サービス保全に関する注意事項	237		

1. 事前準備

MEMO

1. 事前準備

1. 事前準備

サービスの利用開始前に、管理者により実施する必要のある設定を説明します。

1.1. ご利用内容のご案内について

「ご利用内容のご案内」について、各記載内容を説明します。サービスの利用やお問い合わせに必要な情報が含まれておりますので、必ず大切に保管してください。

< 1 枚目 >

お客さま番号

ご契約に紐づく識別番号で、
N から始まる 10 ケタの番号です。
お問い合わせや契約変更の際に必要です。

docomo business **ご利用内容のご案内** N123456789

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
このたびは、弊社サービスをお申し込みいただきまして、誠にありがとうございます。
お申し込みいただきましたサービスについて、下記の通りお受け致しました。
お客さま情報や設定に関する情報をご案内しておりますので、大切に保管してください。
敬具

■お客さま情報

ご注文内容	新設/変更
ご利用開始日	****年**月**日
ご契約者名	NTTコミュニケーションズ
ご契約に関する連絡先	
部課名	
お名前	
お電話番号	
メールアドレス	
お客さま番号	N*****
ご利用サービス名	COTOHA Meeting Assist

※旧字体等は新字体に代用したり、文字数が多い場合は一部省略して表示・印刷する場合があります。何卒ご容赦ください。

口座振替依頼(変更) URL	https://information.ocn.ne.jp/kofuri/index.php
----------------	---

■通信欄

< 2 枚目 >

コントロールパネル情報

お客さまが利用するサーバーの URL と
管理者用の ID・パスワードです。
管理者用の ID はお問い合わせにも必要
です。

サポート情報

ご契約に関するお問い合わせは、こちら
に記載されている「お客さまサポートサ
イト」からご連絡ください。

なお、お問い合わせの際には、**お客さま
番号**と**管理者用ユーザーID**が必要です。

N123456789

■ご利用サービス情報

基本サービス	COTOHA Meeting Assist
CPU・メモリ(1CPU/8GB毎) ※1	
ディスク容量(GB) ※2	
APIパック(G) ※3	

※1 初期値と合わせて最大16コア、128GBまで追加可能
※2 初期値と合わせて最大1TB (1,000GB)まで追加のみ可能 (追加依頼は5回まで可能)
※3 最大50個まで追加可能

■ドメイン情報

ドメイン情報1	
ドメイン情報2	
ドメイン情報3	
ドメイン情報4	

■コントロールパネル情報

ユーザーID (管理者用)	cd80xxxx
パスワード (管理者用)	abcdefg (E・F・G・H・I・J・K・L・M・N・O・P・Q・R・S・T・U・V・W・X・Y・Z・数字・記号) ※ WebメールのユーザーIDは「sysadmin」、パスワードは上記パスワードと同じものです。
コントロールパネルURL	https://bizmw-login.com/c80****/login ※ サービスとしての正式なご利用開始日からとなります。ご利用開始日より前にアクセスできる場合がありますが、その際の動作保証は致しておりませんのでご了承ください。

■サポート情報

サービスに関する質問、お問合せ先 ※4	お客さまサポートサイトのお問い合わせページからお問い合わせください。 お客さまサポートサイト URL: https://support.ntt.com/cotoha-ma/
故障時のお問合せ先 ※5	※ お問合せをいただく際には、お客さま番号 (Nから始まる10ケタの番号) と管理用ユーザーID (cd80から始まる8ケタの番号) が 必要になります。 営業時間: サービスに関する質問、お問合せについて: 平日9:00~18:00 (土、日、祝日、年末年始を除く) ※ お問い合わせの受付は24時間行っておりますが、回答は営業時間内とさせていただきます。 故障について: 年中無休
得意先に関するお問い合わせ先	フリーダイヤル: 0120-506-100 営業時間: 平日9:00~17:00 (土、日、祝日、年末年始を除く)

※4 ご利用開始日より前のお問い合わせにはお答えいたしかねる場合がありますのでご了承ください。
※5 COTOHA Meeting Assistの工事故障情報のメール配信をご希望の方は、ご利用前に必ず、「お客さまサポートサイト」(<https://support.ntt.com/cotoha-ma/>)にて、
お客さまご自身のメールアドレスをご登録いただけますようお願いいたします。(未登録の場合、工事故障連絡をメールで受け取ることができませんので、ご注意ください。)

1.

2. 管理者画面

本サービスは、ログインするユーザーが管理者か利用者かにより、表示内容及び利用可能な機能が異なります。

2.1. ログイン・ログアウト

2.1.1. ログイン

お客様開通案内のコントロールパネル情報に記載された URL にアクセスし、「ユーザーID（管理者用）」と「ユーザーパスワード」を入力します。



The image shows a login form for COTOHA Meeting Assist. At the top, there is a light blue header bar containing the COTOHA logo (a yellow circle) and the text "COTOHA Meeting Assist". Below the header, there are two input fields. The first field is labeled "ユーザーID" (User ID) and has a red person icon to its left. The second field is labeled "パスワード" (Password) and has a red briefcase icon to its left. Below the password field, there is a blue link that says "二要素認証を設定している場合はこちら" (Click here if you have two-factor authentication set up). At the bottom of the form, there is a large blue button labeled "ログイン" (Login).

2. 管理者画面

2.1.2. ログアウト

サービスの利用を終了するときは、ログインしている状態を解消するために［ログアウト］という作業を行います。セキュリティを保つ上で大切な作業ですので、忘れずに行ってください。

- ① サービス画面右上のユーザーIDが表示されたボタンをクリックし、プルダウンから[ログアウト]をクリックします。

※ボタンには、現在ログイン中のユーザーIDが表示されています。



- ② ログイン画面に戻りましたら、ログアウト完了です。

2. 管理者画面

2.2. 管理者画面の表示内容

管理者でログインした場合に利用可能な機能を示します。本サービスでは、ログインするユーザーが管理者と利用者とで、表示される機能が異なります。

管理者でログイン時のホーム画面



2.2.1. 管理者設定

サーバー管理者およびドメイン管理者にはサービス画面左側に[管理者設定]メニューが表示されます。

メニュー名	概要
ドメイン	ドメインのサーバーへの登録・削除および設定が行えます。
ユーザー	ユーザーの作成と削除・設定変更が行えます。
メールサーバー	メールアドレス/メーリングリスト/迷惑メールフィルタリング/の登録・削除、ウェブメール（Active! mail）の管理者ログイン、メール分析が行えます。
ウェブサーバー	SSL/TLS 証明書、サイトアクセス制限、サイト編集権限、サイトバックアップ、ウェブサイト分析が行えます。
アプリケーション	基本アプリ、追加アプリ、データベースの設定が行えます。
システム	定期実行タスク、IP アクセス制限、ファイルバックアップが行えます。
管理者サポート	マニュアル、よくあるご質問、お問い合わせ、各種お手続きが行えます。

2. 管理者画面

2.2.2. サーバ基本情報

ご契約いただいているサーバーの基本情報を表示しています。

表示項目	概要
契約プラン	COTOHA Meeting Assist が表示されます。
オプション	契約中の API オプションが表示されます。 API オプションなし / API パック (G)
アカウント名	お客様アカウント名が表示されます。
IP アドレス	サーバーの IP アドレスが表示されます。
ドメイン名	サーバーに登録されているドメインが表示されます。

2.2.3. リソース契約状況

ご契約いただいているサーバーのリソース契約状況を表示しています。

表示項目	概要
CPU/メモリ	契約中の CPU コア数とメモリ容量 (GB) を表示しています
ディスク容量	契約中のディスク容量 (GB) が表示されます。
ディスク追加回数	ディスク容量の追加申し込み回数を表示しています。 ※申し込みは最大で 5 回までとなります。

2. 管理者画面

2.3. リソース使用状況

ご契約いただいているリソースの使用状況を表示しています。

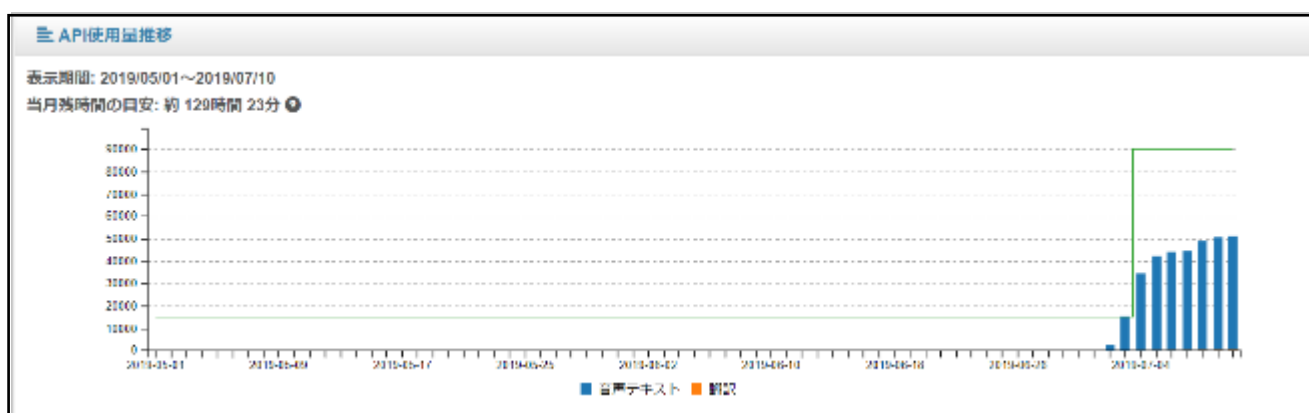
2.3.1. API 使用量

API パック（G）の現在のご利用状況と推移を確認します。サーバー管理者のみが閲覧可能です。

「API 使用量」が当月の契約量に対する使用率が百分率で表示されます。



「API 使用量推移」ボタンをクリックすると、前々月から当日までの API 使用量の推移が表示されます。



2. 管理者画面

2.3.2. API 使用量の警告

ご契約いただいている API パック（G）の使用量に応じて、サーバー管理者のホーム画面に警告が表示され、メールが送信されます。

契約量の 80%、90%を超えた場合は、警告の表示とメール通知ですが、100%を超過した時点でテキスト化・翻訳機能が使えなくなりますのでご注意ください。

また、通知先は、サーバー管理者宛およびパスワード再設定用 URL 通知メールアドレスで、送信タイミングは 15 時です。

API 使用量が 80%、90%を超えた場合

- 画面の警告例



- メール例

From: <cXXXXXXXX@cXXXXXXXX.mwprem.net>
To: <cXXXXXXXX@cXXXXXXXX.mwprem.net>, <パスワード再設定用 URL 通知メールアドレス>
Subject: [重要] COTOHA Meeting Assist API 使用量に関するご案内
COTOHA Meeting Assist 管理者様
COTOHA Meeting Assist をご利用いただき、ありがとうございます。
ご利用中の API 使用量が ● % を超過しました。
API 使用量が 100% を超えますとサービスの一部機能がご利用いただけません状態となります。
引き続きサービスのすべての機能をご利用いただくためには API の追加を申し込み頂く必要がございます。
追加の申し込みやご不明点がございましたら公式 HP をご覧ください。
<https://www.ntt.com/business/services/application/ai/cotoha-ma.html>
※本メールは、配信専用です。このメールに返信いただいても対応できませんのであらかじめご了承ください。

API 使用量が 100%を超えた場合

- 画面の警告例



2. 管理者画面

- メール例

From: <cXXXXXXXX@cXXXXXXXX.mwprem.net>
To: <cXXXXXXXX@cXXXXXXXX.mwprem.net>, <パスワード再設定用 URL 通知メールアドレス>
Subject: [重要] COTOHA Meeting Assist API 使用量に関するご案内
COTOHA Meeting Assist 管理者様
COTOHA Meeting Assist をご利用いただき、ありがとうございます。
ご利用中の API 使用量が 100%を超過しました。
現在一部機能がご利用いただけない状態になっています。
引き続きサービスのすべての機能をご利用いただくためには API の追加を申し込み頂く必要がございます。
なお翌月に使用量がリセットされ、再びすべての機能がご利用いただけるようになります。
追加の申し込みやご不明点がございましたら公式 HP をご覧ください。
<https://www.ntt.com/business/services/application/ai/cotoha-ma.html>
※本メールは、配信専用です。このメールに返信いただいても対応できませんのであらかじめご了承ください。

2.3.3. ディスク使用量

ご契約いただいているディスク容量の内、使用中のディスク容量をパーセンテージで表示します。
利用されているパーセンテージに応じてメーターの表示カラーが変化します。



ディスク使用率 (%)	0-60	61-80	81-90	91-100
メーター表示色	グリーン	イエロー	オレンジ	レッド

3. 管理者ユーザー設定

3. 管理者ユーザー設定

3.1. パスワード

3.1.1. パスワード変更

管理者初期設定として、管理者の初期パスワードの変更を行う手順をご説明します。変更したパスワードはお客様自身で厳重に管理してください。

1. ホーム画面右上の管理者のユーザーID をクリック後、[パスワード]をクリックします。



2. 「現在のパスワード」、「新規パスワード」、「パスワードの変更」を入力して[保存]ボタンをクリックします。

パスワード設定

パスワードの変更とパスワードリセット時の再設定用URL通知先メールアドレスの設定ができます。

現在のパスワード(必須)

現在のパスワードを入力

パスワードの変更(任意)

半角英小文字(a~z)、半角英大文字(A~Z)、半角数字(0~9)、半角記号(@#\$%^&*()_+=&-)のそれぞれ最低1文字を含めた8文字以上

新しいパスワードを入力

パスワードの強度:

新しいパスワードを入力(確認用)

パスワード再設定用URL通知メールアドレス(任意) ?

メールアドレスを入力

保存

キャンセル

3. 管理者ユーザー設定

3. 「パスワードを変更します。」と表示されましたら[OK]をクリックします。

premcdev004.mwprem.net の内容

パスワードを変更します。

OKキャンセル

入力項目について

#	表示	入力内容
[1]	現在のパスワード	「ご利用内容のご案内」 記載のパスワード
[2]	新規パスワード	任意のパスワード
[3]	パスワードの確認	任意のパスワード（「新規パスワード」と同じもの）

パスワードに使用可能な文字列

制限項目	制限内容
使用可能な文字種	半角英大文字、半角英小文字、半角数字、記号の一部 @ # \$ % ^ * () _ + = - &
文字数	8～32
備考	・ 英大文字、英小文字、数字、記号をそれぞれ 1 字以上含む必要があります ・ 大文字小文字は区別されます

4. 「パスワードが更新されました」と表示されましたら完了です。

COTOHA
Meeting Assist

管理者設定

メイン

ホーム ミーティング 議事録管理 タスク管理 メール

アカウント設定 / パスワード変更

パスワードが更新されました。

3. 管理者ユーザー設定

3.1.2. パスワード再設定用 URL 通知メールアドレス

管理者のパスワードを忘れてしまった場合、パスワード再設定用 URL 通知メールアドレスを事前に登録しておくことで、再設定が可能となります。このページではその設定手順について説明します。

1. 未設定の場合はログイン後に登録を促すダイアログが表示されますので、「OK」を押してください。

パスワード再設定用URL通知メールアドレスを登録してください。パスワードを忘れてしまったときに再設定することができます。

OK

3. パスワード設定画面の下部に[パスワード再設定用 URL 通知メールアドレス]の項目があります。[現在のパスワード]と受信可能なメールアドレスを入力し、[保存]ボタンをクリックします。

アカウント / パスワード

パスワード設定

パスワードの変更とパスワードリセット時の再設定用URL通知先メールアドレスの設定ができます。

現在のパスワード (必須)

現在のパスワードを入力

パスワードの変更 (任意)

半角英小文字(a~z)、半角英大文字(A~Z)、半角数字(0~9)、半角記号 (@ # \$ % ^ * () _ + = & -) のそれぞれ最低1文字を含めた8文字以上

新しいパスワードを入力

パスワードの強度:

新しいパスワードを入力 (確認用)

パスワード再設定用URL通知メールアドレス (任意) ⓘ

example@example.net|

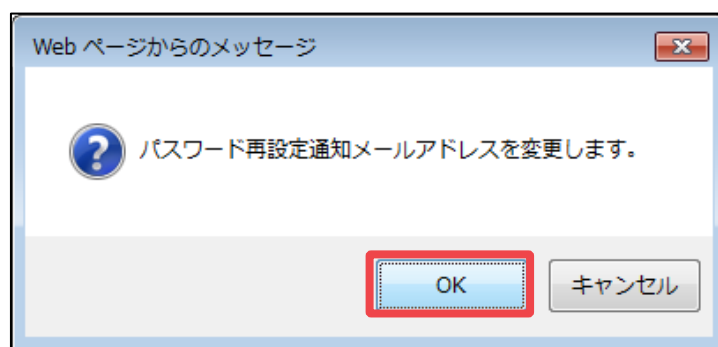
保存 キャンセル

・ 注意

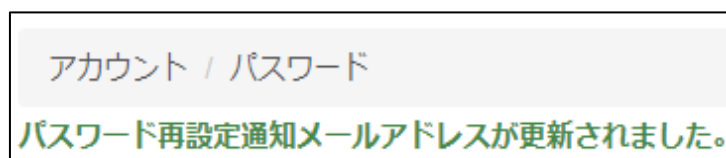
当サービス以外のメールサーバーのメールアドレスを設定いただく事を推奨いたします。

3. 管理者ユーザー設定

4. 以下のダイアログが表示されますので、[OK]をクリックします。



5. 以下の表示となり、設定完了となります。



• 注意

当機能は管理者のみにご利用いただけます。

ドメイン管理者、及びユーザーは同様の機能はご利用いただけません。

ドメイン管理者、及びユーザーID、パスワードを忘れた場合は管理者により再設定を行ってください。

3. 管理者ユーザー設定

3.1.3. 管理者パスワード再設定

サーバー管理者 ID のパスワードを紛失・忘れてしまった場合に、再設定をすることが可能です。

1. 管理者パスワードを忘れてしまい、ログインに失敗した場合は以下のような画面が表示されますので、パスワードを忘れた方はこちらをクリックします。

The screenshot shows the login interface for COTOHA Meeting Assist. At the top, a pink error message reads: "ログイン情報が正しくありません。もう一度ログインしてください。" (Login information is incorrect. Please login again). Below this is the COTOHA Meeting Assist logo. There are two input fields: one for the user ID (containing "manager@example.net") and one for the password (masked with dots). A link below the password field says "二要素認証を設定している場合はこちら" (Click here if you have two-factor authentication set). A blue "ログイン" (Login) button is present. At the bottom, a red-bordered button labeled "パスワードを忘れた方はこちら" (Click here if you forgot your password) is highlighted.

2. 再設定の画面が開きますので、セットアップマニュアル、21 ページで設定した、「パスワード再設定用 URL 通知メールアドレス」を入力し、[パスワード再設定]をクリックします。

The screenshot shows the "パスワード再設定" (Reset Password) page. The title "パスワード再設定" is at the top. Below it, a message states: "パスワードを再設定される場合は、予め登録されたパスワード再設定通知メールアドレスを入力して「パスワード再設定」ボタンをクリックしてください。" (If you are resetting your password, please enter the password reset notification email address you registered in advance and click the "Reset Password" button). The COTOHA Meeting Assist logo is displayed. There is an input field for the email address, which contains "example@example.net" and is highlighted with a red border. Below the input field is a blue button labeled "パスワード再設定" (Reset Password), also highlighted with a red border. At the bottom, there is a link "ログイン画面へ" (Back to login screen).

3. 管理者ユーザー設定

3. 「パスワード再設定用 URL 通知メールアドレス」にパスワード再設定用の URL がメールで送信されます。

パスワード再設定通知メールアドレスへ、再設定の案内メールを送信しました。メールをご確認ください。

4. 以下のような内容のメールが送信されますので、リンクをクリックして再設定を行ってください。

件名： COTOHA Meeting Assist コントロールパネル パスワード再設定

差出人：サーバー管理者のアドレス

本文： COTOHA Meeting Assist コントロールパネルからのお知らせです。

お客様の操作により、COTOHA Meeting Assist コントロールパネル 管理者アカウントのログインパスワード再設定（リセット）要求が行われました。

管理者 ID: <サーバー管理者 ID>

管理者アカウントのパスワードを再設定する場合は、以下の URL よりご設定ください。

https://bizmw-login.com/<サーバー管理者 ID>/reset_password?uid=*****&token=*****
token=*****

URL の有効期限: 2018/**/** 12:00:00 まで

管理者アカウントのログインパスワード再設定要求操作を行った覚えのない場合は、
本メールを破棄いただきますようお願いいたします。

5. パスワード再設定画面が表示されますので、新しいパスワードを入力し、[保存]をクリックします。

6. 「パスワードが更新されました。」と表示されればパスワードの変更は完了です。

パスワードが更新されました。

3. 管理者ユーザー設定

3.2. 二要素認証

3.2.1. 二要素認証の概要

管理者・ドメイン管理者がサービスにログインする際に、通常のパスワードだけではなく、もう一つのパスワード（ワンタイムパスワード）による二重の認証を行う仕組みです。パスワードの流出等が発生した場合に、不正なログインを防ぐことが出来ます。

3.2.2. 二要素認証の設定

ここではサービス画面上での設定の流れを説明します。クライアント端末への登録方法は別冊「二要素認証設定マニュアル」を参照してください。

1. 二要素認証を設定するユーザーID（管理者、またはドメイン管理者）でログインします。
2. 右上に表示されるユーザーIDの部分をクリックし、[二要素認証]をクリックします。



3. 管理者ユーザー設定

3. 二要素認証設定画面に表示されているリンクよりクライアントアプリのインストールを行います。
※クライアントアプリへのインストール方法については別冊「二要素認証設定マニュアル」をご確認ください。

アカウント / 二要素認証設定

二要素認証設定

コントロールパネルへのログイン時にワンタイムパスワードを利用した二要素認証を設定できます。

二要素認証は現在設定されていません

ステップ1 認証用端末のセットアップ

クライアントアプリのインストール

下記のリンクから認証用端末にアプリケーションをインストールしてください。
[クライアントアプリのダウンロード](#)

クライアントアプリへの認証キー登録

アプリを起動してアカウント追加から初期設定用認証キーを登録してください。
認証キーの登録は手動での入力または二次元バーコードの読み取りで行えます。
ページを離れると認証キーが更新されるため登録後は続けてSTEP2まで完了させてください。

初期設定用認証キー



4. [二要素認証設定]画面上に表示されている認証キーを利用してクライアントアプリに認証キーを登録します。

※クライアント端末への認証キーの登録は手入力またはQRコードの読み込みのいずれかで行うことができます。

3. 管理者ユーザー設定

5. 上記3の二要素認証設定画面に戻り、二要素認証アプリで表示されるワンタイムパスワードを入力し、[登録して有効化する]をクリックします。

ステップ2 認証用端末のサーバー登録

事前にSTEP1の認証用端末のセットアップを完了させてください。

クライアントアプリに表示されたワンタイムパスワード（半角数字6ケタ）を入力して登録を完了させてください。

サーバーに認証用端末の登録が完了すると二要素認証が有効化されます。

ワンタイムパスワード

登録して有効化する

二要素認証が設定された状態で登録した端末の交換や紛失、クライアントアプリの削除をするとログインできなくなりますのでご注意ください。

6. 以下の画面が表示されたら二要素認証の設定は完了となります。

二要素認証設定

コントロールパネルへのログイン時にワンタイムパスワードを利用した二要素認証を設定することができます。

二要素認証が有効になっています。

(初期設定キー: )


誤ってクライアントアプリを削除したり、インストール済の端末を紛失や交換すると、ログインできなくなりますのでご注意ください。

二要素認証を無効化する

3. 管理者ユーザー設定


3.2.3. 二要素認証の解除

1. 二要素認証を解除するユーザーID（管理者、またはドメイン管理者）でログインします。



コントロールパネルへのログイン時にワンタイムパスワードを利用した二要素認証を設定することができます。

二要素認証が有効になっています。

(初期設定キー： )

誤ってクライアントアプリを削除したり、インストール済の端末を紛失や交換すると、ログインできなくなりますのでご注意ください。

[二要素認証を無効化する](#)

2. [二要素認証を無効化する]をクリックすることで、設定されている二要素認証が解除されます。

• 注意

二要素認証を解除した場合、同じ端末で再度二要素認証を利用するには上記の「二要素認証の設定」を行う必要があります。同じユーザー・同じクライアント端末であっても、登録する時間によって認証キー（QRコード含む）が更新されるため、クライアント端末に新しい認証キーを登録し直す必要があります。

4. ドメイン

4. ドメイン

4.1. ドメインについて

COTOHA Meeting Assist をウェブサーバーまたはメールサーバーとして利用する場合に、お客様がご持ちのドメインを登録してご利用いただくことができます。これによりお客様のウェブサイトアクセスする URL やメールアドレスのドメインを変更することができます。

※ミーティング機能の利用にはお客様が登録したドメインではご利用はいただけません。

example.jpを登録した場合



4.1.1. ドメインの種類

COTOHA Meeting Assist では以下の2種類のドメインをご利用いただくことができます。

デフォルトドメイン

サービス開通時からすぐにご利用いただけるように設定済みのドメインです。

ドメイン：<管理者ユーザーID>.mwprem.net

独自ドメイン

お客様にて任意で設定いただくドメインです。

メールサーバーやウェブサーバーとして運用する際にご利用いただけます。

※ご利用には、お客さまにて DNS に登録する必要があります。

4.1.2. ドメイン管理者

ドメインを登録する場合は、必ずドメイン管理者を設定する必要があります。ドメイン管理者はドメイン登録時に新たに作成するか、サーバー管理者または既存のドメイン管理者から選択することができます。

※ドメイン管理者に関する詳細は「5. ユーザー」をご参照ください。

・ 注意

1つのドメインに必ず1つのドメイン管理者（ユーザーID）が必要になります。

4. ドメイン

4.1.3. ドメインの設定対象

1. サーバーへの登録

本項に沿って登録してください。

2. ウェブメール（Active!mail）への登録

ウェブメールを利用する場合は「6.5.2 ウェブメールのドメイン設定」に沿って登録してください

4. ドメイン

4.2. ドメインの登録方法

1. [管理者設定]メニューから[ドメイン]をクリックし、[新規登録]をクリックします。

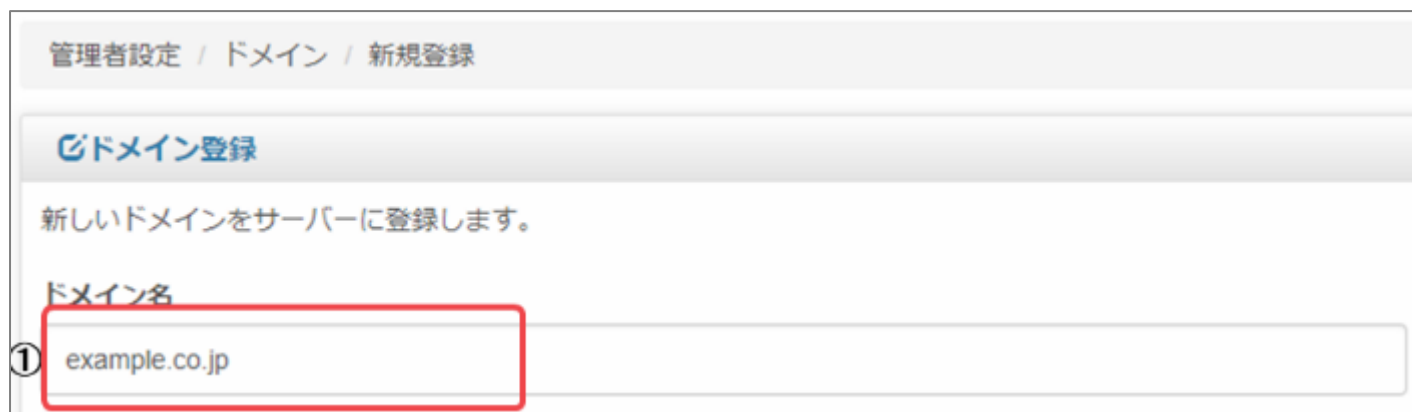


• 注意

COTOHA Meeting Assist は複数のドメインを登録してご利用いただくことができます。
利用予定のドメインの数に合わせて、繰り返し作業を行ってください。

入力項目

各項目を入力します。※下記の画像は設定例が入力されています。



① ドメイン名

利用するドメインを入力します。

4. ドメイン

ウェブサーバー設定

ウェブサーバー設定

ドメイン名のエイリアス ②

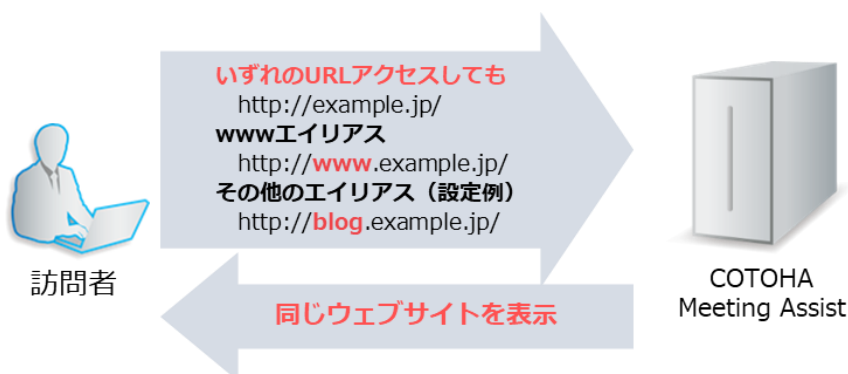
② ☒ wwwドメインエイリアスを使用する

③
(複数設定する場合はカンマ(,)で区切って入力)

ドメインの連絡先 ④

④

ドメイン名のエイリアス



② www ドメインエイリアスを使用する

複数ドメインで同一コンテンツを表示させる機能です。「wwwドメインエイリアス使用」はwwwサブドメインで独自ドメインと同じコンテンツを表示させたい場合にチェックを入れます。

③ その他のエイリアス

www ドメインエイリアス以外のサブドメインでエイリアスを設定できます。

入力例: blog.example.co.jp

● アドバイス

当項目は、SSL サーバー証明書にて、Subject Alternative Name (SAN SANS) をご利用する場合に設定が必要です。

④ ドメインの連絡先

エラー時などに表示する連絡先情報で、変更しない事を推奨します。

4. ドメイン

• 注意

③④ともに外部 DNS サーバーをご利用の場合は、別途 DNS サーバーへの設定が必要となります。

メールサーバー設定

メールサーバー設定

⑤ ドメイン宛メール受信設定 ⑤

外部のメールサーバーで同一のドメインを利用する場合などにメールを受信しないように設定できます。
チェックを外した場合はメールを受信できなくなります。

☒ ドメイン宛のメールを受信する

⑥ メールキャッチオール設定

受信するメールアドレスが存在しない場合の処理を設定できます。

☒ メール拒否 - 不明なあて先として返信
☐ 自動削除
☐ ドメイン管理者に送信
☐ 次のアドレスに送信:

メールアドレスを入力

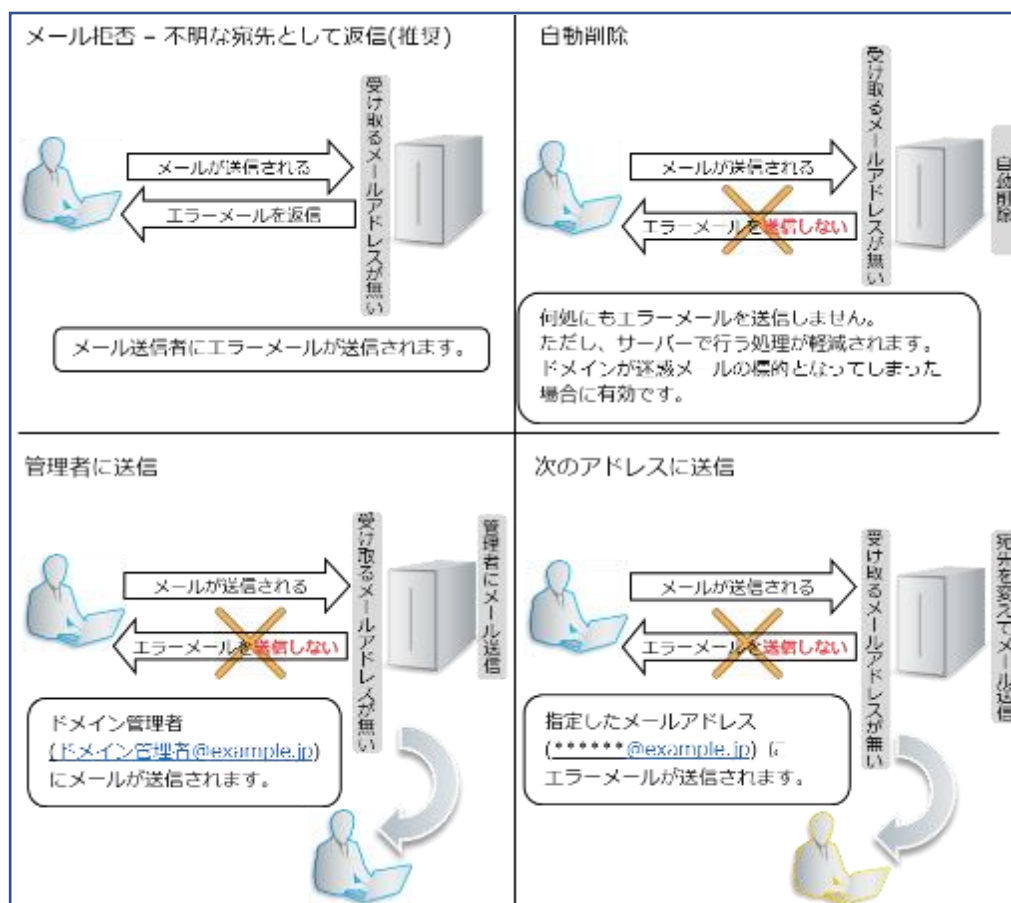
⑤ ドメイン宛メール受信設定

メールサーバーを COTOHA Meeting Assist 以外の外部サーバーを利用する場合はチェックを外してください。

⑥ メールキャッチオール

「メールキャッチオール」とは、サーバーにメールが送信された際に、受信するメールアドレスが存在しない場合の処理を設定します。

4. ドメイン



4. ドメイン

ドメイン管理者設定

⑦ **ドメイン管理者設定**
ドメイン追加後にドメイン管理者の変更は出来ません

☐ 既存の管理者から選択する c***** (サーバー管理き ▼)
☒ 新たにドメイン管理者を作成する

⑧ **ユーザーID**
半角英小文字(a~z)、半角数字(0~9)、半角記号(_)を利用可能

⑨ **氏名**
半角英小文字(a~z)、半角英大文字(A~Z)、半角数字(0~9)、半角記号(-,_)、全角文字(上記文字種の全角も含む)を利用可能

⑩ **パスワード**
半角英小文字(a~z)、半角英大文字(A~Z)、半角数字(0~9)、半角記号(@, #, %, ^, *, (), _ + = & , -) のそれぞれ最低1文字を含めた8文字以上

パスワードの強度: 非常に弱い

ユーザーディスク容量
 MB

⑫ **ドメイン管理者の権限**
以下の権限でドメイン管理者を作成
☒ メール ☒ ファイル ☒ ミーティング参加 ☒ ミーティングルーム管理
ユーザーの作成権限
この管理者に以下の権限を持つユーザーの作成を許可
☒ メール ☒ ファイル ☒ ミーティング参加 ☒ ミーティングルーム管理 ☒ ディスク容量を制限しない

⑬ **メモ**

⑦ ドメイン管理者設定方法の選択

登録しているドメインのドメイン管理者（主にウェブコンテンツの管理者）を新たに作成するか、既に登録済のユーザーをドメイン管理者とするかの設定項目となります。セキュリティ上、[新たにドメイン管理者を作成する]を推奨いたします。

4. ドメイン

⑧ ユーザーID

[ドメイン名_admin]が自動入力されます。消去して、任意の ID を指定する事も出来ます。

制限項目	制限内容
使用可能な文字種	半角英小文字、0 から 9 までの半角数字、記号の一部 . _
最大文字数	32
命名規則	<ul style="list-style-type: none">・ 1 文字目は、半角英小文字または半角数字のみ・ 最後の1文字に"."（ドット）を使用しない・ 記号"."（ドット）を連続して使用しない・ 数字のみを使用しない
備考	<ul style="list-style-type: none">●大文字と小文字は判別されません。半角英大文字を入力した場合、全て半角英小文字で登録されます。●同じ ID を重複して登録することはできません。●FTP 権限を付与して利用する場合、文字数は 16 文字以下で作成することをお勧めします。ご利用の FTP ソフトにより、16 文字以上で設定できない可能性があります。

・ 注意

この項目は後に編集ができませんのでご注意ください。

修正したい場合は該当ユーザーを削除し、再作成をお願いいたします。

利用不可ユーザーID

以下のユーザーID は仕様上、ご利用いただけません。

abuse	dumper	mail	named	radiusd	tcpdump
adm	etc	mailer-daemon	netdump news	radvd	toor
amanda	fax	mailgrp	newsadm	root	tty
apache	floppy	mailman	newsadmin	rpc	usenet
audio	ftp	mailman-admin	nfsnobody	rpcuser	users
bin	ftpadm	mailman-	nobody	rpm	utempter
canna	ftp-adm	bounces	noc	saslauth	utmp
cdrom	ftpadmin	mailman-confirm	nscd	security	uucp
cgred	ftp-admin	mailman-join	ntp	shutdown	var
daemon	games	mailman-leave	nut	simpana	vcsa
dbus	gdm	mailman-owner	operator	slocate	video
decode	gopher	mailman-request	pcap	smmsp	webalizer
desktop	halt	mailman-	postdrop	squid	webmaster
dialout	ident	subscribe	postfix	sshd	webdav
dip	ingres	mailman-	postgres	sync	webdavauth
disk	kmem	unsubscribe	postmaster	sys	wheel
dovecot	ldap	mailnull	privoxy	system	wnn
dovenull	lock	man	pvm	tape	xfs
	lp	mem	quagga		
		mysql			

4. ドメイン

4. [登録]をクリックするとダイアログが表示されますので[OK]をクリックします。



5. ドメインが設定されました。



4. ドメイン

4.3. ドメインの設定変更

設定したドメインの設定を変更する手順について説明します。

1. [管理者設定]メニューから[ドメイン]をクリックします。
2. 設定を変更するドメインの[設定]ボタンをクリックします。

The screenshot shows the 'Domain Management' page. On the left is a sidebar with '管理者設定' (Admin Settings) expanded, showing 'ドメイン' (Domain) as the selected option. The main area has a breadcrumb '管理者設定 / ドメイン' and a title 'ドメイン管理'. Below the title is a description: 'ドメインのサーバーへの登録・削除および設定が行えます。' (You can register, delete, and configure domains on the server). There is a '新規登録' (New Registration) button. A message states '3 ドメインが設定されています' (3 domains are configured). Below this is a table with 3 domains. The table has columns for 'ドメイン名' (Domain Name), '管理者名' (Admin Name), '人' (Users), 'ホスト' (Hosts), '容量' (Capacity), and '操作' (Actions). The domains listed are 'premcdev004.mwprem.net', 'example.com', and 'example.co.jp'. The 'example.co.jp' row has '3' users and '4' hosts. The '操作' column for 'example.com' and 'example.co.jp' contains '設定' (Settings) and '削除' (Delete) buttons. At the bottom are pagination controls: '← 前へ' (Previous), '1', and '次へ →' (Next).

ドメイン名	管理者名	人	ホスト	容量	操作
premcdev004.mwprem.net	premcdev004	0	1	158 MB	
example.com	example.com_admin	0	1	0 MB	設定 削除
example.co.jp	example.co.jp_admin	3	4	0 MB	設定 削除

3. 設定変更が完了しました。

A notification box with a grey header '管理者設定 / ドメイン' and a green message: 'ドメイン example.co.jp を編集しました。' (Domain example.co.jp was edited).

● アドバイス

ユーザーディスク容量の設定変更はドメイン管理者のユーザー設定変更項目より行えます。後述のユーザーの設定変更をご参照ください。

4. ドメイン

4.4. ドメインの削除

設定したドメインを削除する手順について説明します。

・ 注意

ドメインの削除は各ユーザーのメール、ウェブサイトのデータ、メーリングリストが削除されます。必要に応じてメールソフトで受信するバックアップを行う等の対処をお願いいたします。

1. 該当ドメインのドメイン管理者を除くユーザーをすべて削除します。ユーザーをクリックし、削除する予定のドメインに所属するユーザー一覧を確認します。

The screenshot shows the 'ユーザー管理' (User Management) page. On the left sidebar, 'ユーザー' (User) is selected. The main area displays a table of users. The first three rows are for administrative users: 'example.co.jp_admin', 'example.com_admin', and 'example.com管理者'. The next five rows are for sample users: 'sample1', 'sample2', 'sample3', 'sample4', and 'sample5', all belonging to 'example.co.jp'. These five rows are highlighted with a red box. The table columns include 'ユーザーID', 'ドメイン名', '氏名', 'ステータス', '権限', '割当容量', '使用率', and '操作'.

ユーザーID	ドメイン名	氏名	ステータス	権限	割当容量	使用率	操作
c*****	c*****.myprem.net	c*****	利用中	✓	✓	✓	101673 MB 7 % 設定
example.co.jp_admin	example.co.jp	example.co.jp管理者	利用中	✓	✓	✓	50 MB 0.2 % 設定 停止 削除
example.com_admin	example.com	example.com管理者	利用中	✓	✓	✓	400 MB 0.1 % 設定 停止 削除
sample1	example.co.jp	sample1	利用中	✓	✓	✓	10 MB 1.0 % 設定 停止 削除
sample2	example.co.jp	sample2	利用中	✓	✓	✓	10 MB 1.0 % 設定 停止 削除
sample3	example.co.jp	sample3	利用中	✓	✓	✓	10 MB 1.0 % 設定 停止 削除
sample4	example.co.jp	sample4	利用中	✓	✓	✓	10 MB 1.0 % 設定 停止 削除
sample5	example.co.jp	sample5	利用中	✓	✓	✓	10 MB -- 設定 停止 削除

2. 削除対象のユーザーにチェックを入れて、[削除]ボタンをクリックします。

The screenshot shows the same 'ユーザー管理' page, but now the checkboxes for 'sample1' through 'sample5' are checked. The '削除' (Delete) button in the top left corner of the table area is highlighted with a red box. The table structure is identical to the previous screenshot.

ユーザーID	ドメイン名	氏名	ステータス	権限	割当容量	使用率	操作
c*****	c*****.myprem.net	c*****	利用中	✓	✓	✓	101673 MB 7 % 設定
example.co.jp_admin	example.co.jp	example.co.jp管理者	利用中	✓	✓	✓	50 MB 0.2 % 設定 停止 削除
example.com_admin	example.com	example.com管理者	利用中	✓	✓	✓	400 MB 0.1 % 設定 停止 削除
<input checked="" type="checkbox"/> sample1	example.co.jp	sample1	利用中	✓	✓	✓	10 MB 1.0 % 設定 停止 削除
<input checked="" type="checkbox"/> sample2	example.co.jp	sample2	利用中	✓	✓	✓	10 MB 1.0 % 設定 停止 削除
<input checked="" type="checkbox"/> sample3	example.co.jp	sample3	利用中	✓	✓	✓	10 MB 1.0 % 設定 停止 削除
<input checked="" type="checkbox"/> sample4	example.co.jp	sample4	利用中	✓	✓	✓	10 MB 1.0 % 設定 停止 削除
<input checked="" type="checkbox"/> sample5	example.co.jp	sample5	利用中	✓	✓	✓	10 MB -- 設定 停止 削除

4. ドメイン

・ 注意

誤って対象外のユーザーを削除しないようにご注意ください。絞り込み検索に削除対象のドメインを入力すると、一覧の抽出がしやすくなります。

3. 確認画面にて誤りがない事を確認し、[削除]ボタンをクリックします。

管理者設定 / ユーザー / ユーザー管理

ユーザー削除

以下のユーザーを削除します。
ドメイン管理者を削除する場合はドメインも削除されます。

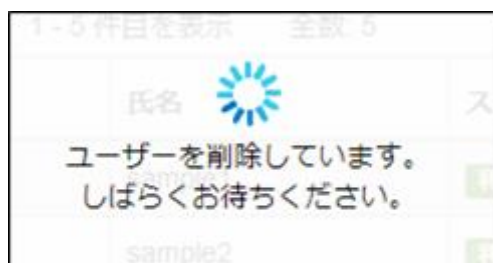
表示 10 / ページ 1 - 5 件目を表示 全数: 5

ユーザーID	氏名	ステータス	✉	📁	💬
sample1	sample1	利用中	✓	✓	✓
sample2	sample2	利用中	✓	✓	✓
sample3	sample3	利用中	✓	✓	✓
sample4	sample4	利用中	✓	✓	✓
sample5	sample5	利用中	✓	✓	✓

← 前へ 1 次へ →

削除 キャンセル

4. 削除処理が行われ、ユーザーの削除が完了しました。



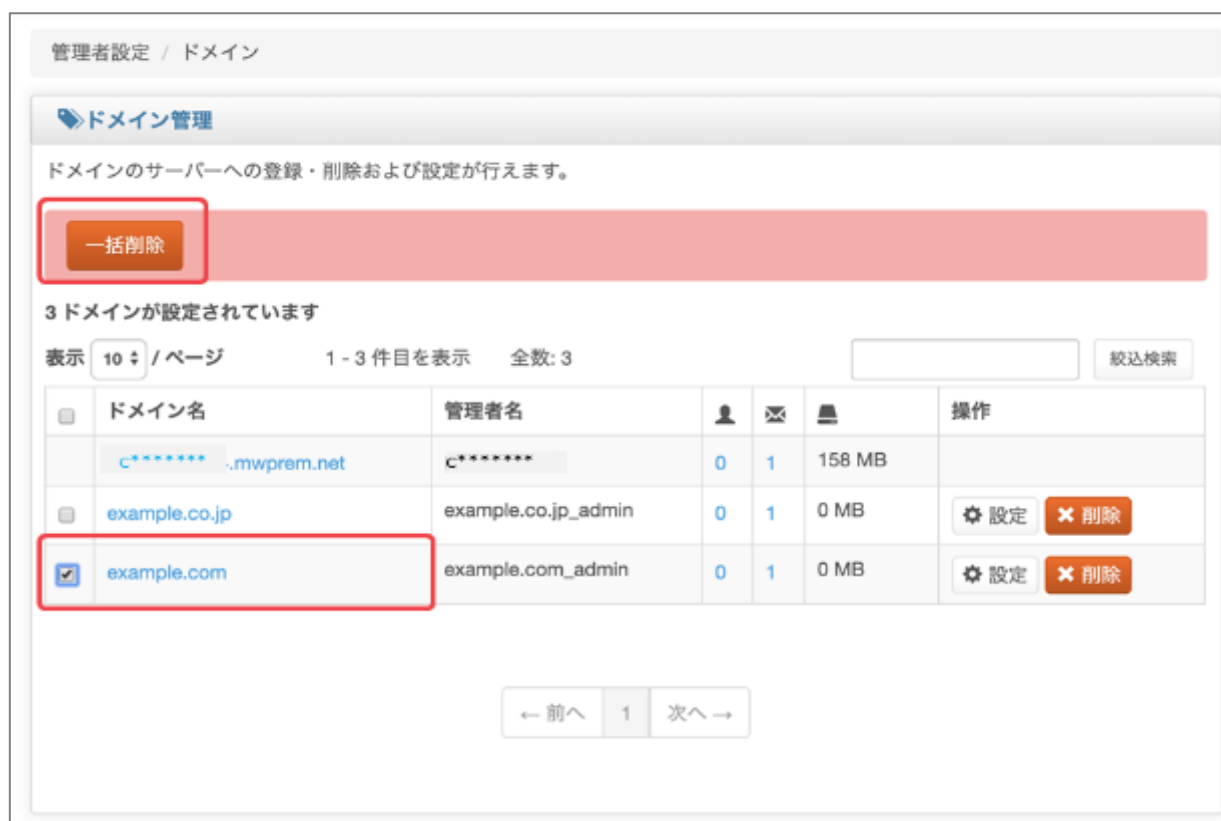
4. ドメイン



5. 次にドメインを削除します。[ドメイン]をクリックし、ドメインの一覧を表示します



6. 削除したいドメインにチェックを入れて、[一括削除]ボタンをクリックします。



4. ドメイン

7. 確認画面が表示されますので、[削除]ボタンをクリックします。

管理者設定 / ドメイン / ドメイン削除

ドメイン削除

以下のドメインをサーバーから削除します。
ドメインを削除によって管理ドメインが無くなるドメイン管理者も同時に削除されます。

表示 10 / ページ 1 - 1 件目を表示 全数: 1 絞り込み検索

ドメイン名	ドメイン管理者
example.jp	example.jp_admin (ドメイン管理者も削除されます)

← 前へ 1 次へ →

削除 キャンセル

8. ダイアログが表示されますので、[OK]ボタンをクリックします。

c***** .mwprem.net の内容

設定反映のためウェブサーバーの再起動を行います。よろしいですか？

OK キャンセル

9. 削除処理が行われ、ドメインの削除が完了しました。

ドメインが削除されています。
ドメインを削除しています。
しばらくお待ちください。



管理者設定 / ドメイン

以下のドメインが削除されました。 example.jp

5. ユーザー

5.ユーザー

サービスで利用可能なユーザーはサーバー管理者が任意で作成することができます。
ここではユーザーの種類やユーザー間の関係性、管理方法についてご案内します。

・ 注意

作成可能なユーザー数は最大で 1000 ユーザーまでです。

5.1. ユーザーの種類

このページでは、ユーザーの違いについて説明します。

5.1.1. ユーザーの種類と構成

本サービスにおけるユーザーには、下記の 3 種類があります。

サーバー管理者

契約者に対して本サービスから 1 つ払いだされるユーザーで、各種設定を行なうことができます。
サーバー管理者の ID、初期パスワードは「ご利用内容のご案内」に記載されています。

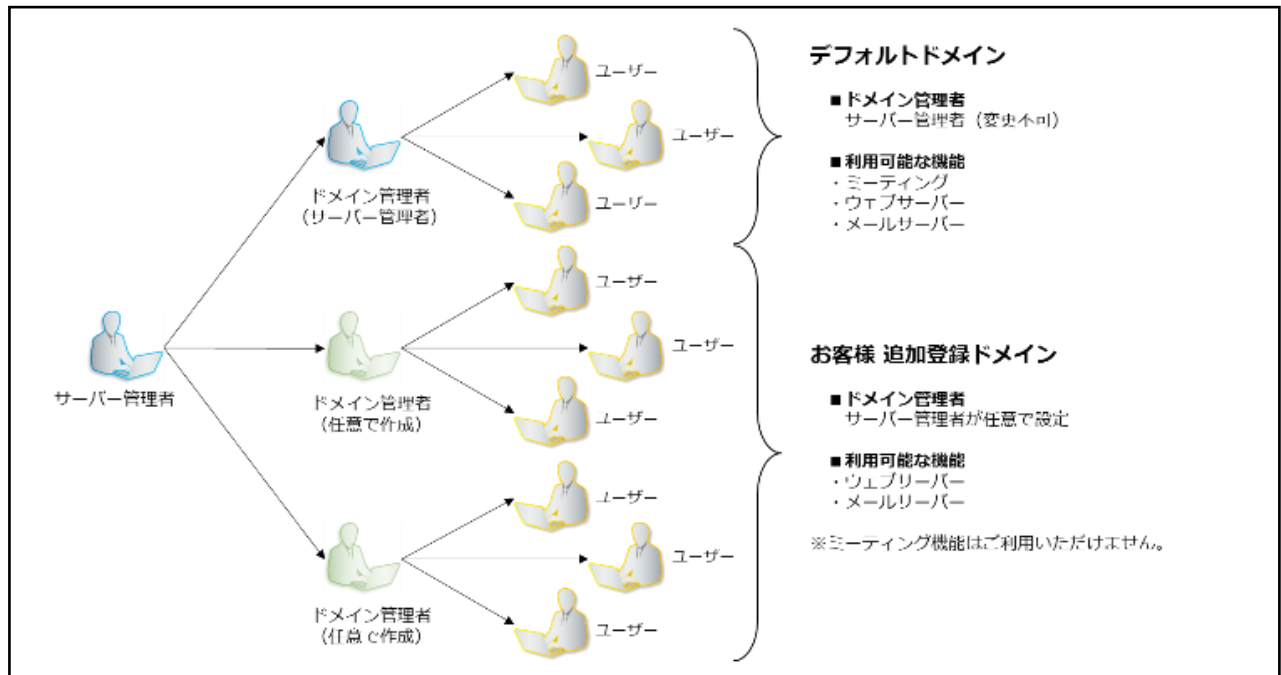
ドメイン管理者

サーバー管理者が独自に追加・設定できるユーザーです。COTOHA Meeting Assist をお客様ドメインでウェブサーバーまたはメールサーバーとして利用する場合にのみ必要となります。ユーザー ID、パスワードは独自に設定することができます。

ユーザー

サーバー管理者またはドメイン管理者が独自に追加・設定できるユーザーです。ユーザー ID、パスワードは独自に設定することができます。

5. ユーザー



ユーザーの権限

サーバー管理者またはドメイン管理者は自身が管理するユーザーに対して下記の機能の利用可否を設定することができます。

- ・メール：メールアドレスを払い出してメールを送受信できます。
 - ・ファイル：ファイルサーバーとして利用できます。
 - ・ミーティング：議事録機能（タスク管理との連携を含む）を利用できます。
- （グループ管理権限ありの場合は、ミーティングで使うグループの作成・変更・削除も可能です。）

ユーザー管理の注意点

本サービスでは、アカウント作成の時点で、定められている基本ルールがあります。

ユーザー登録に関する基本ルールを、次に示します。

- ・サーバー管理者は、ドメイン管理者（対象ドメインのみに範囲が限定された管理権限を持つ）とユーザー（管理者権限を持たないユーザー）を登録できます。ユーザーに対しては、ユーザーの範囲に限定した権限付与が可能です。
- ・サーバー管理者は、全てのドメインに対して管理権限を持ちます。ドメイン管理者は対象ドメインのみの管理権限となります。
- ・サーバー管理者は、ドメイン管理者およびユーザーに対して、メール、ファイル、ミーティング（グループ管理権限の有無）を設定できます。これらの権限はユーザーごとに個別の設定が可能です。
- ・サーバー管理者には、メール、ファイル、ミーティング（グループ管理権限の有無）の権限が付与されています。これらは削除できません。

5. ユーザー

● アドバイス

ユーザーに付与した権限は、次の方針で運用することをお勧めします。

これは不要な権限や使用していない機能から、アクセスなどを防ぐことが目的です。

- 使用しない権限は付与しない
- 仕様を終了したアカウントは、速やかに「利用停止」とする。その後、必要に応じて削除をする。
- 不要になった権限は、速やかに削除する。
- 定期的に監査を実施し、不要なアカウントや不要な権限を洗い出す。

5. ユーザー

5.1.2. ユーザーに与える権限

このページでは、ユーザーに与える権限の詳細について説明します。

サーバー管理者またはドメイン管理者から権限を付与されることにより、ユーザーはメールの送受信やファイル管理機能の利用ができるようになります。

(1) メール

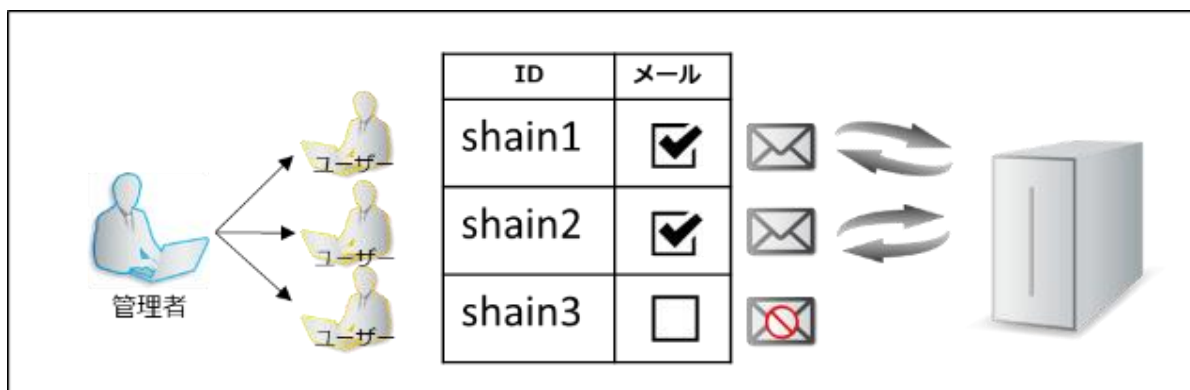
ユーザーにメールアドレスが付与され、メールの送受信が可能になります。

メール権限を持ったユーザーはユーザーID@お客さまドメイン名

(例 : shain1@example.jp) のメールアドレスを持ちます。

メール権限を持たないユーザーはメールアドレスを持ちません。また本サービスの画面上に「メール」のメニューが表示されません。

メールの詳細



● 注意

メール権限を持たないユーザーはウェブメールも利用できません。

● アドバイス

メールの設定について、本書ではメール権限の設定方法のみ記載しております。実際のメール送受信方法やメールソフトの設定につきましては、「メール設定マニュアル」をご参照ください。

(2) ファイル

ファイル権限を持ったユーザーは、ウェブブラウザ上での操作または FTP ソフトを利用し、ユーザー自身に割り当てられたディレクトリ内に関して以下の作業が実行可能です。

- ・ディレクトリやファイルのアップロード/ダウンロード
- ・ディレクトリやファイルの参照
- ・ディレクトリやファイルの作成/削除
- ・ディレクトリやファイルのアクセス権限変更

5. ユーザー

(3) ミーティング

ミーティング権限を持ったユーザーは、ミーティング機能、議事録管理機能、タスク管理機能を利用することが可能になります。（各機能の詳細については「利用マニュアル」をご参照ください）

ユーザーは以下のことを行うことができます。

- ・所属するグループの一覧表示と参加
- ・所属するグループで記録された議事録の閲覧・編集（※）
- ・所属するグループに紐づけられた（タスクのグループとして設定された）タスクの閲覧・編集、および新規タスクの追加

※ 議事録作成時にグループに所属していたユーザーはグループの所属を削除された後でもその所属時に作成された議事録に限り閲覧・編集が可能です。

・ 注意

ミーティング権限を持たないユーザーはミーティング・議事録管理・タスク管理の機能にアクセスするためのメニューボタンが表示されません。

(4) ミーティング（グループ管理権限あり）

ミーティング（グループ管理権限あり）を持ったユーザーは、以下のことを行うことができます。

- ・グループの作成・削除・所属メンバーの追加
- ・自身の作成したのグループの編集（グループ名の変更・グループメンバーの追加と削除、音声テキスト化の設定などオプション設定）

グループは議事録管理機能やタスク管理機能と連携しており、議事録やタスクがグループに紐づけられることでこれらの参照権限の管理がされておりますミーティング（グループ管理権限あり）権限を持つユーザーは、同時に議事録やタスクの閲覧・編集の管理を行うことができます。

・ 注意

- ・管理者は全てのグループの編集が可能です。
- ・ミーティング（グループ管理権限あり）権限を付与するには、ミーティング権限を同時に付与する必要があります。

5. ユーザー

5.2. ユーザーの作成

1. [管理者設定] メニューの[ユーザー]を開き、[新規作成]を選択します



5. ユーザー

2. ユーザーID、氏名、パスワード等を入力し新規ユーザーを作成します。

ユーザー作成

新しいユーザーを作成します。
ドメイン管理者の作成はドメインの作成から行ってください。

ユーザーID @ 所属ドメイン
半角英小文字(a～z)、半角数字(0～9)、半角記号(_)を利用可能

yamada @ ドメインを選択

氏名
半角英小文字(a～z)、半角英大文字(A～Z)、半角数字(0～9)、半角記号(-,_)、全角文字（上記文字種の全角も含む）を利用可能

山田太郎

パスワード
半角英小文字(a～z)、半角英大文字(A～Z)、半角数字(0～9)、半角記号 (@#\$%^*()_+=&-) のそれぞれ最低1文字を含めた8文字以上

.....

パスワードの強度: 強い

.....

ユーザーディスク容量

50 MB

ユーザーの権限

☐ メール ☐ ファイル ☒ ミーティング (☒ グループ管理権限あり)

メモ

保存 保存・次のユーザーを作成 キャンセル

・ 注意

・ ミーティング・議事録作成・タスク管理はデフォルトドメインでのみ利用可能です。お客様が別途設定された独自ドメインではご利用いただけません。デフォルトドメイン（c****.mwprem.net）を選択してください。

5. ユーザー

各入力項目について

① ユーザーID@所属ドメイン … ユーザーIDを入力し、所属ドメインを選択します。

制限項目	制限内容
使用可能な文字種	半角英小文字、0 から 9 までの半角数字、記号の一部 . _
命名規則	<ul style="list-style-type: none">・ 1文字目は、半角英小文字または半角数字のみ・ 最後の1文字に"." (ドット) を使用しない・ 記号"." (ドット) を連続して使用しない・ 数字のみを使用しない。
最大文字数	32 文字
備考	<ul style="list-style-type: none">・ 半角英大文字を入力した場合、全て半角英小文字で登録されます。・ 同じ ID を重複して登録することはできません。・ FTP ソフトにより 16 文字以上で設定できないことあるため、FTP を利用する場合、文字数は 16 文字以下で作成することをお勧めします。

使用不可ユーザーID

abuse	dumper	mail	named	radiusd	tcpdump
adm	etc	mailer-daemon	netdump news	radvd	toor
amanda	fax	mailgrp	newsadm	root	tty
apache	floppy	mailman	newsadmin	rpc	usenet
audio	ftp	mailman-admin	nfsnobody	rpcuser	users
bin	ftpadm	mailman-	nobody	rpm	utempter
canna	ftp-adm	bounces	noc	saslauth	utmp
cdrom	ftpadmin	mailman-confirm	nscd	security	uucp
cgred	ftp-admin	mailman-join	ntp	shutdown	var
daemon	games	mailman-leave	nut	simpana	vcsa
dbus	gdm	mailman-owner	operator	slocate	video
decode	gopher	mailman-request	pcap	smmsp	webalizer
desktop	halt	mailman-	postdrop	squid	webmaster
dialout	ident	subscribe	postfix	sshd	webdav
dip	ingres	mailman-	postgres	sync	webdavauth
disk	kmem	unsubscribe	postmaster	sys	wheel
dovecot	ldap	mailnull	privoxy	system	wnn
dovnull	lock	man	pvm	tape	xfs
	lp	mem	quagga		
		mysql			

② 氏名

半角アルファベット、漢字、カタカナが使えます。

③ パスワード

セキュリティ上、推測しにくいパスワードを設定してください。

制限項目	制限内容
使用可能な文字種	半角英大文字、半角英小文字、半角数字、記号の一部 @ # \$ % ^ * () _ + = - &
文字数	8~32
備考	<ul style="list-style-type: none">・ 英大文字、英小文字、数字、記号をそれぞれ 1 字以上含む必要があります・ 大文字小文字は区別されます

5. ユーザー

④ ユーザーディスク容量

MB（メガバイト）で入力します。0（ゼロ）と入力すると、∞（無制限） となります。

ドメイン管理者の容量に対して、利用予定のメールアドレス数を分配します。

30720MB（30GB）÷150 メールアドレス = 約 200MB

この設定値により、ユーザーは設定値以上のメールを送受信する事ができなくなります。

● 注意

上記は一例であり、ご利用の推奨値ではございません。大容量のメール（容量、通数）を一斉に送受信（アクセスが集中）すると、サーバーの応答が著しく低下することがあります。

⑤ ユーザーの権限

項目	概要
メール	メールアドレスでメール送受信をする為の権限です。 チェックを外した場合、ユーザーはメールの利用ができません。
ファイル	ユーザー領域のファイルをウェブブラウザ上またはFTP等で操作・編集が行えます。 ただしドメイン管理者が管理するウェブサイト領域等は操作できません。 ウェブコンテンツをアップロードするにはサイト編集権限が必要となります。
ミーティング	ミーティング機能・議事録機能・タスク管理機能を利用できます。 ただし、自身が所属しているグループに限ります。 (グループ管理権限ありの場合は、ミーティングで使うグループの作成・変更・削除を行うことができます。)

⑥ メモ

作成するユーザーへのメモ欄です。空欄のままでも設定が出来ます。

[保存]ボタン、続けて次のユーザーを作成する場合は[保存・次のユーザーを作成]ボタンをクリックするとユーザーが作成されます。



● アドバイス

管理者でログインするとすべてのユーザーを作成できます。

ドメイン管理者でログインすると管轄するユーザーのみ作成できます。

5. ユーザー

5.3. ユーザーの設定変更

このページでは設定したユーザーを設定変更する手順について説明します。

1. [ユーザー]をクリックし、設定変更するユーザーの[設定]をクリックします。

The screenshot shows the 'ユーザー管理' (User Management) page. On the left, a sidebar menu has 'ユーザー' (User) highlighted with a red box. The main content area shows a table of users. The first row is a system user 'C*****'. The subsequent rows are regular users: 'example.co.jp_admin', 'example.com_admin', 'sample1', 'sample2', and 'sample3'. Each user row has a '設定' (Settings) button in the '操作' (Action) column, which is highlighted with a red box for the 'example.com_admin' user. The table columns include 'ユーザーID', 'ドメイン名', '氏名', 'ステータス', '有効', '無効', '削除', '割当容量', '使用率', and '操作'.

ユーザーID	ドメイン名	氏名	ステータス	有効	無効	削除	割当容量	使用率	操作
C*****	C*****@example.com	premcdev004	利用中	✓	✓	✓	101673 MB	7 %	設定
example.co.jp_admin	example.co.jp	example.co.jp管理者	停止中				70 MB	0.3 %	設定 再開 削除
example.com_admin	example.com	example.com管理者	利用中	✓	✓	✓	400 MB	0.1 %	設定 停止 削除
sample1	example.co.jp	sample1	利用中	✓	✓	✓	10 MB	1.0 %	設定 停止 削除
sample2	example.co.jp	sample2	利用中	✓	✓	✓	10 MB	1.0 %	設定 停止 削除
sample3	example.co.jp	sample3	利用中	✓	✓	✓	10 MB	0.5 %	設定 停止 削除

5. ユーザー

2. [設定]ボタンをクリックした後の画面は、ドメイン管理者とユーザーで内容が異なります。任意の項目に入力し、[保存]をクリックし、設定変更完了です。

ユーザー設定

ユーザーの設定を変更します。

ユーザーID
yamada

氏名
半角英小文字(a~z)、半角英大文字(A~Z)、半角数字(0~9)、半角記号(-,_)、全角文字（上記文字種の全角も含む）を利用可能
山田太郎

新規パスワード
半角英小文字(a~z)、半角英大文字(A~Z)、半角数字(0~9)、半角記号 (@#%&* ()_+=&-) のそれぞれ最低1文字を含めた8文字以上
新しいパスワードを入力

パスワードの強度：
新しいパスワードを入力（確認用）

ユーザーディスク容量
50 MB
使用量: 0.05859375 MB 使用率: 0.2 %

所属ドメイン お客さまのドメインが表示されます ▼

ユーザーの権限
☐ メール ☐ ファイル ☒ ミーティング (☒ グループ管理権限あり)

メールアドレス

メモ

二要素認証ログイン設定の解除 ⓘ
☐ 設定を解除する

保存 キャンセル

5. ユーザー

5.4. ユーザーの停止

このページではユーザーの利用を一時的に停止する手順について説明します。
停止したユーザーID についてはいます。

- ・ サービスへのログインができません。
- ・ メールの送受信ができません。
- ・ ファイル保存領域へのアクセスができません。（FTP による操作を含む）

1. [ユーザー]をクリックし、[利用中]のユーザーの停止および、[停止中]のユーザーの再開ができます。

ユーザーID	ドメイン名	氏名	生	ステータス	変	登	準	削除容量	使用率	操作
premoddev004	premoddev004.mwprem.net	premoddev004		利用中	✓	✓	✓	101673 MB	7 %	設定
example.co.jp_admin	example.co.jp	example.co.jp管理者		停止中				70 MB	0.3 %	設定 再開 削除
example.com_admin	example.com	example.com管理者		利用中	✓	✓	✓	400 MB	0.1 %	設定 停止 削除

● アドバイス

サーバー管理者でログインするとすべてのユーザーの設定変更ができます。
ドメイン管理者でログインすると管轄するユーザーのみ設定変更ができます。

5. ユーザー

5.5. ユーザーの削除

ユーザーの削除について説明します。

ユーザーを削除した場合削除したユーザーの全てのデータが削除されます。

※議事録管理機能では表示名やユーザーIDが「削除済み」と表示されます。

1. [ユーザー]をクリックし、削除するユーザーIDの[削除]ボタンをクリックするか、チェックボックスにチェックを入れて、上部の[削除]ボタンをクリックします。

管理者設定 / ユーザー

ユーザー管理

ユーザーの作成と削除、設定変更が行えます。
ドメイン管理者の作成はドメインの作成から行ってください。

削除

6 ユーザーが設定されています

表示 50 / ページ 1 - 6 件目を表示 全数: 6

<input checked="" type="checkbox"/>	ユーザーID	ドメイン名	氏名	ステータス	有効	無効	割当容量	使用率	操作
<input checked="" type="checkbox"/>	C*****	C*****.mwprem.net	C*****	利用中	✓	✓	700 MB	35.1 %	設定
<input checked="" type="checkbox"/>	example.com_admin	example.com	example.com管理者	利用中	✓	✓	490 MB	0.1 %	設定 停止 削除
<input checked="" type="checkbox"/>	example.co.jp_admin	example.co.jp	example.co.jp_admin	利用中	✓	✓	400 MB	0.1 %	設定 停止 削除
<input checked="" type="checkbox"/>	sample1	example.co.jp	サンプル1	停止中			50 MB	0.4 %	設定 再開 削除
<input checked="" type="checkbox"/>	sample2	example.co.jp	サンプル2	利用中	✓	✓	50 MB	0.4 %	設定 停止 削除
<input checked="" type="checkbox"/>	sample4	example.com	サンプル4	利用中	✓	✓	10 MB	--	設定 停止 削除

5. ユーザー

2. 確認画面が表示されますので、[削除]ボタンをクリックして、削除完了となります。

管理者設定 / ユーザー / ユーザー管理

ユーザー削除

以下のユーザーを削除します。
ドメイン管理者を削除する場合はドメインも削除されます。

表示 10 / ページ 1 - 3 件目を表示 全数: 3

ユーザーID	氏名	ステータス	変更	削除	詳細
sample1	sample1	利用中	✓	✓	✓
sample2	sample2	利用中	✓	✓	✓
sample3	sample3	利用中	✓	✓	✓

← 前へ 1 次へ →

削除 キャンセル



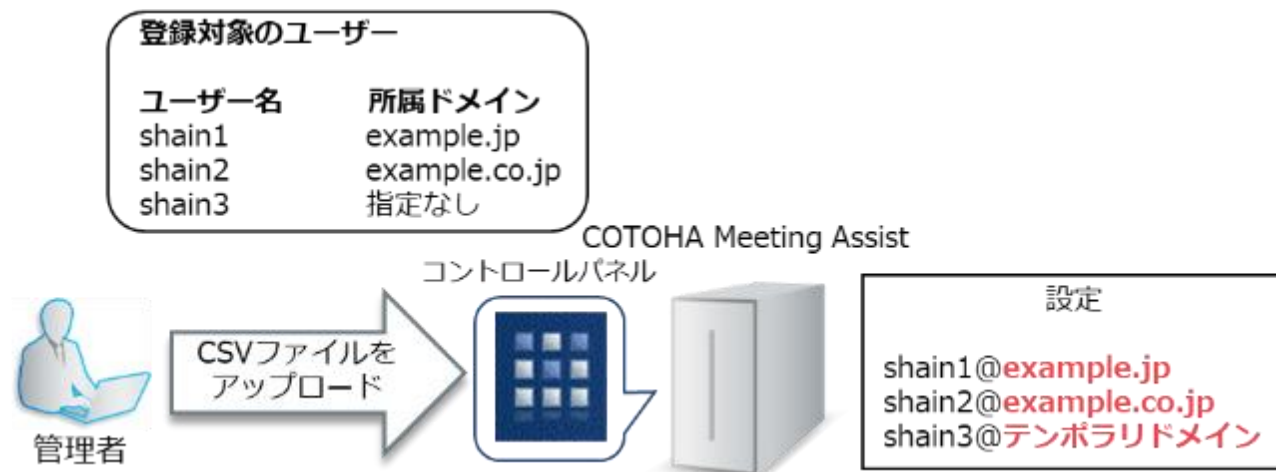
管理者設定 / ユーザー

ユーザー sample1 sample2 sample3 が削除されました。

5. ユーザー

5.6. ユーザーの一括登録

このページでは設定したユーザーを一括登録する手順について説明します。



1. インポート用の CSV ファイルを作成します。[ユーザー]をクリックし、[CSV からインポート]をクリックします。

管理者設定 / ユーザー

ユーザー管理

ユーザーの作成と削除、設定変更が行えます。
ドメイン管理者の作成はドメインの作成から行ってください。

新規作成 CSVからインポート

6 ユーザーが設定されています

表示 10 / ページ 1 - 6 件目を表示 全数: 6

ユーザーID	ドメイン名	氏名	ステータス	✓	✓	✓	割当容量	使用率	操作
C*****	C*****.mwprem.net	C*****	利用中	✓	✓	✓	101673 MB	7 %	設定
example.co.jp_admin	example.co.jp	example.co.jp 管理者	利用中	✓	✓	✓	70 MB	0.3 %	設定 停止 削除

5. ユーザー

2. 以下の画面が表示されますので、[フォーマットサンプル CSV のダウンロードをクリックし、ダウンロードをします。

CSVからインポート

CSVファイルをアップロードすることによって複数のユーザーアカウントをサーバーに一括で作成します。

注意事項
ShiftJIS形式でファイルを作成してください。
CSVファイルのカラム形式は「ユーザーID,所属ドメイン,氏名,パスワード,メール権限(yes/no),ファイル権限(yes/no),ミーティング参加権限(yes/no),ミーティングルーム管理(yes/no),ディスク容量(MB)」となります。
版に存在しているユーザーと同一ユーザー名のユーザーは追加できません。
既に存在しているメールアカウントと同一ユーザー名のユーザーは追加できません。
作成ユーザー数が多い場合、完了するまでに時間がかかる場合があります。その他の操作はできません。

CSVファイルを選択: 選択されていません

フォーマットサンプルCSVのダウンロード

ユーザーID	所属ドメイン	氏名	パスワード	権限(メール)	権限(ファイル)	権限(ミーティング参加)	権限(ミーティングルーム管理)	ディスク容量
--------	--------	----	-------	---------	----------	--------------	-----------------	--------



3. ダウンロードした[sample_prem.csv]を開きます。

A1									
	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	ユーザーID	所属ドメイン	氏名	パスワード	権限(メール)	権限(ファイル)	権限(ミーティング参加)	権限(ミーティングルーム管理)	ユーザーディスク容量(MB)
2	sample01	example.com	SampleUser01	Sample01#Pass	yes	no	yes	yes	500
3	sample02	example.com	SampleUser02	Sample02#Pass	no	yes	yes	no	300
4	sample03	example.org	SampleUser03	Sample03#Pass	yes	no	yes	yes	400
5	sample04	example.com	SampleUser04	Sample04#Pass	yes	yes	no	no	1000
6	sample05	example.org	SampleUser05	Sample05#Pass	no	yes	yes	no	700

4. 下表を確認し、入力を行います。

A1									
	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	ユーザーID	所属ドメイン	氏名	パスワード	権限(メール)	権限(ファイル)	権限(ミーティング参加)	権限(ミーティングルーム管理)	ユーザーディスク容量(MB)
2	m.tanaka	example.com	田中 実	Tanaka01#Pass	yes	no	yes	yes	500
3	s.suzuki	example.com	鈴木 実	Suzuki02#Pass	no	yes	yes	no	300
4	m.suzuki	example.co.jp	鈴木 実	Suzuki03#Pass	yes	no	yes	yes	400
5	k.satou	example.com	佐藤 清	Satou04#Pass	yes	yes	no	no	1000
6	k.takahashi	example.co.jp	高橋 清	Takaha05#Pass	no	yes	yes	no	700

5. ユーザー

CSV ファイル作成ルール

カラム	使用可能な文字種	文字数
ユーザーID	半角英小文字、0 から 9 までの半角数字、記号の一部 . _ ・ 1 文字目は、半角英小文字または半角数字のみ ・ 最後の 1 文字に"." (ドット) を使用しない ・ 記号"." (ドット) を連続して使用しない ● 大文字と小文字は判別されません。 半角英大文字を入力した場合、全て半角英小文字で登録されます。 ● 同じ ID を重複して登録することはできません。 ● ファイル権限を付与して利用する場合、文字数は 16 文字以下で作成することをお勧めします。ご利用の FTP ソフトにより、16 文字以上で設定できない可能性があります。	1~32
所属ドメイン	追加登録済のドメインを入力します。	—
氏名	半角英小文字 (a~z)、半角英大文字 (A~Z)、半角数字 (0~9)、半角記号 (-. _)、全角文字 (上記文字種の全角も含む)	—
パスワード	半角英大文字、半角英小文字、半角数字、 記号の一部 @ # \$ % ^ * () _ + = - & ● 英大文字、英小文字、数字、記号をそれぞれ 1 字以上含む必要があります ● 大文字小文字は区別されます	8~32
メール機能の利用	yes か no (入力必須)	—
ファイル機能の利用	yes か no (入力必須)	—
ミーティング機能の利用	yes か no (入力必須)	—
ミーティング機能の利用 (グループ管理権限)	yes か no (入力必須)	—
ユーザーディスク容量 (MB)	半角数字	—

5. CSV ファイルへの入力が完了したら、保存します。

6. ホーム画面に戻り、再度[ユーザー]をクリックし、[CSV からインポート]をクリックします。

5. ユーザー

各入力項目について

ユーザーID

制限項目	制限内容
使用可能な文字種	半角英小文字、0 から 9 までの半角数字、記号の一部 . _
命名規則	<ul style="list-style-type: none">・ 1 文字目は、半角英小文字または半角数字のみ・ 最後の 1 文字に"." (ドット) を使用しない・ 記号"." (ドット) を連続して使用しない
最大文字数	32 文字
備考	<ul style="list-style-type: none">● 大文字と小文字は判別されません。半角英大文字を入力した場合、全て半角英小文字で登録されます。● 同じ ID を重複して登録することはできません。● ファイル権限を付与して利用する場合、文字数は 16 文字以下で作成することをお勧めします。ご利用の FTP ソフトにより、16 文字以上で設定できない可能性があります。

所属ドメイン … 追加登録済のドメインを入力します。

氏名 … 半角アルファベット、漢字、カタカナが使えます。

制限項目	制限内容
使用可能な文字種	半角英小文字 (a~z)、半角英大文字 (A~Z)、半角数字 (0~9)、半角記号 (-. _)、全角文字 (上記文字種の全角も含む)

パスワード … セキュリティ上、推測しにくいパスワードを設定してください。

制限項目	制限内容
使用可能な文字種	半角英大文字、半角英小文字、半角数字、記号の一部 @ # \$ % ^ * () _ + = - &
文字数	8 ~ 32 文字
備考	英大文字、英小文字、数字、記号をそれぞれ 1 字以上含む必要があります 大文字小文字は区別されます

ユーザーディスク容量 … MB (メガバイト) で入力します。0 (ゼロ) と入力すると、サーバー管理者と共通となります。

ドメイン管理者の容量に対して、利用予定のメールアドレス数を分配します。

30720MB (30GB) ÷ 150 メールアドレス = 約 200MB

この設定値により、ユーザーは設定値以上のメールを送受信する事ができなくなります。

・ 注意

上記は一例であり、ご利用の推奨値ではございません。大容量のメール (容量、通数) を一斉に送受信 (アクセスが集中) すると、サーバーの応答が著しく低下することがあります。

5. ユーザー

⑦ ユーザーの権限

項目	概要
メール	メールアドレスでメール送受信をする為の権限です。 チェックを外した場合、ユーザーはメールの利用ができません。
ファイル	ユーザー領域のファイルをウェブブラウザ上またはFTP等で操作・編集が行えます。 ただしドメイン管理者が管理するウェブサイト領域等は操作できません。 ウェブコンテンツをアップロードする場合はサイト編集権限を持つ必要があります。
ミーティング	ミーティング機能・議事録機能・タスク管理機能を利用できます。 ただし、自身が所属しているグループに限ります。 (グループ管理権限ありの場合、ミーティングで使うグループの作成・変更・削除を行うことができます。)

⑧ メモ … 作成するユーザーへのメモ欄です。空欄のままでも設定が出来ます。

[保存]ボタン、続けて次のユーザーを作成する場合は[保存・次のユーザーを作成]ボタンをクリックする

7. [ファイルを選択]ボタンをクリックし、ファイルを選択します。

CSVファイルをアップロードすることによって複数のユーザーアカウントをサーバーに一括で作成します。

注意事項
ShiftJIS形式でファイルを作成してください。
CSVファイルのカラム形式は「ユーザーID,所属ドメイン,氏名,パスワード,メール権限(yes/no),ファイル権限(yes/no),ミーティング参加権限(yes/no)」です。
既に存在しているユーザーと同一ユーザー名のユーザーは追加できません。
既に存在しているメールアカウントと同一ユーザー名のユーザーは追加できません。
作成ユーザー数が多い場合、完了するまでに時間がかかる場合があります。その間他の操作はできません。

CSVファイルを選択: ファイルを選択 選択されていません

ユーザーID	所属ドメイン	氏名	パスワード	権限(メール)	権限(ファイル)	権限(ミーティング参加)

6. 音声認識・翻訳エンジン

6. 音声認識・翻訳エンジン

議事録機能を利用するにあたって、ご契約のサーバーで許可する音声認識・翻訳エンジンを選択することができます。

ここでは音声認識・翻訳エンジンの設定方法についてご案内します。

6.1. 音声認識・翻訳エンジンの種類

6.1.1. 音声認識・翻訳エンジンとは

本サービスの議事録機能では、以下のエンジンを利用して、会議の音声テキスト化したり翻訳したりすることができます。

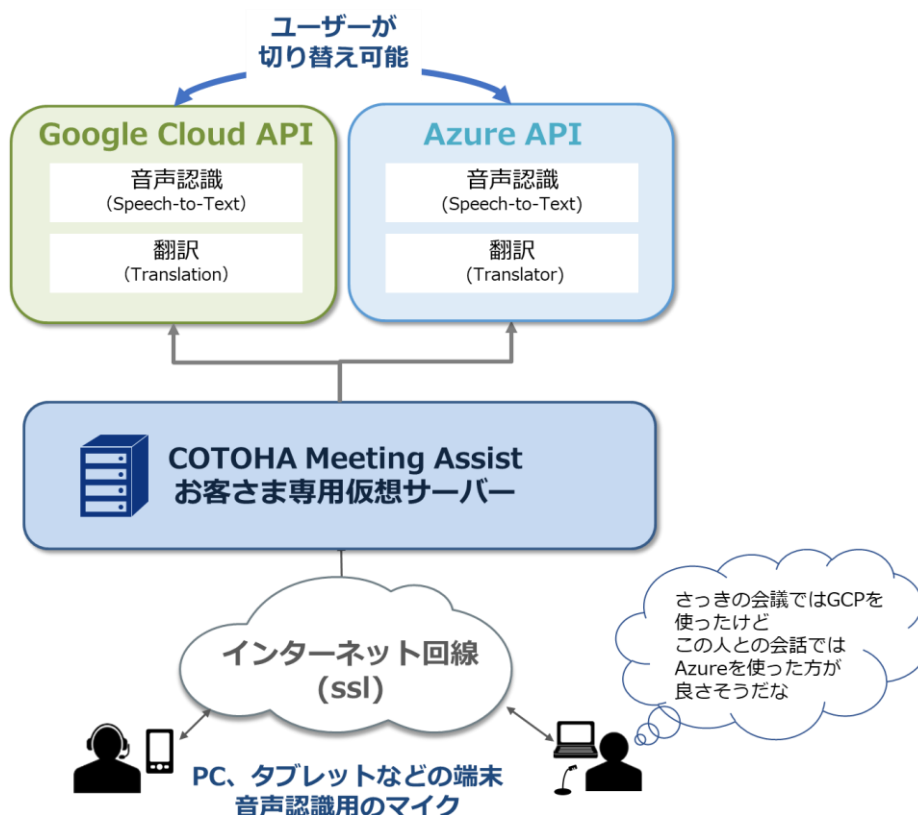
音声認識エンジン・・・会議の音声をテキスト化する役割

翻訳エンジン・・・テキスト化されたものを別の言語へ変換する役割

「API パック（G）」を契約すると、これらのエンジンを契約容量内で利用することができます。

各エンジンは、会議環境や記録したい内容に合わせて、Google 社の提供する API（Google Cloud Platform）か、Microsoft 社の提供する API（Microsoft Azure）かを選択することができます。
※いずれのエンジンも、お客様の音声データ・テキストデータについては一切学習しません。

<イメージ>



6. 音声認識・翻訳エンジン

6.1.2. 音声認識・翻訳エンジンの種類と特徴

Google Cloud Platform（以下、GCP）と Microsoft Azure（以下、Azure）でそれぞれ特性が異なります。会議環境や記録したい内容に合わせて、利用するエンジンを切り替えることが可能です。

なお、ご利用提供時には Azure が設定されているので、必要に応じてサーバー管理者で切り替えてください。（操作の詳細は、次章以降を参照）

Azure・・・小さい音も拾いやすい。言い淀みや相槌は話したとおりに表示される。

GCP・・・言い淀みや相槌は自動的に削除されて表示される。
認識しにくかった音声は予測変換される。

<イメージ>



Azureを使った場合のテキスト化例

A えー、こちらの内容でお間違いないでしょうか？

B あ、はい、えーと、そうですね。問題ありません。

GCPを使った場合のテキスト化例

A こちらの内容でお間違いないでしょうか？

B はい、そうですね。問題ありません。

※切り替え操作が可能なのは、サーバー管理者およびルーム管理者です。

6. 音声認識・翻訳エンジン

6.2. 音声認識・翻訳エンジンの設定

6.2.1. 設定画面

音声認識エンジンの設定画面を開きます。

ホーム画面上部の[ミーティング]をクリックしてグループ一覧画面を開いた後、[音声テキスト化設定]をクリックします。



6.2.2. 音声認識エンジン・翻訳エンジンのデフォルト設定

この項目は必須です。

サーバー全体で利用する音声認識エンジンを選択します。

デフォルトでは Azure が選択されているので、GCP に切り替える場合は、GCP のラジオボタンをクリックし、保存します。逆に、GCP から Azure へ変更する際も同様に、ラジオボタンをクリックします。

エンジン

1 | 音声認識エンジン・翻訳エンジンのデフォルト設定

☒ **Azure** (ご利用中)
話した通りのテキスト化重視
小さな声でも抜け漏れが少なく話した言葉をそのままテキスト化したいシーン向け
(「えーっと」などの言葉もテキスト化されます)

☐ **GCP**
エンジンによる補正重視
言い淀みや言い直しを自動的に削除してテキスト化したいシーン向け

2 | 音声認識エンジンのルーム別設定

☐ ルームごとに音声認識エンジンの選択を許可する

※ 本設定を許可するとルームごとに利用する音声認識エンジン(Azure/GCP)を選択できます

※ ミーティングルーム管理権限を持つユーザーも音声認識エンジン(Azure/GCP)を選択できます

6.2.3. 音声認識エンジンのグループ別設定

この項目は任意です。

この項目にチェックを入れて有効にすると、各グループで利用する音声認識エンジンをグループ作成者が切り替えることができるようになります。

- ※ グループ内で利用するエンジンの切り替えはグループ作成/編集画面、ミーティング画面で変更可能
- ※ 翻訳エンジンは、サーバー管理者がデフォルト設定で選択しているものになります。
- ※ サーバー管理者は全てのグループに対して個別に設定変更ができます。

6. 音声認識・翻訳エンジン

• 注意

「general」「support-desk」のグループでは、音声認識エンジンを切り替えることができません。
「音声認識エンジン・翻訳エンジンのデフォルト設定」で選択されているものになります。

7.メールサーバー

この章では、[管理者設定]メニューの「メールサーバー」グループに含まれる機能のうち、管理者限定の機能についてご案内致します。

7.1. メールサーバーの概要

7.1.1. メールサーバー機能

本サービスのメールサーバー機能は、以下内容となります。

機能	内容
提供プロトコル	SMTP (Port587) SMTP over TLS (Port587) POP3 (port 110) POP3s (POP3 over SSL: port 995) IMAP (IMAP4: port 143) IMAPs (IMAP over SSL: port 993)
インターフェース	ウェブメール POP3/IMAP SMTP (認証方式は SMTP Auth)

・ 注意

SMTP (Port 25) はご利用いただけません。

7.1.2. メール送受信の暗号化

本サービスでは、以下に示すプロトコルを使用することにより、本サービスとメールソフト間の送受信を暗号化する事ができます。

- ・ POP over SSL (Port 995)
- ・ IMAP over SSL (Port 993)
- ・ SMTP over TLS (Port 587)

7. メールサーバー

• 注意

- ・ 上記設定に対応したメールソフトをご利用いただくことが必要となります。

メールソフトの設定については、「メール設定マニュアル」をご参照ください。

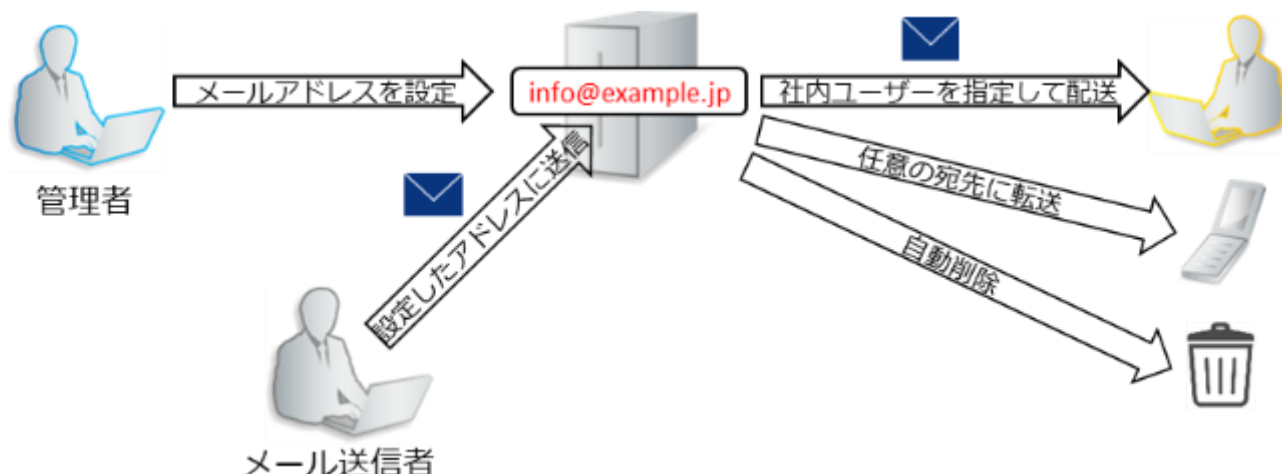
- ・ 上記プロトコルを使用する場合、本サービスにインストール済みの証明書の利用が必要となります。その為、お客様ご利用メールソフト内のメールサーバー欄にデフォルトドメイン（<サーバー管理者ユーザーID>.mwprem.net）の記述が必要となります。」

7. メールサーバー

7.2. メールアドレス

ユーザーを作成してメール権限を付与することで、ユーザーID@所属ドメイン名 のメールアドレスが利用できます。

その他にサーバー管理者またはドメイン管理者の設定により、1 ユーザーが複数のメールアドレスを所有できるようになります。設定したメールアドレスには任意のアドレスへの転送や自動削除等の動作を指定する事ができます。



7.2.1. メールアドレスの新規作成

1. [メールサーバー]をクリックし、[メールアドレス]をクリックします。

The screenshot shows the '管理者設定 / メールサーバー / メールアドレス' (Administrator Settings / Mail Server / Email Address) page. The left sidebar has 'メールサーバー' and 'メールアドレス' highlighted. The main area is titled 'メールアドレス管理' (Email Address Management) and states 'メールアドレスの作成・削除および設定ができます。' (You can create, delete, and set email addresses). A '新規作成' (New Creation) button is present. Below it, it says '8 個のメールアドレスが設定されています' (8 email addresses are set). There is a '初期アドレスの表示' (Display initial address) checkbox and a pagination bar showing '表示 10 / ページ 1 - 8 件目を表示 全数: 8'. A table lists the email addresses with their processing methods, recipients, and actions.

メールアドレス	処理方法	受信者	操作
<input type="checkbox"/> c*****@c*****.mwprem.net	受信	c*****	<input type="checkbox"/> 設定 <input type="checkbox"/> 削除
<input type="checkbox"/> example.com_admin@example.com	受信	example.com_admin	<input type="checkbox"/> 設定 <input type="checkbox"/> 削除
<input type="checkbox"/> m.tanaka@example.com	受信	m.tanaka	<input type="checkbox"/> 設定 <input type="checkbox"/> 削除
<input type="checkbox"/> k.satou@example.com	受信	k.satou	<input type="checkbox"/> 設定

10. [新規作成]ボタンをクリックします。

7. メールサーバー

管理者設定 / メールサーバー / メールアドレス

✕ メールアドレス管理

メールアドレスの作成・削除および設定ができます。

新規作成

8 個のメールアドレスが設定されています

☐ 初期アドレスの表示

表示 / ページ 1 - 8 件目を表示 全数: 8 初込検索

<input type="checkbox"/> メールアドレス	処理方法	受信者	操作
<input type="checkbox"/> c*****@premcdevsen1.mwprem.net	受信	c*****	<input type="button" value="設定"/> <input type="button" value="削除"/>
<input type="checkbox"/> example.com_admin@example.com	受信	example.com_admin	<input type="button" value="設定"/> <input type="button" value="削除"/>
<input type="checkbox"/> m.tanaka@example.com	受信	m.tanaka	<input type="button" value="設定"/> <input type="button" value="削除"/>
<input type="checkbox"/> k.satou@example.com	受信	k.satou	<input type="button" value="設定"/> <input type="button" value="削除"/>

3. メールアドレスの@から左側を入力し、ドメインを選択します。続けて処理方法を選択します。

管理者設定 / メールサーバー / メールアドレス / 新規作成

🔍 メールアドレス作成

新しいメールアドレスを作成します。

メールアドレス

@

処理方法

☐ 受信拒否

☐ 自動削除

☐ 受信 - 受信ユーザー:

☐ 受信 - 詳細設定:

ユーザー名およびメールアドレスで受信者を指定できます。
(複数設定可)

7. メールサーバー

処理方法の選択

処理方法には以下の4種類の設定方法があり、利用したい選択肢にチェックを入れて設定します。

・ 受け取り拒否

メールを受信せず、送信者にエラーメールが送信されます。

・ 自動削除

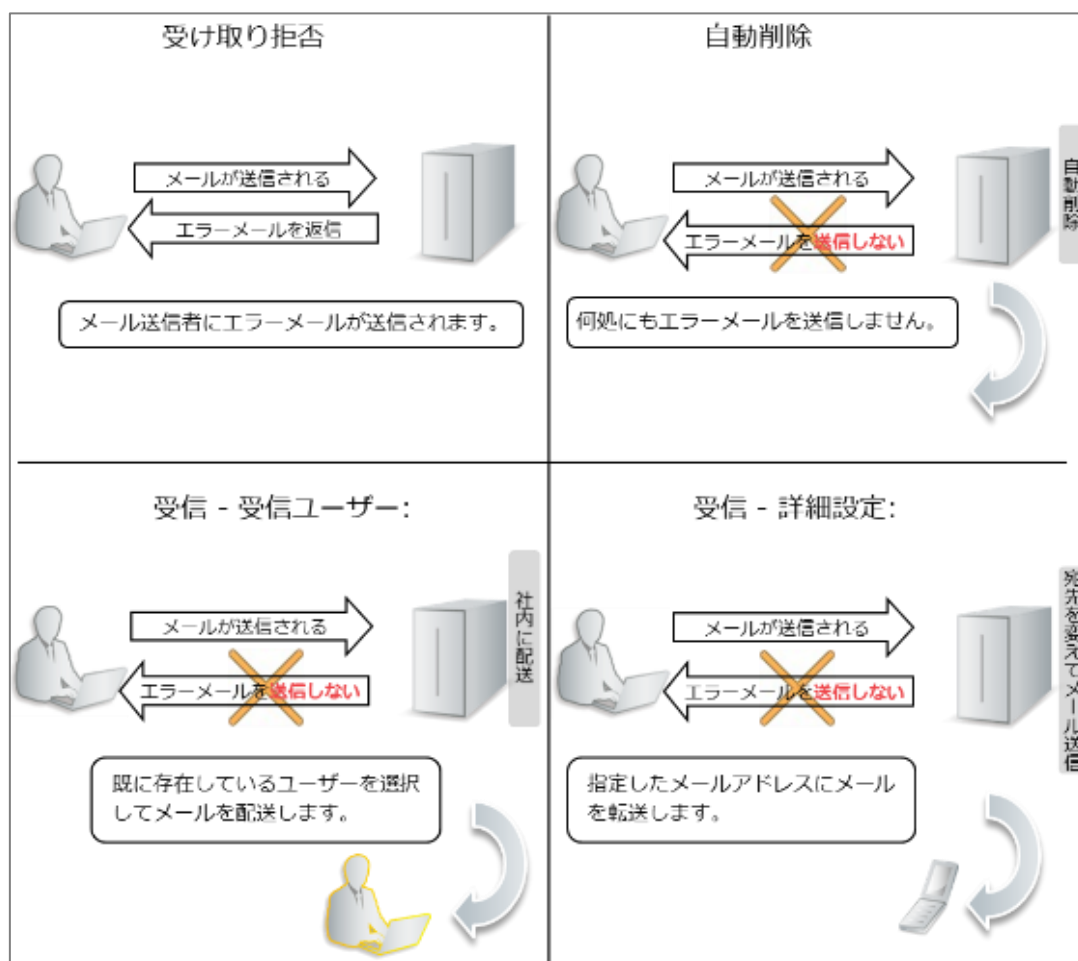
受信後にメールを自動で削除し、送信者にエラーメールは送信されません。

・ 受信 - 受信ユーザー

受信させるユーザーを選択して指定します。

・ 受信 - 詳細設定

メールアドレス（複数の場合は、[, (カンマ)]で区切る）を入力して指定します。



・ 注意

[受信 - 詳細設定:]の記載は、同ドメイン内で指定する場合も、必ず@から右のドメインを含めたメールアドレスの形式で入力してください。

例：× sample1

○ sample@example.co.jp

7. メールサーバー

3. [処理方法]の選択（入力）が終わりましたら、[保存]をクリックし、設定の完了です。

sample @ example.co.jp

処理方法

☐ 受信拒否

☐ 自動削除

☒ 受信 - 受信ユーザー:

ユーザーを選択 ▼

● 受信 - 詳細設定:

ユーザー名およびメールアドレスで受信者を指定できます。
(複数設定可)

sample1@example.co.jp, sample2@example.co.jp, keitai@smartphone.net

保存 キャンセル

管理者設定 / メールサーバー / メールアドレス

メールアドレス sample@example.co.jp を追加しました

7. メールサーバー

7.2.2. メールアドレスの設定変更

1. [メールサーバー]をクリックし、[メールアドレス]をクリックします。



2. 設定変更したいメールアドレスを探し、[設定]ボタンをクリックします。



• 注意

メールアドレス自体の変更は行えません。別途、別の文字列で新規作成する必要があります。

7. メールサーバー

3. 処理方法を任意の設定に変更し、保存をクリックして設定変更完了です。

管理者設定 / メールサーバー / メールアドレス / 設定変更

メールアドレス設定

メール受信時の処理方法を設定します。

メールアドレス
m.tanaka@example.com

処理方法

☐ 受信拒否

☐ 自動削除

☒ 受信 - 受信ユーザー:

m.tanaka ▼

☐ 受信 - 詳細設定:

ユーザー名およびメールアドレスで受信者を指定できます。
(複数設定可)

ユーザー名およびメールアドレスをカンマで区切って入力

保存 キャンセル

7. メールサーバー

7.2.3. メールアドレスの削除

1. [メールサーバー]をクリックし、[メールアドレス]をクリックします。続けて削除したいメールアドレスを探し、[削除]ボタンをクリックします。

<input type="checkbox"/>	example.com_admin@example.com	受信	example.com_admin	 
<input type="checkbox"/>	m.tanaka@example.com	受信	m.tanaka	 
<input type="checkbox"/>	k.satou@example.com	受信	k.satou	 

2. 確認画面が表示されますので、[削除]をクリックします。

管理者設定 / メールサーバー / メールアドレス / 削除

メールアドレス削除

以下のメールアドレスを削除します。

表示 10 / ページ 1 - 1 件目を表示 全数 1

メールアドレス ▲
m.tanaka@example.com

← 前へ 1 次へ →

削除 キャンセル

4. 以下のように表示されたら、メールアドレス削除の完了です。

管理者設定 / メールサーバー / メールアドレス

以下のメールアドレスが削除されました m.tanaka@example.com

• 注意

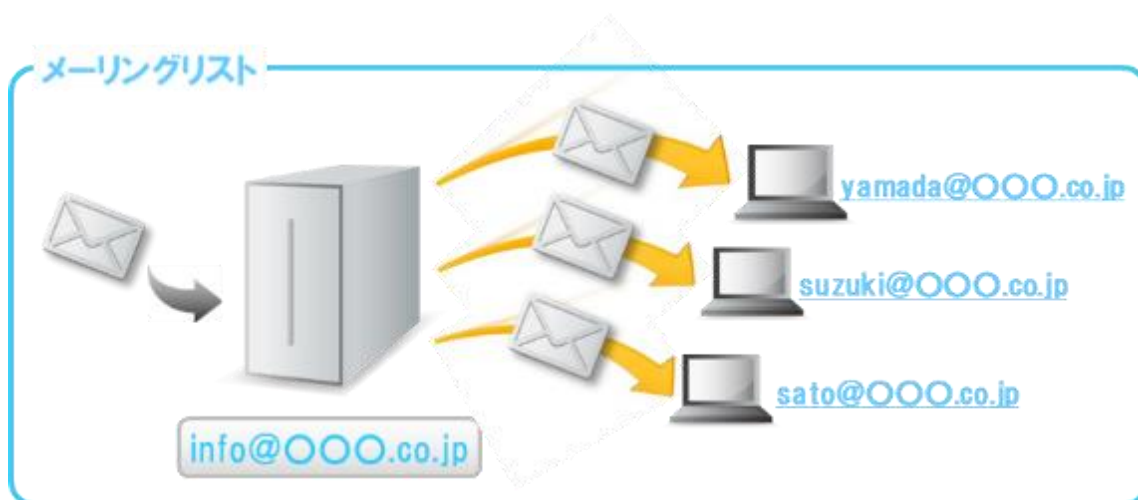
メールアドレスを削除すると、削除されたメールでのメール受信はできなくなります。また、サーバーに保存されたメールデータは自動では削除されません。削除する場合はサーバー管理者 ID または対象のドメイン管理者 ID でログインし、ファイルマネージャから対象データを手動で削除が必要です。

7.3. メーリングリスト

7.3.1. メーリングリストの概要

メーリングリストとは、複数のメールアドレスに向けて一斉にメールを配信する機能のことです。

たとえば、組織内の「営業担当」「開発担当」といったチームに対して それぞれメーリングリストを作成し、そこに該当するメンバー全員のメールアドレスを登録すると、1つのアドレスにメールを送信する操作で、登録メンバー全員に向けてメールを送信できます。



本サービスでは、サーバー管理者ユーザーID またはドメイン管理者 ID で、メーリングリストの管理機能をご利用いただけます。

本サービスで作成できるメーリングリストの概要は以下になります。

基本機能	
作成できるメーリングリスト数	最大 300 件
メーリングリストに登録できるメンバー数	最大 1000 メールアドレス
送信可能なメールのサイズ	添付ファイルを含めて、最大約 5MB

• 注意

メーリングリストのメンバーにメーリングリストのアドレスを登録すると、正常に動作しません。

7. メールサーバー

7.3.2. メーリングリストの作成

メーリングリスト機能をご利用になるには、メーリングリストの作成とメンバー登録の2つの設定が必要となります。以降で設定手順についてご説明します。

1. ホーム画面より、[メールサーバー]をクリック後、[メーリングリスト]をクリックします。



2. メーリングリストの作成画面が表示されますので、[新規作成]ボタンをクリックします。



7. メールサーバー

3. 各入力項目が表示されますので、下記の入力規則に沿って入力してください。

管理者設定 / メールサーバー / メールングリスト / 新規作成

🔗メールングリスト作成

新しいメールングリストを作成します。

メールングリスト名

@

件名のプレフィックス 

通し番号の表示 ☒

投稿可能なメンバー

メールの返信先

7. メールサーバー

メーリングリスト名

登録するメーリングリスト名を入力します。

制限項目	制限内容
使用できる文字種	半角英小文字（a-z）、半角の数字、（0-9）、一部の半角記号（ - _ . ）
最大文字数	64 文字

件名のプレフィックス

メーリングリストに投稿したとき、件名の先頭に追加される文字列を指定します。

制限項目	制限内容
使用できる文字種	半角英数字（a-z, A-Z, 0-9）、半角記号（# [] / ¥ < >を除く）
最大文字数	64 文字

通し番号の表示

チェックを入れて設定すると、メーリングリストに投稿したとき、件名の先頭に「通し番号」を付与します。

「通し番号の表示」 で、通し番号を表示しない場合でも、番号のカウントは実施されます。

投稿可能なメンバー

メーリングリストへの投稿を許可する送信者を指定します。

選択肢	説明
メンバーであれば誰でも投稿可能	メーリングリストに登録されているメールアドレスから、メーリングリストへの投稿が可能になります。
管理者に承認されたメンバーのみ	登録済みのメールアドレスで、「許可された投稿者」に設定されたメールアドレスのみ、メーリングリストへの投稿が可能になります。
メンバーにかかわらず誰でも投稿可能	メーリングリストへの登録状況や権限の付与に関係なく、あらゆるアドレスから、メーリングリストへの投稿が可能になります。

メールの返信先

メーリングリストから配信されたメールの返信先を選択します。

選択肢	説明
メーリングリスト名	メーリングリストが指定されます。
送信者	メーリングリストへの投稿者が指定されます。
特定のアドレス	ブルダウン横のテキストボックスに入力されたメールアドレス宛に送信されます。
	使用できる文字種：半角英小文字（a-z）、半角の数字、（0-9）、一部の半角記号（ - _ . ） 最大文字数：64 文字

7. メールサーバー

• 注意

- ・メーリングリスト名は、登録済みのユーザーID と重複して作成することはできません。
- ・メーリングリスト名に英大文字を使用することはできません。
- ・件名のプレフィックスを空欄にすることはできません。

4. メーリングリスト管理画面に、作成したメーリングリストが表示されます。続けてメーリングリストに投稿されたメールを受信する[メンバー]を登録する為、[メンバー]ボタンをクリックします。

5. 「メンバー設定」画面が表示されるので、「メンバー（メールアドレス）の登録」に登録したいメールアドレスを入力し、必要に応じて[投稿権をつける]はにチェックを入れて[登録]をクリックします。

7. メールサーバー

管理者設定 / メールサーバー / メールングリスト / メンバー管理

[メールングリスト一覧に戻る](#)

メンバー設定

メールングリストへのメンバー登録・削除と、メンバー毎の投稿権設定ができます。

メールングリスト名	onlineshop@example.co.jp
メンバー数	0 / 1000
件名のプレフィックス	order
通し番号	0

メンバー（メールアドレス）の登録

リストに登録するメールアドレスを入力

登録

☐ 投稿権をつける

複数のメールアドレスを登録する場合はカンマ(,)で区切って入力
[CSVからインポート](#)

メンバーリスト

表示 10 / ページ 0 - 0 件目を表示 全数: 絞り込み検索

<input type="checkbox"/>	メンバー（メールアドレス）	投稿権限	操作
-- 現在、表示するレコードはありません --			

登録メールアドレス

メンバーに追加したいメールアドレスを入力します。

項目	説明
使用できる文字種	半角英字（a-z）, 半角数字（0-9）, 一部の半角記号（ _ - . ）最大 64 文字
最大文字数	64 文字

投稿権

追加するメールアドレスに「許可された投稿者」の権限を付与することができます。

• 注意

メールングリストの設定で投稿可能なメンバーの項目が「管理者に承認されたメンバーのみ」に設定されている場合、「投稿権」が付与されていないメールアドレスからメールングリストに送信された場合に送信元にエラーが送信されます。

7. メールサーバー

7. [受信者が追加されました。] と表示され、[メンバー（メールアドレス）]欄に 登録したメールアドレスが表示されましたら完了です。

管理者設定 / メールサーバー / メーリングリスト / メンバー管理

受信者が追加されました。

メンバー設定

メーリングリストへのメンバー登録・削除と、メンバー毎の投稿権設定ができます。

メーリングリスト名	onlineshop@example.co.jp
メンバー数	1 / 1000
件名のプレフィックス	order
通し番号	0

メンバー（メールアドレス）の登録

リストに登録するメールアドレスを入力

☐ 投稿権をつける
複数のメールアドレスを登録する場合はカンマ(,)で区切って入力
[CSVからインポート](#)

メンバーリスト

表示 / ページ 1 - 1 件目を表示 全数: 1

<input type="checkbox"/> メンバー（メールアドレス）	投稿権限	操作
<input type="checkbox"/> taro@example.co.jp	<input type="button" value="投稿可"/>	<input type="button" value="✕ 投稿権をはずす"/> <input type="button" value="✕ 削除"/>

• 注意

- ・メールアドレスを登録される際に、メールがループしないようご注意ください。ループとなった場合、エラーとなり正しく送信されない可能性があります。
- ・メーリングリストの中にメーリングリストのアドレスを登録すると、正常に動作しません。
- ・登録するメールアドレスはお間違えの無いように入力ください。

7. メールサーバー

7.3.3. メーリングリストの設定変更

1. [メーリングリスト] から設定変更を行うメーリングリストの [設定] をクリックします。

管理者設定 / メールサーバー / メーリングリスト

メーリングリスト管理

メーリングリストの作成・削除および設定が行えます。

新規作成

メーリングリスト数: 1 / 300
表示 10 / ページ 1 - 1 件目を表示 全数: 1

絞り検索

メーリングリストアドレス	ステータス	操作
onlineshop@example.co.jp	有効	メンバー 設定 停止 削除

2. メーリングリストの編集画面が表示されますので、設定を変更してください。各項目の内容については、「6.3.2 メーリングリストの作成」をご参照ください。

管理者設定 / メールサーバー / メーリングリスト / 編集

メーリングリスト編集

メーリングリストの設定を変更します。

メーリングリスト名
onlineshop@example.co.jp

件名のプレフィックス
order

通し番号の表示 ☒

投稿可能なメンバー
メンバーであれば誰でも投稿可能

メールの返信先
送信者

保存 キャンセル

・ 注意

・ 一度作成されたメーリングリストの名前を変更することはできません。外套のメーリングリストを削除の上、再度作成してください。

7. メールサーバー

7.3.4. メンバーの編集

メンバーの投稿権の編集

1. [メーリングリスト] から設定変更を行うメーリングリストの [メンバー] をクリックします。

管理者設定 / メールサーバー / メーリングリスト

メーリングリスト管理

メーリングリストの作成・削除および設定が行えます。

新規作成

メーリングリスト数: 1 / 300

表示 10 / ページ 1 - 1 件目を表示 全数: 1

絞り込み検索

メーリングリストアドレス	ステータス	操作
onlineshop@example.co.jp	有効	メンバー 設定 停止 削除

2. メンバーリストの項目の[投稿権をはずす]、または[投稿権をつける]をクリックすると投稿権を変更できます。

管理者設定 / メールサーバー / メーリングリスト / メンバーリスト

メンバーリスト

メンバーの投稿権を設定・解除します。

新規作成

メンバー数: 1 / 300

表示 10 / ページ 1 - 1 件目を表示 全数: 1

絞り込み検索

メンバー (メールアドレス)	投稿権限	操作
taro@example.co.jp	投稿可	投稿権をはずす 削除

7. メールサーバー

メンバーの削除

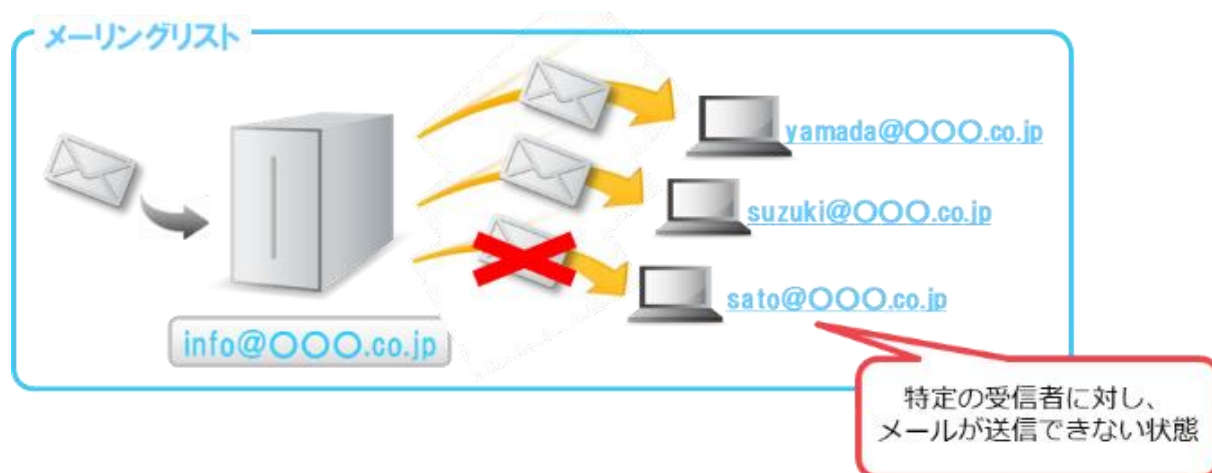
メンバーリストの項目で[削除]ボタンをクリックするか、チェックボックスで複数のメンバーを選択して一括削除ができます。



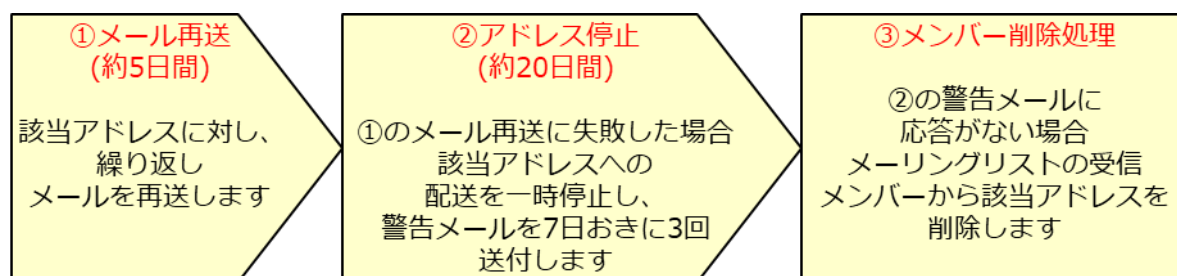
7. メールサーバー

7.3.5. メール不達時の動作

メールアドレスの登録ミスや削除などにより、メーリングリストの受信者に対して正常にメールが送信されない場合メーリングリストの受信メンバーから該当アドレスが自動的に削除されます。



メンバー削除の流れ



停止アドレスの復元について

アドレスの一時停止時、受信者リスト画面には「一時停止中」の文字が表示されます。

該当アドレスを復元にするには以下いずれかの作業を実施してください。

停止アドレスの復元	
[1] 受信者による作業	該当アドレス宛に送付された警告メールに対し、件名や内容を変更せずにそのまま返信します。 ※この方法は、受信者が警告メールを受信できた場合のみ可能です。 <例> 警告メール内容サンプル>
[2] 管理者による作業	「受信者リストの編集」画面より、該当メールアドレスをいったん受信者から削除した後再登録してください。

● アドバイス

受信者の一時停止時とメンバー削除時には、管理者宛にメールで通知されます。

7. メールサーバー

7. メールサーバー

7.4. 受信サーバー設定

7.4.1. 受信サーバー設定の概要

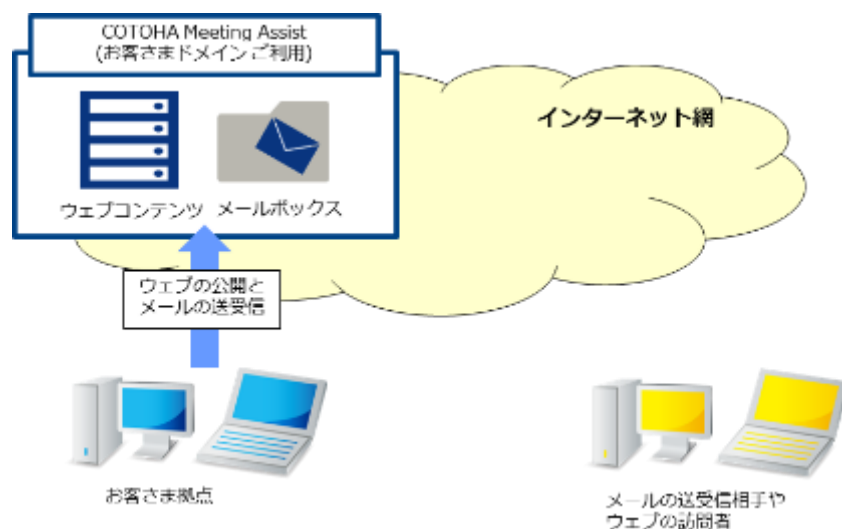
サーバー受信設定は、COTOHA Meeting Assist サーバーのメール受信方法を変更する機能です。

メールサーバーを本サービスではなく、外部のメールサーバーで利用する場合、本機能を利用することにより COTOHA Meeting Assist サーバーにてメールを受信しないよう設定することができます。

※本機能は、オプションサービス「迷惑メールフィルタリングサービス」をご使用でない場合に限り有効になります。

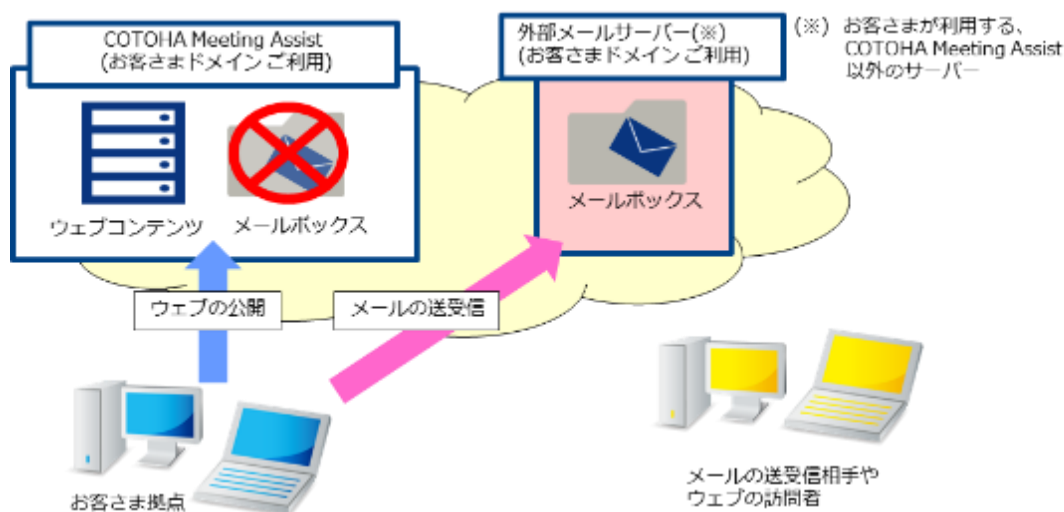
■通常のご利用時

COTOHA Meeting Assist では、標準でウェブコンテンツおよびメール送受信が利用できるよう設定されております。このまま利用される場合には、設定の変更は必要ありません。



■設定変更が必要な場合

ウェブサイトのみの COTOHA Meeting Assist 上で運用し、メールを外部メールサーバー（※）で運用する場合は設定の変更が必要です。



7. メールサーバー

7.4.2. メール受信設定の変更

本機能で[ドメイン宛メール受信設定]を変更すると、外部のメールサーバーでメールの受信ができるようになります。設定手順を以下でご説明します。

※設定にあたり、以下の注意事項を必ずご確認ください。

・ 注意

- ・ 誤って本設定を実施した場合、本サービスのサーバーでメールの受信ができなくなります。内容をよくご理解いただいたうえで十分ご注意ください。
- ・ 外部のメールサーバーを宛先として、COTOHA Meeting Asssit からメールを送信する（ウェブコンテンツのメールフォーム等）際の、差出人のメールアドレス（ユーザー）が存在していない場合、メール送信ができなくなる場合があります。ドメインの所在が外部メールサーバーにある場合でも、メールアドレス（ユーザー）は削除しないでください。

1. [ドメイン]をクリックし、設定変更したいドメインの[設定]ボタンをクリックします。

管理者設定 / ドメイン

ドメイン管理

ドメインのサーバーへの登録・削除および設定が行えます。

新規登録

4 ドメインが設定されています

表示

▼

 / ページ 1 - 4 件目を表示 全数: 4 絞り込み検索

<input type="checkbox"/>	ドメイン名	管理者名				操作
<input type="checkbox"/>	example.co.jp	example.co.jp_admin	2	3	0 MB	<div>⚙️ 設定</div> <div>✖️ 削除</div>
<input type="checkbox"/>	example.com	example.com_admin	4	3	0 MB	<div>⚙️ 設定</div> <div>✖️ 削除</div>

7. メールサーバー

2. [メールサーバー設定]欄の[ドメイン宛メール受信設定]にて[ドメイン宛のメールを受信する]のチェックを外して、[保存]ボタンをクリックします。

メールサーバー設定

ドメイン宛メール受信設定 ⓘ

外部のメールサーバーで同一のドメインを利用する場合などにメールを受信しないように設定できます。
チェックを外した場合はメールを受信できなくなります。

☒ ドメイン宛のメールを受信する

メールキャッチオール設定

受信するメールアドレスが存在しない場合の処理を設定できます。

- ☒ メール拒否 - 不明なあて先として返信
- ☐ 自動削除
- ☐ ドメイン管理者に送信
- ☐ 次のアドレスに送信:

メールアドレスを入力

保存 キャンセル

7. メールサーバー

7.5. ウェブメール

7.5.1. ウェブメール管理者設定

本サービスではウェブメール（Active!mail）を利用できます。メールソフトのような設定は不要です。Active!mail の管理者画面を開くことができます。

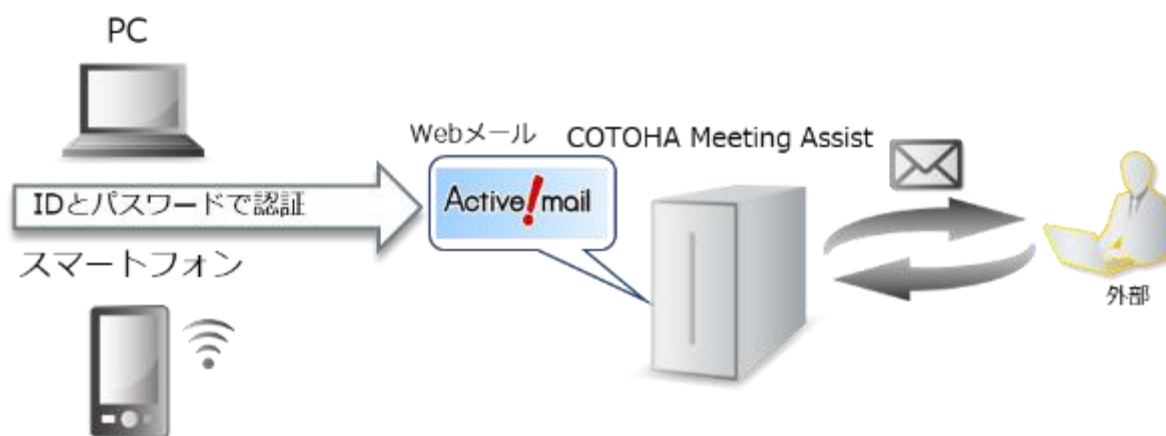
管理者画面では利用する全ユーザーに対して以下の設定ができます。

- ・ドメイン設定（独自ドメインの追加）
- ・アカウントロック設定

※Active!mail の利用方法については別紙「Active!mail 利用マニュアル」をご参照ください。

7.5.2. ウェブメールのドメイン設定

Active!mail の利用には、ドメインの設定を行う必要があります。



1. [メールサーバー]をクリックし、[ウェブメール]をクリックします。続けてウェブメール管理者設定の[ログイン画面を開く]をクリックします。



7. メールサーバー

2. Active!mail 管理者用ログイン画面が表示されます。ご利用内容のご案内の[パスワード（管理者用）]欄に記載のウェブメールのユーザーID とパスワードを入力し、[ログイン]ボタンをクリックします。



Active! mail

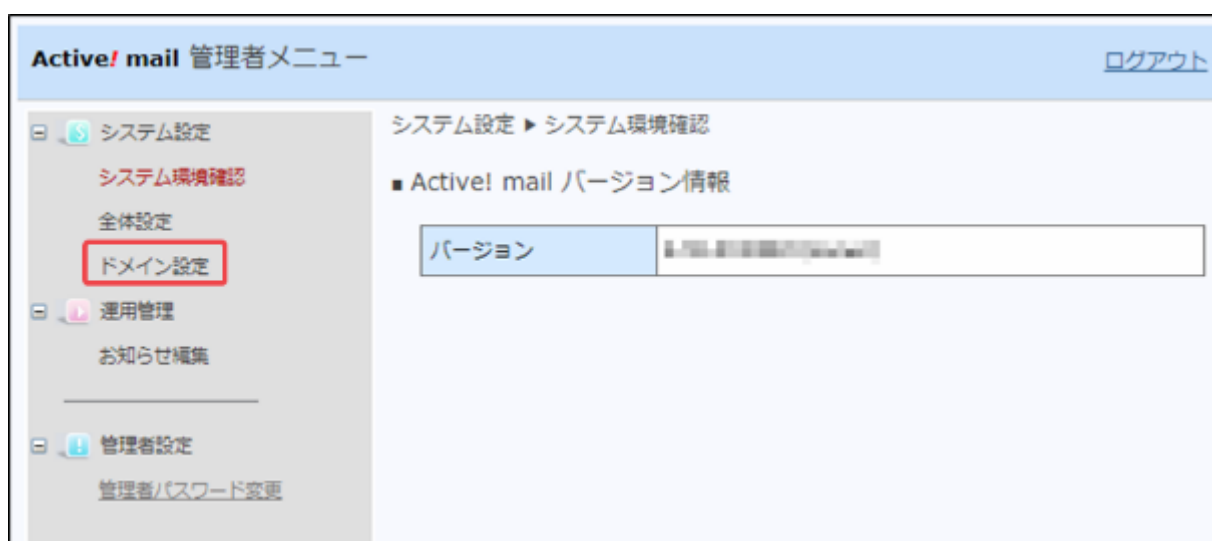
管理者用ログイン

ユーザID :

パスワード :

Active! mail ©1998-2017 QUALITIA CO., LTD. All Rights Reserved.

3. [ドメイン設定]をクリックします。



Active! mail 管理者メニュー [ログアウト](#)

システム設定 ▶ システム環境確認

■ Active! mail バージョン情報

バージョン

システム設定

- システム環境確認
- 全体設定
- ドメイン設定**
- 運用管理
- お知らせ編集

管理者設定

- 管理者パスワード変更

4. 下記、赤枠の部分をクリックします。



■ドメイン一覧

選択	ドメインID	ドメイン名	ドメイン別名
<input type="checkbox"/>	default	mwprem.net	Default domain

7. メールサーバー

5. ドメイン編集の画面が表示されますので、以下の項目を入力します。

各入力項目について

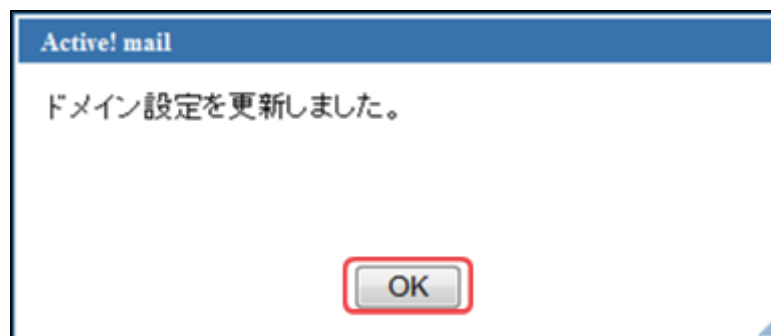
①ドメイン名 … デフォルトドメイン名が入力されていますので、ご利用ドメインに変更します。当項目は、ウェブメールでメール送信時の差出人のメールアドレス（@から右側）に反映されます。

例：example.jp

②ドメイン別名 … Default domain と入力されていますので、ドメインに変更します。この表示名は、**Active!mail** のログイン画面に「ドメイン選択」欄の表示名として使用されます。

例：example.jp

7. 入力を終わったら[OK]ボタンをクリックし、ダイアログが表示されたら再度[OK]ボタンをクリックします。



以上で Active!mail 初期設定の完了となります。

● アドバイス

ご利用ドメインが1つの場合は、管理者メニューでの設定は完了です。

複数ドメインをご利用になる場合は、次項をご参照の上ドメインの追加を行ってください。

7. メールサーバー

複数ドメインを利用される場合

2 個目以降のドメインを追加します。

(利用されるドメインの数だけ、(1)～(5)を繰り返してください)

1. [新規作成]をクリックします。
2. [デフォルトドメインと同じ]のチェックボックスをクリックし、チェックをはずした状態にします。

ドメインの新規作成

設定カテゴリ: 必須設定 / 基本設定 ▼

デフォルトドメインと同じ

設定項目		
ドメイン名 DOMAIN_NAME	example.jp	<input type="checkbox"/>
ドメイン別名 DISPLAY_NAME		

OK キャンセル

5. [ドメイン名]と[ドメイン別名]欄にご利用ドメインを入力し、[OK]ボタンをクリックします。

ドメインの新規作成

設定カテゴリ: 必須設定 / 基本設定 ▼

デフォルトドメインと同じ

設定項目		
ドメイン名 DOMAIN_NAME	example.co.jp	<input type="checkbox"/>
ドメイン別名 DISPLAY_NAME	example.co.jp	

OK キャンセル

4. ダイアログが表示されたら再度[OK]ボタンをクリックします。

Active! mail

ドメイン設定を更新しました。

OK

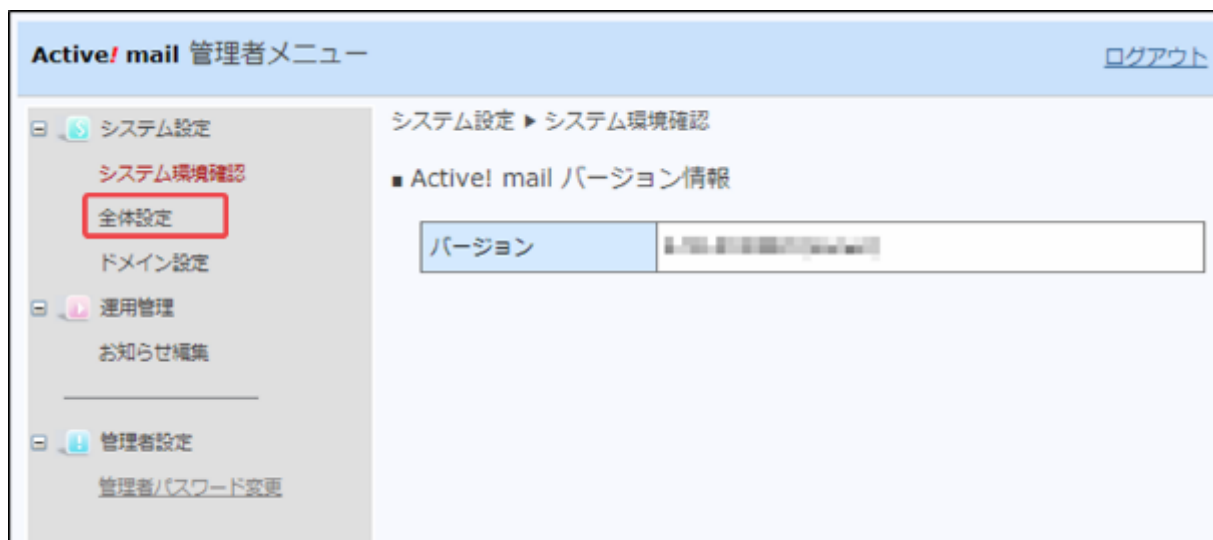
7. メールサーバー

ドメイン設定を有効にする

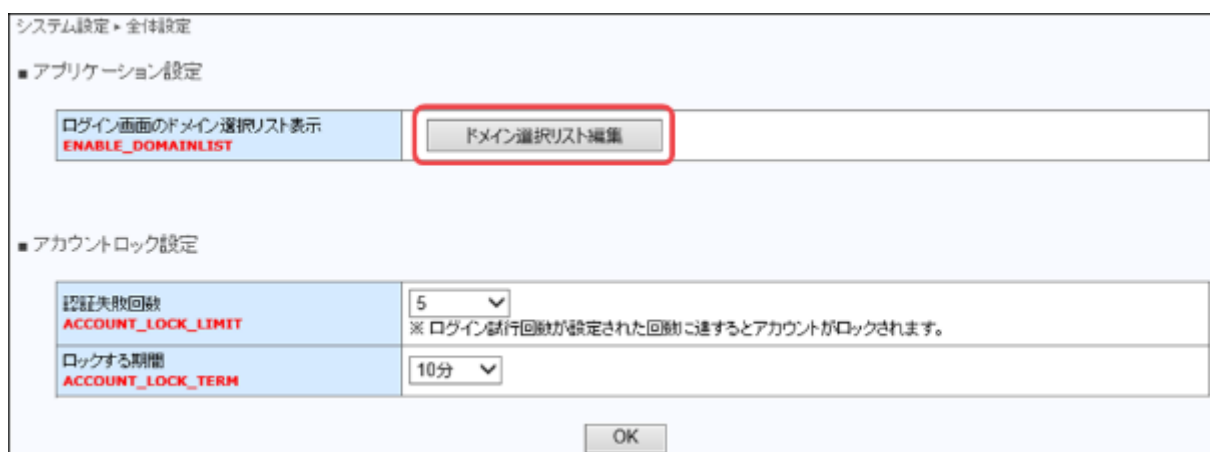
ドメインの設定を行った後は、登録のみで無効化されている状態となっています。

このページでは有効にする手順について説明します。

1. [全体設定]をクリックします。

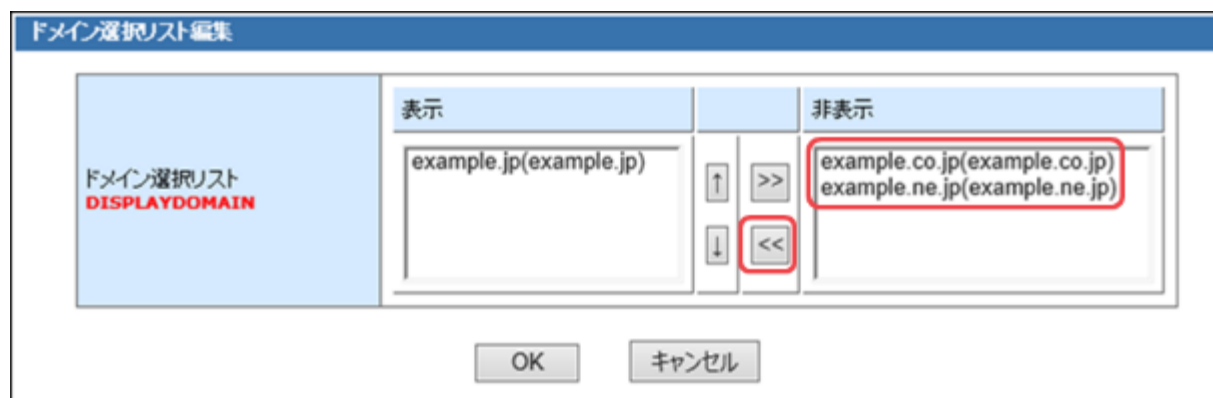


2. [アプリケーション設定]欄の[ドメイン選択リスト編集]をクリックします。



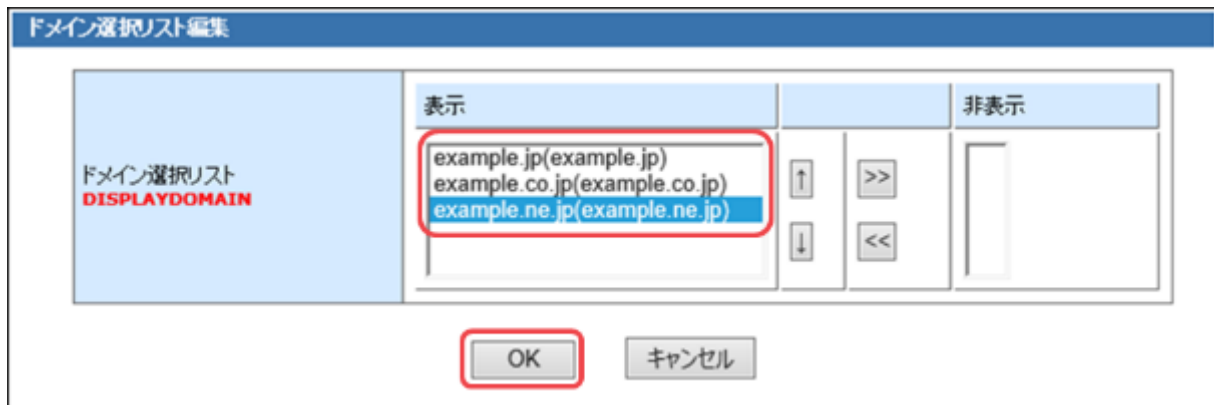
非表示ボックスにあるドメインを選択状態とし、[<<]ボタンをクリックします。

- ・複数ドメインがある場合は、ドメインを全て、左側の表示ボックスへ移動させてください。



7. メールサーバー

6. 左側表示ボックスに利用するドメインが、すべて移動されていることを確認し[OK]ボタンをクリックします。



5. ダイアログが表示されますので、[OK]ボタンをクリックします。

以上でドメイン設定の有効化は完了です。

・ 注意

- ・ 当サービスの Active!mail は、他社で提供されている内容と仕様が異なる部分がございます。

- ・ **Active!mail にてご利用いただけるメールアドレス数の上限は 1000 となります。**

※ドメイン毎に Active!mail へログインすることで 1 アドレスとカウントされます。

例) shain1@example.jp で Active!mail へログイン → 1/1000 使用

shain2@example.jp で Active!mail へログイン → 2/1000 使用

shain2@example.co.jp で Active!mail へログイン → 3/1000 使用

1000 アドレスまでログインされますと、それ以外のアドレスでのログインが不可になります。詳細はカスタマーサポート窓口までお問い合わせください。

- ・ ウェブメール画面でログインを行う際は正しいドメインを選択してご利用ください。

ドメイン選択を誤った場合、ログインは可能ですが、メール送信、または相手先からメールを受信できなくなる可能性があります。

- ・ エンドユーザ作成時の「ユーザーディスク容量」の設定値以上のメールは蓄積(受信)できません。定期的に削除を行うようにしてください。

- ・ メールを大量に蓄積するとサーバーのレスポンスが低下する可能性があります。

定期的に削除を行うようにしてください。

- ・ ウェブメール画面にて、アカウントロックがかかってしまった場合の解除は当社で行えません。管理者様にて設定したロック解除までの時間をおいてから、アクセスを行ってください。

- ・ ウェブメール受信画面のメール一覧は 1 ページあたりの表示件数の上限が 100 であり、変更はできません。

- ・ Active!mail のファイル管理機能でアップロードできるファイルサイズの上限は 50MB となります。また、1 ユーザーに割り当てられるディスク使用量は合計 500MB となっております。

なお、この機能で使用するディスク使用量はユーザー作成時に割り当てるユーザーディスク容量とは別になります。

7. メールサーバー

7.6. メール分析

7.6.1. メール分析の概要

設定したキーワードをもとに集計と分析を行い、結果を表示させることによって業務推進やリスクなどの把握が可能です。

項目	種類	説明
傾向分析	分析ワード出現数の推移	設定した分析ワードが含まれていた出現数の推移を表示します。
	関連ワード	分析ワードのいずれかと一緒に出現する語句を関連ワードとして表示します。
	関連ワードの出現分布	関連ワードの出現数の分布をカレンダーで表示します。
ページ分析	最近の関連メール一覧	分析ワードを含むメールの概要を表示します。 (日時・送信者・宛先・件名・マッチ分析ワード)
訪問者分析	メール送受信の関係者マップ	分析ワードを含むメールの送受信関係図を表示します。

● アドバイス

各項目の詳細な解説は、「解説」をクリックすることで確認することができます。

7. メールサーバー

7.6.2. メール分析のインストール

1. [管理者設定]メニューから[メールサーバー]内にある[メール分析]をクリックします。



2. [ドメイン選択]欄で、メール分析をしたいドメインを選択します。



7. メールサーバー

3. ドメインを選択すると、下部に[MySQL 管理パスワード]欄が出ますので、ご利用内容のご案内に記載の[パスワード（管理者用）]を入力し、[インストール]ボタンをクリックします。



・ 注意

- ・ MySQL のパスワードを過去に任意のパスワードに変更されている場合は、この限りではございません。不明な場合は予め MySQL(管理者)のパスワード変更を行ってから、メール分析のインストールを行ってください。

- ・ メール分析機能のインストールを行うには、予め MySQL を起動する必要があります。

停止状態にてインストールを行おうとすると[MySQL is not running]と表示されます。この場合は、MySQL の起動を行ってからインストールを行ってください。

4. ダイアログが表示されますので、[OK]ボタンをクリックします。メール分析設定画面が表示されたらインストールは完了です。



7. メールサーバー

7.6.3. メール分析の設定

1. メール分析設定画面ページが表示されますので、入力を行い、[保存]をクリックしてください。設定項目については、次ページをご参照ください。

分析ワードの設定

分析軸の名称設定

メール&ウェブプレミアム

[1]

分析ワード設定

受信メール本文中に設定された分析ワードが出現した場合にメールが分析されます。
分析ワードは1つの分析軸につき5個まで設定できます。

分析ワード

メール

ホームページ

ホスティング

[2]

関連ワード分析設定 (オプション)

設定された分析ワードと一緒に出現する関連ワードを取得し、関連ワードとして分析結果に表示します。
一般的な語句に加えて、ウェブやニュースなど出る新語や流行語も関連ワードとして取得したい場合は、
下記の「追加の固有名詞辞書を利用する」にチェックを入れてください。

分析ワード辞書設定

☒ 追加の固有名詞辞書を利用する

[3]

分析対象ユーザー選択

下記で選択されたユーザーを対象にメール着信時に分析が行われます。
分析軸ごとに対象ユーザーを選択できます。
※設定可能な対象ユーザーは一般ユーザーのみとなります。

対象ユーザー ☒ 全て選択

☒ tanaka (tanaka)

☒ suzuki (suzuki)

☒ watanabe (watanabe)

☒ nakanishi (nakanishi)

☒ sasaki (sasaki)

☒ kikuchi (kikuchi)

[4]

保存

キャンセル

7. メールサーバー

2. 「分析軸の保存が完了しました。」 と表示され、「分析軸」欄に登録した名称が表示されましたら完了です。

分析軸の保存が完了しました。

≡ メール分析設定

分析軸と分析ワードを設定します。(分析軸は5つまで設定が可能です)

分析軸と分析ワードの追加

<input type="checkbox"/> 分析軸	作成日時	設定
<input type="checkbox"/> メール&ウェブプレミアム	2018-06-18 14:32:32	分析ワード編集 削除

キャンセル

設定項目

項番	項目	説明
1	分析軸の名称設定	登録する分析軸名を入力します。
		【登録可能数】 5 つまで
2	分析ワード設定	受信メール本文中から抽出するワードを入力します。
		【登録可能数】 1 つの分析軸につき 5 つまで
3	関連ワード分析設定	登録した分析ワードと共に出現するワードを取得し、関連ワードとして分析結果に表示します。 ウェブやニュースなどで出る新語、流行語も関連ワードとして取得したい場合は、「追加の固有名詞辞書を利用する」にチェックを入れてください。
4	分析対象ユーザー選択	選択されたユーザーを対象にメール着信時に分析が行われます。

7. メールサーバー

7.6.4. 分析軸の追加

メール分析軸の追加方法を以下にご説明します。

1. 管理者設定の「メールサーバー」より、[メール分析] をクリック後、右上の[設定] ボタンをクリックします。

管理者設定 / メールサーバー / メール分析

更新 設定

お客様メールのワード分析

メールに含まれるテキストを解析して動向の調査やリスク分析などをサポートします。

ドメイン選択
example.co.jp

お客様メールのワード分析【メール&ウェブプレミアム】

解説

傾向分析 関連メール 関係者マップ

分析ワード ① 関連ワード ①

分析ワードがどれだけ出現したか どのワードが分析ワードとともに現れているか

分析ワード出現数の推移 検出された関連ワード 関連ワードの出現分布

06/13 06/20 06/27 07/04 07/12

■ ホスティング ■ メール ■ ウェブ

2. メール分析設定画面にて、[分析軸と分析ワードの追加] ボタンをクリックしてください。各項目の内容については、「6.6.3 メール分析の設定」をご参照ください。

メール分析設定

分析軸と分析ワードを設定します。(分析軸は5つまで設定が可能です)

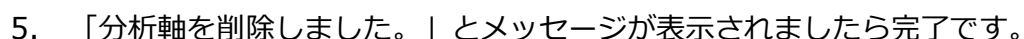
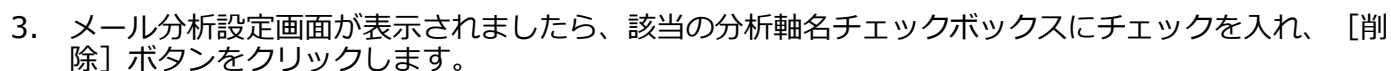
分析軸と分析ワードの追加

分析軸	作成日時	設定
example	2018-06-12 10:31:39	分析ワード編集 削除

キャンセル

7.6.5. 分析軸の削除

1. [管理者設定]メニューから「メールサーバー」内の[メール分析]をクリックしてメール分析画面を開きます。
2. メール分析画面右上の「設定」ボタンをクリックします。



7. メールサーバー

分析軸を削除しました。

メール分析設定

分析軸と分析ワードを設定します。(分析軸は5つまで設定が可能です)

分析軸と分析ワードの追加

分析軸	作成日時	設定
分析軸が設定されていません。『分析軸と分析ワードの追加』メニューから設定を行ってください。		

キャンセル

7.6.6. メール分析のアンインストール

1. アンインストールをするドメインを選択し、メール分析画面右上の[設定]をクリックします。

管理者設定 / メールサーバー / メール分析

更新 設定

お客様メールのワード分析

メールに含まれるテキストを解析して動向の調査やリスク分析などをサポートします。

ドメイン選択

example.co.jp

2. メール分析設定画面より[アンインストールを表示]をクリックします。

メール分析機能のアンインストール

本機能をアンインストールするには「アンインストールボタンを表示」をクリックしてください。

アンインストールボタンを表示

3. アンインストール確認画面にて、MySQL 管理者パスワードを入力し[アンインストールを実行]をクリックします。

メール分析機能のアンインストール

本機能をアンインストールするには「アンインストールボタンを表示」をクリックしてください。

アンインストール確認

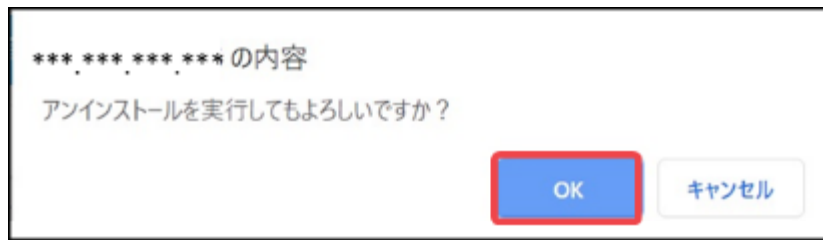
アンインストールすると、メール分析機能の設定や分析データが削除されます。アンインストールを行うにはMySQL管理パスワードを入力し、「アンインストールを実行」ボタンをクリックしてください。

MySQL管理パスワード

アンインストールを実行

4. 確認メッセージが表示されますので[OK]をクリックします。

7. メールサーバー



5. 初期インストール画面が表示されましたら完了です。

• 注意

- ・メール分析ツールをアンインストールすることによりそれまで蓄積した分析データも削除されます。
 - ・本機能はお客様のメール利用方法によりデータの表示分析結果が異なります。
- また参考値となるためデータの精度を保証するものではありませんので、ご了承ください。

8.ウェブサーバー

この章では、本サーバー内のディレクトリ構成の概要、及び[管理者設定]メニューの「ウェブサーバー」グループに含まれる機能のうち、管理者限定の機能についてご案内します。

8.1. ウェブサーバーの概要

8.1.1. ウェブサーバー機能

ウェブページとしてお客様コンテンツを公開することができます。ウェブページはドメイン管理者毎に分けて管理・公開することができます。

さらに、サイト編集権限を与えられたユーザーがコンテンツを公開することも可能です。

8.1.2. CGI の仕様

CGI スクリプトの設置場所

本サービスでは、CGI スクリプトの実装が可能です。本サーバーに実装したウェブコンテンツから、CGI スクリプトを呼び出す場合、次の記述でリンクを設定できます。サイト編集権限を付与されたユーザーが作成したウェブコンテンツからも、該当ドメイン内の CGI スクリプトの設置場所へのリンクを設定できます。

/cgi-bin/<CGI ファイルへのパス>/<CGI ファイル名>に設置した場合

http://お客さまドメイン名/cgi-bin/<CGI ファイルへのパス>/<CGI ファイル名>

例: <http://www.example.jp/cgi-bin/test.pl>

・ 注意

- ・ cgi-bin ディレクトリにファイルをアップロードした場合、ファイルのアクセスパーミッションには、本サービス環境標準のもの (644, -rw-r--r--) が割り当てられます。
- ・ 設置したファイルに対して、直接の起動を掛けたい場合には、ファイルの転送後、実行権限を与える (755, -rwxr-xr-x) 等のアクセスパーミッション変更が必要になります。
- ・ ファイル単位でのアクセスパーミッションの変更は、FTP ソフトからも設定できます。

ファイルを変更する場合は、「ファイルマネージャ」の機能で ファイルが設置されたディレクトリを表示し、該当ファイルの「プロパティ」 のリンクをクリックして、表示された「ファイルのプロパティ」 の画面から「属性の編集」 をクリックします。

8. ウェブサーバー

使用可能な言語とシェル

本サーバーで CGI を作成する場合、次に示すプログラミング言語とシェルスクリプトが、使用可能です。本サービスの CGI 環境で使用可能な言語の種類と、該当するフルパスを 次 に示します。

言語/シェル		フルパス
Perl		/usr/bin/perl
php	php5.3	/usr/local/global-bin/php-5.3.cgi
	Php7.4	/usr/local/global-bin/php-7.4.cgi
python		/usr/local/bin/python
ruby		/usr/local/bin/ruby
sh		/bin/sh

本サービスでは、一般的な UNIX コマンドのほかに、次に示すコマンドも 使用可能です。

コマンド	概要
/usr/local/bin/nkf	日本語文字のコード変換
/usr/bin/uuencode	バイナリーファイルのエンコード
/usr/sbin/sendmail	メールの送信、sendmail 互換プログラム

スクリプト言語の宣言文

各種スクリプト言語を使用する際には必ず宣言文を用いる必要があります。

言語	宣言文
Perl	#!/usr/bin/perl
python	#!/usr/bin/env python
ruby	#!/usr/local/bin/ruby
sh	#!/bin/sh

8. ウェブサーバー

CGI スクリプト実装上の注意事項

本サーバーにスクリプトを実装する場合、次の要件を満たすことが必要です。

- ・改行コードは、1 バイト (LF) にする
- ・日本語の文字は UTF-8 形式でエンコーディングする
- ・ファイルパーミッションの変更 (実行権限付与) が必要 (**755, -rwxr-xr-x** など)
- ・サーバーのフルパスでは、 /usr/home/<ユーザーID>/ となります。

1 バイト (LF) の改行コードでファイルを作成するためには、次の手順があります。

- ・「ファイルマネージャ」を使用して、ファイルを作成する
- ・Windows 環境でファイルを作成した場合は、ファイル転送時に FTP の ASCII モードで転送を掛ける

CGI スクリプトで使用可能なコマンドや 各言語のバージョン、インストール済みのライブラリなどについては弊社ホームページをご参照ください。

・ 注意

各コマンドの機能や使用方法については、サポート外となります。

各種サイトや市販本などをご参照ください。

ファイルマネージャによる CGI ファイル作成

ここでは、CGI スクリプトが格納されたファイルを、「ファイルマネージャ」の機能を使用して作成する手順をご説明します。

スクリプトファイルの要件

内容に日本語の文字を含む CGI スクリプトを 本サーバーに設置する場合、各ファイルは次の要件を満たすことが必要です。

- ・改行コードが 1 バイト ("LF") である
- ・日本語が UTF-8 の形式でエンコードされている
- ・ファイルのアクセスパーミッションには、実行権限が付与されている
- ・作成したスクリプトが 次の要件を満たしていることも、合わせて必要です。
 - スクリプトが、日本語の文字は UTF-8 の形式で処理するよう、設定されている
 - スクリプトには、文法エラーや設定値の誤りなどの問題が含まれていない

8. ウェブサーバー

ファイルの作成

ここでは、「ファイルマネージャ」の機能を使用し、「test.pl」という名前のファイルを、サーバー上の /users/ドメイン管理者 ID/www/cgi-bin/ に作成する手順を説明します。

1. ホーム画面より、[ファイル]をクリックします。



2. 「ディレクトリの内容」欄にディレクトリ名が表示されますので、「users」→「ドメイン管理者 ID」→[www] → [cgi-bin]の順にクリックします。「ホームディレクトリ/users/ドメイン管理者 ID/www/cgi-bin」が表示されていることを確認し、[ファイル作成]をクリックします。



3. 「ファイル名」の欄に test.pl と入力し、「ファイル内容」の欄にスクリプトの内容を入力したら [作成]をクリックします。

8. ウェブサーバー

新規ファイル作成

新しいファイルを作成します。

保存先ディレクトリ /users/example.co.jp_admin/www/cgi-bin/

ファイル名(必須)
test.pl

ファイル内容(任意)
test

作成 キャンセル

4. 「test.pl を作成しました」とメッセージが表示されましたら完了です。「ディレクトリの内容」欄にて、該当のファイルが保存されていることを確認してください。

ファイル / ファイルマネージャ

test.plを作成しました。

ファイルマネージャ

権限ディレクトリ内のファイル进行操作できます。

ファイルマネージャ 共有ファイル 復元ファイル ユーザーホームへ移動: example.co.jp_admin

ホームディレクトリ / users / example.co.jp_admin / www / cgi-bin

操作: 削除 | 圧縮 | 共有 | コピー | 移動 | 名前変更 | 属性変更 | 所有者変更 | 復元 | ショートカット作成

0ディレクトリ, 1ファイル, (0隠しファイル), (0ショートカット)

最終更新日時: 2018/07/24 11:59 AM

☒ 隠しファイルを表示

+ディレクトリ作成 ファイル作成 アップロード

<input type="checkbox"/>	名前	最終更新日	サイズ	操作
<input type="checkbox"/>	test.pl	2018/07/24	0.00 KB	詳細 名前変更 コピー 移動 圧縮 共有 削除

表示文字コード UTF-8

スクリプトファイルへの実行権限の付与

本サーバー内に設置したスクリプトファイルを実行するためには、実行権限を付与することが必要です。

ここでは、「ファイルマネージャ」を使用した、実行権限の付与手順を説明します。

以降の例では、「/users/ドメイン管理者 ID/www/cgi-bin/」に格納された「test.pl」ファイルに、実行権限を付与しています。

1. ホーム画面より、[ファイル]をクリックします。

8. ウェブサーバー



2. 「ディレクトリの内容」 欄にディレクトリ名が表示されますので、「users」→「ドメイン管理者 ID」→[www] → [cgi-bin]の順にクリックします。「ホームディレクトリ/users/ドメイン管理者 ID/www/cgi-bin」が表示されていることを確認し、[test.pl]の[詳細]をクリックします。



3. ファイル編集画面が開きますので、[属性変更]をクリックします。

8. ウェブサーバー

ファイルマネージャ	
ファイル名とパス	ホームディレクトリ / users / example.co.jp_admin / www / cgi-bin / test.pl
タイプ	Perl スクリプト
サイズ	0.00KB
最終更新日時	2018/07/24 11:59 AM
操作	削除 圧縮 共有 コピー 移動 名前変更 属性変更 所有者変更 ショートカット作成
オプション	無効

4. 「属性の編集」の画面で、「所有者」「グループ」「その他」に対応する [実行] のチェックボックスにチェックを入れ、[保存] ボタンをクリックします。

属性変更													
test.pl の属性を変更します。													
属性設定	<table><tbody><tr><td>所有者</td><td><input checked="" type="checkbox"/> 読込</td><td><input checked="" type="checkbox"/> 書込</td><td><input checked="" type="checkbox"/> 実行</td></tr><tr><td>グループ</td><td><input checked="" type="checkbox"/> 読込</td><td><input type="checkbox"/> 書込</td><td><input checked="" type="checkbox"/> 実行</td></tr><tr><td>その他</td><td><input checked="" type="checkbox"/> 読込</td><td><input type="checkbox"/> 書込</td><td><input checked="" type="checkbox"/> 実行</td></tr></tbody></table>	所有者	<input checked="" type="checkbox"/> 読込	<input checked="" type="checkbox"/> 書込	<input checked="" type="checkbox"/> 実行	グループ	<input checked="" type="checkbox"/> 読込	<input type="checkbox"/> 書込	<input checked="" type="checkbox"/> 実行	その他	<input checked="" type="checkbox"/> 読込	<input type="checkbox"/> 書込	<input checked="" type="checkbox"/> 実行
所有者	<input checked="" type="checkbox"/> 読込	<input checked="" type="checkbox"/> 書込	<input checked="" type="checkbox"/> 実行										
グループ	<input checked="" type="checkbox"/> 読込	<input type="checkbox"/> 書込	<input checked="" type="checkbox"/> 実行										
その他	<input checked="" type="checkbox"/> 読込	<input type="checkbox"/> 書込	<input checked="" type="checkbox"/> 実行										
<div>保存 キャンセル</div>													

5. 「属性を変更しました」とメッセージが表示されましたら完了です。

ファイル / ファイルマネージャ / ファイルの詳細

属性を変更しました

💡 アドバイス

Perl で書かれたスクリプトのほかに、Python や Ruby で書かれた各種スクリプトも、同様の手順(ファイル名のみが異なる)で、サーバー内に設置します。

⚠️ 注意

実行権限を付与していない場合、記述が正しくても正常に動作しません。
各コマンドの機能や使用方法については、サポート外となります。
各種サイトや市販本などを参照してください。

8.2. SSL/TLS 証明書

8.2.1. SSL/TLS の概要

本サービスでは、お客さまのウェブサイトが SSL 通信でご利用いただくことができます。

SSL はインターネット上で安全にデータの送受信を行うための暗号化技術です。SSL 通信とデジタル証明書を組み合わせることにより、お客さまサーバーとウェブブラウザ間で送受信されるデータを保護し、ウェブサイトから送信されるデータの送信元情報（ウェブサイトの企業実在証明 *1）や、そのデータが送信中に改竄されていないかどうかを確認できます。

本サービスのサーバーには、デフォルトドメインに対応する証明書が標準でインストールされています。このため、PC 等のクライアント端末と本サービスとの間では証明書を利用した https 通信が可能です。

*1 グローバルサイン社のクイック認証 SSL には企業実在証明はありません。

デフォルトドメイン

本サービスにて用意したホスト名で SSL アクセスが可能です。

`https://<サーバー管理者ユーザーID>.mwprem.net/`

月額費用：無料

独自ドメイン（ホスト）

お客さまの独自ドメイン名（ホスト名）で SSL アクセスを利用する。

以下の証明書以外につきましては**サポート対象外**となります。

`https://独自ドメイン名（ホスト名）/`

*本サービスでは[管理者設定]メニューから[ウェブサーバー]内にある[SSL/TLS 証明書]を使用して、証明書をインストールいただくことが可能です。インストールに費用の発生はございませんが証明書の取得費用については各証明書会社にお問い合わせください。

・ 注意

・インストール済みの証明書は、mwprem.net の証明書であるため、お客さまが作成したウェブコンテンツの有効性や サイト運用する組織の信頼性を保証するものではありません。

・お客さまドメインに対応するデジタル証明書を購入し、サーバーにインストールすることで、お客さまドメインで https プロトコルによる通信環境を確保し、第三者による保証を受けたサイトを運用することができます。

8. ウェブサーバー

8.2.2. サポートしている SSL/TLS 証明書

本サービスでサポートしている証明書は以下の通りです。

■ 証明書の種類

証明書発行会社	製品名	企業実在証明
デジサート・ジャパン合同会社*1	セキュア・サーバーID セキュア・サーバーID EV グローバル・サーバーID	○
デジサート・ジャパン・セキュリティ合同会社*2	クイック SSL プレミアム	×
GMO グローバルサイン株式会社*3	クイック認証 SSL	×
	企業認証 SSL	○

*暗号化強度は全て最大 256bit

参考

*1 デジサート・ジャパン合同会社（旧合同会社シマンテック・ウェブサイトセキュリティ）

URL <https://www.websecurity.symantec.com/ja/jp/ssl-certificate>

マネージド PKI 2048bit には対応しておりません

*2 デジサート・ジャパン・セキュリティ合同会社（旧日本ジオトラスト合同会社）

URL <https://www.geotrust.co.jp/>

*3 GMO グローバルサイン株式会社

URL <https://ocngs.globalsign.com/>

グローバルサイン社が提供する各種オプション（ワイルドカード/イントラネット/期間カスタマイズ/グローバル IP など）には対応しておりません。

8. ウェブサーバー

8.2.3. SSL/TLS 証明書の設定

SSL/TLS 証明書の取得、設定を行う場合の手順について説明します。

1. CSR の生成
2. 1 の CSR を元に、SSL/TLS 証明書の購入
3. SSL/TLS 証明書のインストール

(1) CSR の生成

- ① [管理者設定]メニューから「ウェブサーバー」内の [SSL/TLS 証明書]をクリックします。

The screenshot shows a web management interface with a sidebar on the left and a main content area on the right. The sidebar contains a menu with items like '管理者設定', 'ドメイン', 'ユーザー', 'メールサーバー', 'ウェブサーバー', and 'SSL/TLS証明書'. The 'SSL/TLS証明書' item is highlighted. The main content area is titled '管理者設定 / ウェブサーバー / SSL/TLS証明書' and contains a section 'SSL/TLS証明書の設定'. This section includes a 'ドメイン選択' dropdown menu, a table titled 'サーバー上のSSL/TLS証明書' showing a 'デフォルト' certificate with a status of '有効', and a 'SSL/TLS証明書のステータス' section with a legend for '有効', '無効', and '未完了'. Below this, there is a '新しい証明書のインストール (証明書の更新含む)' section with instructions and buttons for '署名リクエスト (CSR) 生成', '認証局からの証明書取得', and '証明書インストール'.

管理者設定 / ウェブサーバー / SSL/TLS証明書

SSL/TLS証明書の設定

SSL/TLSサーバー証明書のインストールおよび削除が行えます。
本サービスでサポートしているSSL/TLS証明書の詳細については、[こちら](#)のホームページをご覧ください。
未設定の初期状態ではデフォルトの証明書が全てのドメインに対して有効となっています。
誤った情報を設定した場合、証明書が正常にご利用頂けなくなる可能性があります。

ドメイン選択

ドメインを選択してください *

サーバー上のSSL/TLS証明書

証明書タイプ	有効期限	ステータス	操作
デフォルト	設定なし	有効	

SSL/TLS証明書のステータス

- 有効** : インストールされた証明書が有効である状態
- 無効** : インストールされた証明書が無効である状態
- 未完了** : 署名リクエスト(CSR)を生成済みで証明書のインストールが未完了である状態

✓新しい証明書のインストール (証明書の更新含む)

新しい証明書のインストール、または証明書の更新を行う場合は以下の手順に沿ってインストールを行ってください。

ステップ1-署名リクエスト (CSR) 生成-

選択ドメインに対して証明書を発行するための署名リクエスト (CSR) を生成します。

[署名リクエスト \(CSR\) 生成](#)

ステップ2-証明書取得-

ステップ1で作成した署名リクエスト (CSR) を利用して認証局から証明書を取得します。

[認証局からの証明書取得](#)

ステップ3-証明書インストール-

選択ドメインに対してステップ2で取得した証明書をインストールします。

[証明書インストール](#)

証明書会社から中間CA証明書の提供がある場合は下記の「中間CA証明書のインストール」が必要です。

✓既存証明書のインストール

8. ウェブサーバー

- ② インストールするドメインを選択し、「新しい証明書インストール」欄の「ステップ 1 署名リクエスト (CSR) 生成」ボタンをクリックします。

SSL/TLS証明書の設定

SSL/TLSサーバー証明書のインストールおよび削除が行えます。
本サービスでサポートしているSSL/TLS証明書の詳細については、[こちら](#)のホームページをご覧ください。

未設定の初期状態ではデフォルトの証明書が全てのドメインに対して有効となっています。
誤った情報を設定した場合、証明書が正常にご利用頂けなくなる可能性があります。

ドメイン選択

example.co.jp

サーバー上のSSL/TLS証明書

証明書タイプ	有効期限	ステータス	操作
デフォルト	設定なし	有効	

SSL/TLS証明書のステータス

有効 : インストールされた証明書が有効である状態
無効 : インストールされた証明書が無効である状態
未完了 : 署名リクエスト(CSR)を生成済みで証明書のインストールが未完了である状態

✓ **新しい証明書のインストール (証明書の更新含む)**

新しい証明書のインストール、または証明書の更新を行う場合は以下の手順に沿ってインストールを行ってください。

ステップ 1 -署名リクエスト (CSR) 生成-

選択ドメインに対して証明書を発行するための署名リクエスト (CSR) を生成します。

署名リクエスト (CSR) 生成

ステップ 2 -証明書取得-

ステップ 1 で作成した署名リクエスト (CSR) を利用して認証局から証明書を取得します。

認証局からの証明書取得

ステップ 3 -証明書インストール-

選択ドメインに対してステップ 2 で取得した証明書をインストールします。

証明書インストール

証明書会社から中間CA証明書の指定がある場合は下記の「**中間CA証明書のインストール**」が必要です。

- ① 各項目を入力した後、「次へ」ボタンをクリックします。

8. ウェブサーバー

管理者設定 / ウェブサーバー / SSL/TLS証明書 / 署名リクエスト

署名リクエスト (CSR) 生成

署名リクエスト (CSR) を生成します。※全てのCSRは2048ビットで作成されます。
CSRの生成に必要な情報を以下の入力フォームに正確に入力してください。

半角英数字または記号「-,+/()」で入力してください。

国	日本
都道府県	例 Tokyo
市区町村	例 Chiyoda
会社名	例 Example Corporation
部門名	例 Marketing Division
ドメイン名	shesen1.vps-ntt.com

次へ キャンセル



注意

- ・半角英数字及び一部の記号「-,+/()」以外はご利用いただけません。
- ・日本語は使えません。

④ 下記が表示され、作成済み CSR は、管理者のメールアドレスに送付されます。また[送信先メールアドレス]に任意のメールアドレスを入力し[CSR の内容を電子メールで送信する]ボタンをクリックすると管理者以外のメールアドレスにも CSR 情報を送付する事が出来ます。

管理者設定 / ウェブサーバー / SSL/TLS証明書 / 署名リクエスト

CSRの生成が完了しました。
CSRが電子メールにて送信されました。

送信先メールアドレス	
	CSRの内容を電子メールで送信する

② ページ下部の[CSR 生成を終了]をクリックします。CSR の作成は完了です。

CSR生成を終了

8. ウェブサーバー



アドバイス

・作成されたCSRのうち、デジタル証明書の手配に必要な部分は
「-----BEGIN CERTIFICATE REQUEST-----」(この行自身を含む)
から
「-----END CERTIFICATE REQUEST-----」(この行自身を含む)
までです。

CSRの例は次ページを参照ください。

証明書の手配に必要な CSRの要件については、各証明書会社にご確認ください。

・ Subject Alternative Name(SAN・SANs)を利用する際は、プルダウンメニューから対象のドメインを選択します。(例)example.co.jpとwww.example.co.jpの両方で利用する場合は、www.example.jpを選択します。

■作成された CSR

```
Certificate Request:  
Data:  
Version:0(0x0)  
Subject:C=JP、ST=Tokyo、L=Minato-Ku、O=Verio APAC、  
CN=example.co.jp、OU=Internet Section  
Subject Public Key Info:  
Public Key Algorithm:rsaEncryption  
RSA Public Key:(2048 bit)  
Modulus(2048 bit) :  
00:a9.91.82.07.22:c6:d3.8e:f7.38.99.e9.2e:bf.  
7f96.c7:c2.7a.5b.81.31.eb.66.a8.c7.6e.b9.91:  
c4.39.68.34.01.3c.5f.26.71.28.87:ae.3d.3b.bd:  
XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:  
XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:  
XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:  
XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:  
XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:  
XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:  
XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:  
XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:  
XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:  
XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:  
XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:  
15.25.09.63.a4.afa0.7e.52.87.6e.75.02.22.9a:  
4d.f0.13.46.47.d2.a2:e5.81.0f.9e.ff.c3.c1.57:  
39.8f  
Exponent:65537(0x10001)  
Attributes:  
a0.00  
Algorithm:md5WithRSAPublicKeyEncryption  
a7.0d.8f.3a.97.ef.45.e8.a2.ef.6f.79.7d.a2:c6.73.eb.10:  
d1.41.7b.25.a8.77.50.2c.b3.88.8c.42:b2.cc.c9.6e.05.50:  
36.97.03.9b.78.bb.a7.ce.66.a4.2e.c1.2e.ad.0fa.7.31.b5:  
15.2a.45.21.bd.9b.a3.df.cd.6e.a9.27.b0.a4.a1.1b.bd.5d:  
XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:  
XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:  
XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:  
XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:  
XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:  
XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:  
XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:  
da:1a:b8.6d.d7.33.37.be.b0.5f.d8.cb.59.e5.4b.eb.2a.df:  
72.d4.7f.91.e6.ac.8c.e6.5b.46.45.67.ef.89.68.b1.87.11:  
65.da.49.c1.d0.61.88.31.b3.aa.0c.b7.aa.1f.da.8e.34.9a:  
ae.83.da.11
```

デジタル証明書の手配に必要な部分

```
-----BEGIN CERTIFICATE REQUEST-----  
MIICzJCCABYCAQAwgYgxCzAJBgNVBAYTAkpmMQ4wDAYDVQQIEWVUbu2t5bzESMBAG  
A1UEBXMJTWluYXRvLUt1MRMwEQYDVoKKEwpWZlXJpbYBBUEFDMSUwIiwYDVQDEo2  
anRlc3QwMDIudGltGRvbWFpbm5hbWUyY29tMRkwFwyDVQQLZXJBbnRlcms1bCBT  
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX  
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX  
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX  
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX  
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX  
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX  
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX  
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX  
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX  
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX  
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX  
YGtfjwpmqMhkfqj9t2fm4P+MUgKmNc3/Y8AF+sviPDflEgpqcI49oaUG3XMze+  
sF/Yy1nlS+sq33LUfHmrHzmW0ZFZ++JaLGHEWxaScHQYYgxS6oMt6of2o4mq6D  
2he=  
-----END CERTIFICATE REQUEST-----
```

8. ウェブサーバー

「(1) CSR の生成」で作成した CSR を元に、証明書会社から、デジタル証明書を購入します。証明書会社によっては、デジタル証明書のことを「サーバー証明書」と呼ぶことがあります。



本サービスで対応している証明書のご案内が表示されます。

認証局からの証明書取得

本サービスでは以下のSSL/TLS証明書(サーバーID)をご利用いただけます。

デジサート・ジャパン合同会社(<https://www.jp.websecurity.symantec.com>)
セキュア・サーバID/セキュア・サーバID EV/グローバル・サーバID

デジサート・ジャパン・セキュリティ合同会社(<https://www.geotrust.co.jp>)
クイックSSLプレミアム

GMOグローバルサイン株式会社(<http://ocngs.globalsign.com>)
クイック認証SSL/企業認証SSL

本サービスでサポートしているSSL/TLS証明書の詳細については、[こちら](#)のホームページをご覧ください。

■ご優待価格について
GMOグローバルサイン株式会社のSSL証明書をご購入の場合、本サービスをご利用のお客さま専用ホームページ(<http://ocngs.globalsign.com/>)からご優待価格(10%割引)にてお申込をいただけます。お申し込み時に、以下のお客さま専用キャンペーンコードを、キャンペーンコード欄に必ずご入力ください。
【キャンペーンコード】CA4UTDP5A7ECBW92

認証局から購入したデジタル証明書の例を次に示します。

8. ウェブサーバー

◆サーバー証明書

[オーダーID] CE200911225659
[コモンネーム] www.example.com

デジタル証明書の手配に必要な部分

[illegible]

アドバイス

デジタル証明書のインストールに必要な部分は

「-----BEGIN CERTIFICATE -----」(この行自身を含む)

から

「-----END CERTIFICATE -----」(この行自身を含む)

までです。

入手した証明書に該当する記述が見あたらない場合には、手配先の証明書会社にご確認ください。

8. ウェブサーバー

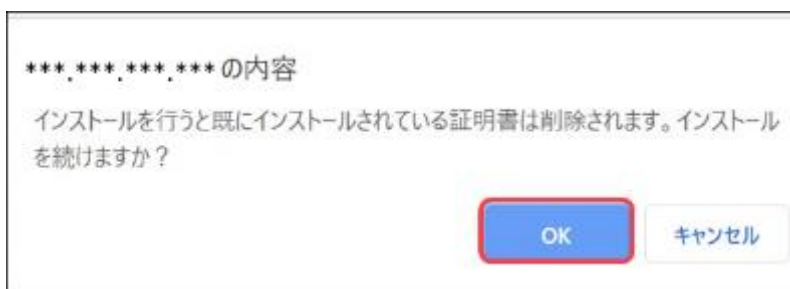
(3) デジタル証明書のインストール

「(2) デジタル証明書の購入」で入手したデジタル証明書を、本サーバーにインストールする手順について説明します。

- ① [管理者設定]メニューから「ウェブサーバー」内にある「SSL/TLS 証明書」を開きます。
- ② [ステップ 3 証明書インストール] ボタンをクリックします。



- ③ 確認メッセージが表示されますので、[OK] ボタンをクリックします



・ 注意

インストールを行うと、既にインストールされている証明書が削除するため十分に注意してください。

8. ウェブサーバー

- ④ デジタル証明書の内容を「SSL/TLS 証明書」欄にテキストで入力、または「SSL/TLS 証明書の参照」で、デジタル証明書のファイルを選択し、[証明書のインストール] ボタンをクリックします。

The screenshot shows a web interface for installing an SSL/TLS certificate. At the top, there's a breadcrumb trail: 管理者設定 / ウェブサーバー / SSL/TLS証明書. Below it, a section titled '✓ SSL/TLS証明書のインストール' contains instructions: 'certファイルをインストールします。SSL/TLS証明書の内容を以下の「SSL/TLS証明書」の入力欄に貼り付けるか、またはファイルから選択してください。SSL/TLS証明書をインストールすると、古いSSL/TLS証明書が書き換えられます。' Below the instructions is a table with two columns. The first column is 'ドメイン名' with the value 'example.co.jp'. The second column is 'SSL/TLS証明書 (テキスト)' with a large text area containing the instruction 'SSL/TLS証明書の内容を貼り付けてください'. Below the table, there's a section 'SSL/TLS証明書の参照' with a button 'ファイルを選択' and the text '選択されていません'. At the bottom, there are two buttons: '証明書のインストール' and 'キャンセル'.

ドメイン名	example.co.jp
SSL/TLS証明書 (テキスト)	SSL/TLS証明書の内容を貼り付けてください

SSL/TLS証明書の参照

ファイルを選択 選択されていません

証明書のインストール キャンセル

● アドバイス

- ・送られてきた証明書にて「◆証明書◆中間証明書◆証明書+中間証明書（PKCS7 形式）」の3つが存在する場合、「証明書」のみインストール時に利用します。
- ・拡張子が「.cert」や「.cer」となっているものがサーバー証明書となります。
- ・サーバー証明書はテキストエディタを利用することにより内容を確認することができます。

- ⑤ 「SSL/TLS 証明書のインストールが完了しました。」とメッセージが表示されれば作業は完了です。「ステータス」の状態が「有効」となっている事を確認ください。

8. ウェブサーバー

管理者設定 / ウェブサーバー / SSL/TLS証明書

SSL/TLS証明書のインストールが完了しました。

SSL/TLS証明書の設定

SSL/TLSサーバー証明書のインストールおよび削除が行えます。
本サービスでサポートしているSSL/TLS証明書の詳細については、[こちら](#)のホームページをご覧ください。

未設定の初期状態ではデフォルトの証明書が全てのドメインに対して有効となっています。
誤った情報を設定した場合、証明書が正常にご利用いただけなくなる可能性があります。

サーバー上のSSL/TLS証明書

証明書タイプ	有効期限	ステータス	操作
デフォルト	設定なし	無効	
ユーザー設定	Jul 1 03:13:38 2018 GMT	有効	無効化 SSL/TLS証明書の詳細

SSL/TLS証明書のステータス

有効

：インストールされた証明書が有効である状態

無効

：インストールされた証明書が無効である状態

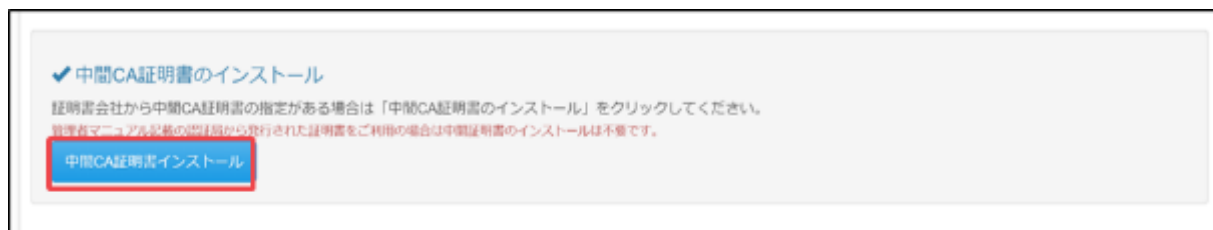
未完了

：署名リクエスト(CSR)を生成済みで証明書のインストールが未完了である状態

8. ウェブサーバー

(4) 中間 CA 証明書のインストール

① [管理者設定]の「ウェブサーバー」より、「SSL/TLS 証明書」の画面を開き、[中間 CA 証明書のインストール] ボタンをクリックします。



② 中間 CA 証明書を「中間 CA 証明書の入力」欄に貼り付けます。

もしくは、「中間 CA 証明書の参照」で、中間 CA 証明書のファイルを選択し、登録することもできます。 中間 CA 証明書を入力・選択したら、[中間 CA 証明書のインストール] ボタンをクリックします。



③ 「中間 CA 証明書のインストールが完了しました。」とメッセージが表示されれば作業は完了です。



8.2.4. SSL/TLS 証明書の更新

SSL/TLS 証明書には、有効期限（1 年～） が設定されています。継続してご利用される場合は、更新のお手続き、および更新費用が必要となります。また、更新を行う際は、再度 CSR の取得、サーバー証明書のインストールを行っていただく必要があります。デジタル証明書の更新を行う場合の流れは次の通りです。

1. CSR の生成
2. CSR をもとに、SSL/TLS 証明書の購入
3. SSL/TLS 証明書のインストール

8. ウェブサーバー

(1) CSR の生成

① [管理者設定]の「ウェブサーバー」より、[SSL/TLS 証明書] をクリックします。

管理者設定 / ウェブサーバー / SSL/TLS証明書

SSL/TLS証明書の設定

SSL/TLSサーバー証明書のインストールおよび初めが行えます。
本サービスでサポートしているSSL/TLS証明書の詳細については、[こちら](#)のホームページをご覧ください。
未設定の初期状態ではデフォルトの証明書が全てのドメインに対して有効となっています。
誤った情報を設定した場合、証明書が正常にご利用いただけなくなる可能性があります。

ドメイン選択

ドメインを選択してください

サーバー上のSSL/TLS証明書

証明書タイプ	有効期限	ステータス	操作
デフォルト	設定なし	有効	

SSL/TLS証明書のステータス

- 有効** : インストールされた証明書が有効である状態
- 無効** : インストールされた証明書が無効である状態
- 未完了** : 署名リクエスト(CSR)を生成済みで証明書のインストールが未完了である状態

✓新しい証明書のインストール (証明書の更新含む)

新しい証明書のインストール、または証明書の更新を行う場合は以下の手順に沿ってインストールを行ってください。

ステップ1-署名リクエスト (CSR) 生成-

選択ドメインに対して証明書を発行するための署名リクエスト (CSR) を生成します。

[署名リクエスト \(CSR\) 生成](#)

ステップ2-証明書取得-

ステップ1で作成した署名リクエスト (CSR) を利用して認証局から証明書を取得します。

[認証局からの証明書取得](#)

ステップ3-証明書インストール-

選択ドメインに対してステップ2で取得した証明書をインストールします。

[証明書インストール](#)

証明書会社から申請CA証明書の指定がある場合は下記の「申請CA証明書のインストール」が必要です。

✓既存証明書のインストール

8. ウェブサーバー

- ② インストールするドメインを選択し、「新しい証明書インストール」欄の「ステップ 1 署名リクエスト (CSR) 生成」ボタンをクリックします。

SSL/TLS証明書の設定

SSL/TLSサーバー証明書のインストールおよび削除が行えます。
本サービスでサポートしているSSL/TLS証明書の詳細については、[こちら](#)のホームページをご覧ください。

未設定の初期状態ではデフォルトの証明書が全てのドメインに対して有効となっています。
誤った情報を設定した場合、証明書が正常にご利用頂けなくなる可能性があります。

ドメイン選択

example.co.jp ▼

サーバー上のSSL/TLS証明書

証明書タイプ	有効期限	ステータス	操作
デフォルト	設定なし	有効	

SSL/TLS証明書のステータス

有効 : インストールされた証明書が有効である状態
無効 : インストールされた証明書が無効である状態
未完了 : 署名リクエスト(CSR)を生成済みで証明書のインストールが未完了である状態

✓ **新しい証明書のインストール (証明書の更新含む)**

新しい証明書のインストール、または証明書の更新を行う場合は以下の手順に沿ってインストールを行ってください。

ステップ 1 -署名リクエスト (CSR) 生成-

選択ドメインに対して証明書を発行するための署名リクエスト (CSR) を生成します。

署名リクエスト (CSR) 生成

ステップ 2 -証明書取得-

ステップ 1 で作成した署名リクエスト (CSR) を利用して認証局から証明書を取得します。

認証局からの証明書取得

ステップ 3 -証明書インストール-

選択ドメインに対してステップ 2 で取得した証明書をインストールします。

証明書インストール

証明書会社から中間CA証明書の指定がある場合は下記の「**中間CA証明書のインストール**」が必要です。

・ 注意

すでに CSR が生成済みで、再度[CSR の生成]ボタンをクリックすると、以下のようなダイアログが表示されます。その場合、新しい CSR の生成を行いますので、[OK]ボタンをクリックしてください。これにより、古い CSR は破棄されます。

8. ウェブサーバー

③ 各項目を入力した後、[次へ] ボタンをクリックします。

管理者設定 / ウェブサーバー / SSL/TLS証明書 / 署名リクエスト

署名リクエスト (CSR) 生成

署名リクエスト (CSR) を生成します。※全てのCSRは2048ビットで作成されます。
CSRの生成に必要な情報を以下の入力フォームに正確に入力してください。

半角英数字または記号「-, ., + / ()」で入力してください。

国	日本
都道府県	例 Tokyo
市区町村	例 Chiyoda
会社名	例 Example Corporation
部門名	例 Marketing Division
ドメイン名	shesen1.vps-ntt.com

次へ キャンセル

• 注意

- ・半角英数字および一部の記号「-, ., + / ()」以外のご利用いただけません。
- ・日本語はご利用いただけません。

8. ウェブサーバー

④ 下記が表示され、作成済み CSR は、管理者のメールアドレスに送付されます。また[送信先メールアドレス]に任意のメールアドレスを入力し[CSR の内容を電子メールで送信する]ボタンをクリックすると管理者以外のメールアドレスにも CSR 情報を送付する事が出来ます。



管理者設定 / ウェブサーバー / SSL/TLS証明書 / 署名リクエスト

CSRの生成が完了しました。
CSRが電子メールにて送信されました。



送信先メールアドレス

CSRの内容を電子メールで送信する

③ ページ下部の[CSR 生成を終了]をクリックします。CSR の作成は完了です。



CSR生成を終了

・ 注意

作成された CSR のうち、デジタル証明書の手配に必要な部分は

「-----BEGIN CERTIFICATE REQUEST-----」（この行自信を含む）から
「-----END CERTIFICATE REQUEST-----」（この行自信を含む）までです。

CR

「-----BEGIN CERTIFICATE REQUEST-----」（この行自信を含む）から
CSR の例は次のページをご参照ください。

証明書の手配に必要な CSR の要件については、各証明書会社にご確認ください。

8. ウェブサーバー

(2) 認証局からの証明書取得

「7.2.3 SSL/TLS 証明書のインストール」の「(2) 認証局からの証明書取得」を参考にデジタル証明書の購入を行ってください。

(3) デジタル証明書のインストール

① 「(2) デジタル証明書の購入」で入手したデジタル証明書を、本サーバーにインストールします。
[管理者設定]の「ウェブサーバー」より「SSL/TLS 証明書」の画面を開き、[ステップ 3 証明書インストール] ボタンをクリックします。



④ 「7.2.3 SSL/TLS 証明書インストール」の「(3) デジタル証明書のインストール」を参考に、インストール作業を完了させてください。

8. ウェブサーバー

8.3. サイトアクセス制限

8.3.1. アクセス制限の概要

本サービスでは、お客様コンテンツのウェブページにアクセス制限をかけて、パスワードによるユーザー認証をご利用いただけます。

ユーザー認証を行うことで、会員専用のホームページなどを作成することができます。

アクセス制限を設定可能な領域は、htdocs 及び htdocs 以下の各サブディレクトリです。

8.3.1. アクセス制限の設定

1. [管理者設定]より、[ウェブサーバー]をクリック後、[サイトアクセス制限]をクリックします。

The screenshot shows a web management interface with a sidebar on the left and a main content area on the right. The sidebar contains a list of management settings, with 'サイトアクセス制限' (Site Access Restriction) highlighted in blue and enclosed in a red rectangle. The main content area is titled '管理者設定 / ウェブサーバー / サイトアクセス制限'. It features a section for 'サイトアクセス制限' (Site Access Restriction) with a description and a 'ディレクトリ選択' (Directory Selection) dropdown menu showing 'users/example.co.jp_admin/www/example.co.jp'. Below this is a section for 'ユーザー認証' (User Authentication) with a description, two buttons ('ユーザー作成' and '二要素認証有効化'), and a table with columns 'ユーザーID', 'ステータス', and '操作'. The table is currently empty, showing a message 'ー現在、表示するレコードはありませんー'. At the bottom, there is a section for 'IPアドレス制限' (IP Address Restriction) with a description.

管理者設定 / ウェブサーバー / サイトアクセス制限

サイトアクセス制限

任意のディレクトリとその配下にある全てのコンテンツに対してウェブアクセスを制限できます。
ユーザー認証とIPアドレスによる制限が利用可能です。

ディレクトリ選択

users/example.co.jp_admin/www/example.co.jp

ユーザー認証

ウェブサイトにアクセスできるユーザー認証を設定できます。
二要素認証を利用する場合は各ユーザーに「二要素認証の設定」で表示される初期設定キー情報を通知し、ユーザー毎にクライアントアプリの設定を実施してください。
認証に利用するユーザーはサーバーのユーザーとは別に作成する必要があります。
二要素認証有効時は、ログイン時にパスワードに続けてワンタイムパスワード（半角数字9ケタ）の入力が必須です。

ユーザー作成 二要素認証有効化

表示 5 / ページ 0 - 0 件目を表示 全数: 0

ユーザーID	ステータス	操作
ー現在、表示するレコードはありませんー		

ー前へ 次へー

IPアドレス制限

連続IPアドレスによるサイトアクセスの回数を設定できます。

8. ウェブサーバー

2. 「ディレクトリの選択」 プルダウンより、アクセス制限をかけるディレクトリを選択し、[ユーザーの作成]をクリックします。

管理者設定 / ウェブサーバー / サイトアクセス制限

🔒 サイトアクセス制限

任意のディレクトリとその配下にある全てのコンテンツに対してウェブアクセスを制限できます。
ユーザー認証とIPアドレスによる制限が利用可能です。

ディレクトリ選択

users/example.co.jp_admin/www/example.co.jp ▼

👤 ユーザー認証

ウェブサイトアクセスできるユーザー認証を設定できます。
二要素認証を利用する場合は各ユーザーに「二要素認証の設定」で表示される初期設定キー情報を通知し、ユーザー毎にクライアントアプリの設定を実施してください。
認証に利用するユーザーはサーバーのユーザーとは別に作成する必要があります。
二要素認証有効時は、ログイン時にパスワードに続けてワンタイムパスワード（半角数字6ケタ）の入力が必要です。

ユーザー作成

二要素認証有効化

表示

5 ▼

 / ページ

0 - 0 件目を表示

 全数: 0

<input type="checkbox"/>	ユーザーID	ステータス	操作
-- 現在、表示するレコードはありません --			

← 前へ

次へ →

• 注意

ディレクトリ名やファイル名に利用できない文字種（日本語等）を利用していた場合、プルダウンに目的のディレクトリ名等が表示されなくなります。

126

8. ウェブサーバー

3. ユーザーID とパスワードを入力し、[保存]をクリックします。

管理者設定 / ウェブサーバー / サイトアクセス制限 / ユーザーの作成

ユーザーの作成

選択したディレクトリへのアクセス認証用ユーザーを作成します。
設定するユーザーはサーバーのユーザーとは別に作成する必要があります。

ディレクトリ
users/example.co.jp_admin/www/example.co.jp

ユーザーID
半角英小文字(a～z)、半角英大文字(A～Z)、半角数字(0～9)、半角記号(-_)を利用可能

ユーザーIDを入力

パスワード
半角英小文字(a～z)、半角英大文字(A～Z)、半角数字(0～9)、半角記号 (@ # \$ % ^ * () _ + = & -) のそれぞれ最低1文字を含めた8文字以上

パスワードを入力

パスワードを入力 (確認用)

保存 キャンセル

• 注意

パスワードで利用可能な文字種や記号は以下の通りです。

- ・パスワードは8～32文字の長さが必要です。
- ・英大文字、英小文字、数字、記号をそれぞれ1文字以上含む必要があります。
- ・パスワードに利用可能な記号は次の通りです。

@ # \$ % ^ * () _ + = - &

8. ウェブサーバー

4. 「<ユーザーID>が現在のディレクトリに作成されました」とメッセージが表示され、「ユーザーID」欄に作成したユーザーIDが表示されていれば完了です。

管理者設定 / ウェブサーバー / サイトアクセス制限

basic_ninshouが現在のディレクトリに作成されました

サイトアクセス制限

任意のディレクトリとその配下にある全てのコンテンツに対してウェブアクセスを制限できます。
ユーザー認証とIPアドレスによる制限が利用可能です。

ディレクトリ選択

users/example.co.jp_admin/www/example.co.jp

ユーザー認証

ウェブサイトにアクセスできるユーザー認証を設定できます。
二要素認証を利用する場合は各ユーザーに「二要素認証の設定」で表示される初期設定キー情報を通知し、ユーザー毎にクライアントアプリの設定を実施してください。
認証に利用するユーザーはサーバーのユーザーとは別に作成する必要があります。
二要素認証有効時は、ログイン時にパスワードに続けてワンタイムパスワード（半角数字6ケタ）の入力が必要です。

ユーザー作成 二要素認証有効化

表示 5 / ページ 1 - 1 件目を表示 全数: 1

ユーザーID	ステータス	操作
basic_ninshou	利用中	停止 削除

5. ウェブブラウザで該当ディレクトリの URL にアクセスして、認証画面が表示されますので、正常にログイン出来ることをご確認ください。

ログイン

http://example.co.jp

このサイトへの接続ではプライバシーが保護されません

ユーザー名

パスワード

ログイン キャンセル

8. ウェブサーバー

8.3.2. アクセス制限の解除

アクセス制限を解除する手順をご説明します。

1. [管理者設定]の[ウェブサーバー]から[サイトアクセス制限]画面を開き、「ディレクトリの選択」プルダウンよりアクセス制限を解除したいディレクトリを選択します。



2. 「ユーザーID」欄に現在設定されているアクセス制限が表示されますので、状態にて[有効]となっている該当のユーザーIDを選択し、[無効]または[削除]をクリックします。



状態	概要
無効	該当ユーザーIDでのアクセスを停止します。 必要な際には再度有効化して利用することができます。
削除	該当ユーザーIDが削除されます。

・ 注意

アクセス制御を完全に解除するには、ディレクトリに対して作成したユーザーIDを全て削除します。ユーザーを無効にするだけでは、認証画面が表示され、アクセス制御は解除されません。

8. ウェブサーバー

8.3.3. 二要素認証によるウェブアクセス設定をする

① [管理者設定]の[ウェブサーバー]から[サイトアクセス制限]画面を開き、「ディレクトリの選択」プルダウンよりアクセス制限を行うディレクトリを選択し、[二要素認証設定を有効化する]をクリックします。



② 「3.3.1 アクセス制限の設定」にて予め設定したユーザーの項目に [二要素認証の設定]が追加されます。[二要素認証の設定]をクリックします。



8. ウェブサーバー

- ③ 通知先のメールアドレスを入力し、[指定したメールアドレスに案内を送信]をクリックします。

管理者設定 / ウェブサーバー / サイトアクセス制限 / 二要素認証の設定

二要素認証の設定

二要素認証設定キー情報です。初期設定キーは対象ディレクトリとログインユーザーの組み合わせ毎に異なります。

対象ディレクトリ	users/example.co.jp_admin/www/example.co.jp
ログインユーザーID	basic_ninshou
初期設定キー	<div>XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX</div> 

上記の初期設定キー情報をユーザーにメールで送付できます。

メールアドレス

指定したメールアドレスに案内を送信

戻る

- ④ 「指定されたアドレスへメールを送信しました。」と表示されます。

管理者設定 / ウェブサーバー / サイトアクセス制限 / 二要素認証の設定

指定されたアドレスへメールを送信しました。

二要素認証の設定

二要素認証設定キー情報です。初期設定キーは対象ディレクトリとログインユーザーの組み合わせ毎に異なります。

対象ディレクトリ	users/example.co.jp_admin/www/example.co.jp
ログインユーザーID	basic_ninshou
初期設定キー	<div>XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX</div> 

● アドバイス

8. ウェブサーバー

メールによる通知を推奨しますが、口頭やメモ等での通知でも問題はありません。

- ⑤ 利用者の方に、クライアントアプリのインストールと設定を行っていただきます。クライアントアプリのインストールについては「二要素認証設定マニュアル」をご参照ください。
- ⑥ 二要素認証を設定したウェブサイトへ、正常にアクセスが可能か、確認します。ブラウザでアクセスすると、ID とパスワードを表示する画面が表示されますので、下記の ID、パスワード条件を入力し、[OK]をクリックします。

ログイン

http://example.co.jp

このサイトへの接続ではプライバシーが保護されません

ユーザー名

basic_ninshou

パスワード

.....

ログイン

キャンセル

入力項目	入力値
ユーザー名	ユーザーID
パスワード	パスワード + ワンタイムパスワード 6 桁 例) パスワードが[ウェブ&Password]、ワンタイムパスワード[999999]の場合 [ウェブ&Password999999]を入力

8. ウェブサーバー

8.3.4. IP アドレス制限の追加

① [管理者設定]の「ウェブサーバー」より、[サイトアクセス制限]をクリックし、「ディレクトリ選択」プルダウンより、アクセス制限をかけるディレクトリを選択します。

管理者設定 / ウェブサーバー / サイトアクセス制限

サイトアクセス制限

任意のディレクトリとその配下にある全てのコンテンツに対してウェブアクセスを制限できます。
ユーザー認証とIPアドレスによる制限が利用可能です。

ディレクトリ選択

users/example.co.jp_admin/www/example.co.jp

ユーザー認証

ウェブサイトにアクセスできるユーザー認証を設定できます。
二要素認証を利用する場合は各ユーザーに「二要素認証の設定」で表示される初期設定キー情報を通知し、ユーザー毎にクライアントアプリの設定を実施してください。
認証に利用するユーザーはサーバーのユーザーとは別に作成する必要があります。
二要素認証有効時は、ログイン時にパスワードに続けてワンタイムパスワード（半角数字6ケタ）の入力が必要です。

ユーザー作成 二要素認証有効化

表示 5 / ページ 0 - 0 件目を表示 全数: 0

ユーザーID	ステータス	操作
～現在、表示するレコードはありません～		

← 前へ 次へ →

IPアドレス制限

接続元IPアドレスによるサイトアクセスの可否を設定できます。

② 「IP アドレス制限」欄の [IP アドレス追加] をクリックします。

IPアドレス制限

接続元IPアドレスによるサイトアクセスの可否を設定できます。

IPアドレス追加

以下のIPアドレスからのアクセスを拒否する設定になっています。

表示 10 / ページ 0 - 0 件目を表示 全数: 0

IPアドレス	ステータス	操作
～現在、表示するレコードはありません～		

← 前へ 次へ →

8. ウェブサーバー

- ④ 確認メッセージが表示されますので、[OK] ボタンをクリックします。



- ⑤ 「IP 制限の追加が完了しました。」というメッセージが表示されましたら完了です。



8. ウェブサーバー

8.3.5. IP アドレス制限の削除・停止・再開

① [管理者設定]の「ウェブサーバー」より、[サイトアクセス制限]をクリックし、「ディレクトリ選択」プルダウンより、アクセス制限を処理するディレクトリを選択します。

管理者設定 / ウェブサーバー / サイトアクセス制限

サイトアクセス制限

任意のディレクトリとその配下にある全てのコンテンツに対してウェブアクセスを制限できます。
ユーザー認証とIPアドレスによる制限が利用可能です。

ディレクトリ選択

users/example.co.jp_admin/www/example.co.jp

ユーザー認証

ウェブサイトにアクセスできるユーザー認証を設定できます。
二要素認証を利用する場合は各ユーザーに「二要素認証の設定」で表示される初期設定キー情報を通知し、ユーザー毎にクライアントアプリの設定を実施してください。
認証に利用するユーザーはサーバーのユーザーとは別に作成する必要があります。
二要素認証有効時は、ログイン時にパスワードに続けてワンタイムパスワード（半角数字6ケタ）の入力が必要です。

ユーザー作成 二要素認証有効化

表示 5 / ページ 0 - 0 件目を表示 全数: 0

ユーザーID	ステータス	操作
ー現在、表示するレコードはありませんー		

← 前へ 次へ →

IPアドレス制限

特定のIPアドレスによるサイトアクセスの制限を設定できます。

8. ウェブサーバー

② 「IP アドレス制限」欄の「操作」より処理を行ってください。

※「削除」を例としてご案内いたします。

③ 確認メッセージが表示されますので [OK] ボタンをクリックします。

④ 削除完了のメッセージが表示され、一覧から該当の IP アドレスが削除されましたら完了です。

項目	内容
削除	設定された IP アドレスを削除します。
停止	設定された IP アドレスの処理を停止します。
再開	設定された IP アドレスの処理を再開します。

8.4. サイト編集権限

サイト編集権限はサーバー管理者またはドメイン管理者以外のユーザーがウェブコンテンツを公開可能にすることができる機能です。

権限が与えられたユーザーのディレクトリ内に生成される専用のディレクトリに、ファイルマネージャまたは FTP などを使用してファイルをアップロードすることでウェブコンテンツの公開が可能となります。

権限を付与されたユーザーディレクトリ内において「www/htdocs」以下に権限付与時に設定した[サイト編集権限名]と同名のディレクトリが作成されます。

ディレクトリ内に保存されたコンテンツは「http://お客様ドメイン/[サイト編集権限名]」で確認することができます。

8. ウェブサーバー

8.4.1. サイト編集権限の作成

新規サイト編集権限の作成手順をご説明します。

- ① [管理者設定]の「ウェブサーバー」より、[サイト編集制限]をクリックします。

管理者設定 / ウェブサーバー / サイト編集権限

サイト編集権限

任意のユーザーのウェブディレクトリ（ユーザーホーム/wwww/htdocs）内のコンテンツを、所属ドメインのウェブサイト上に公開することが出来ます。

編集権限設定

サイト編集権限を利用するにはドメインに所属する一般ユーザーを作成してください。

表示 10 / ページ 0 - 0 件目を表示 全数: 0 絞り込み検索

URL	ユーザーID	操作
-- 現在、表示するレコードはありません --		

← 前へ 次へ →

- ② 権限を付与したいユーザーを、「権限付与ユーザー」のプルダウンから選択し、[新規作成] ボタンをクリックします。

サイト編集権限

任意のユーザーのウェブディレクトリ（ユーザーホーム/wwww/htdocs）内のコンテンツを、所属ドメインのウェブサイト上に公開することが出来ます。

編集権限設定

ユーザーを選択: example (example.co.) ▼

表示 10 / ページ 0 - 0 件目を表示 全数: 0 絞り込み検索

URL	ユーザーID	操作
-- 現在、表示するレコードはありません --		

8. ウェブサーバー

- ③ 権限作成の画面が表示されましたら「URL」欄へ公開用ディレクトリ名を入力し「保存」ボタンをクリックします。※64文字まで入力出来ます。

管理者設定 / ウェブサーバー / サイト編集権限 / 新規作成

 権限作成

対象ユーザーのウェブサイト公開用URLを設定します。
所属するドメインに続けてウェブサイト公開用のURLを入力してください。
設定が完了すると対象ユーザーのウェブディレクトリ内に入力した文字列の名前のウェブサイト公開用ディレクトリが作成されます。

対象ユーザーID
example

URL

- ⑤ 「ウェブサイト編集権限を追加しました。」というメッセージが表示されましたら、完了です。

管理者設定 / ウェブサーバー / サイト編集権限

ウェブサイト編集権限 webalias を追加しました。

 サイト編集権限

任意のユーザーのウェブディレクトリ（ユーザーホーム/www/htdocs）内のコンテンツを、所属ドメインのウェブサイト上に公開することが出来ます。

編集権限設定

ユーザーを選択：

表示 / ページ 1 - 1 件目を表示 全数: 1

<input type="checkbox"/>	URL	ユーザーID	操作
<input type="checkbox"/>	http://example.co.jp/webalias	example	<input type="button" value="× 削除"/>

8. ウェブサーバー

8.4.2. サイト編集権限の確認

① [管理者設定]の「ウェブサーバー」より、[サイト編集制限]をクリックすると、登録されているサイト編集権限の一覧が表示されます。

管理者設定 / ウェブサーバー / サイト編集権限

 **サイト編集権限**

任意のユーザーのウェブディレクトリ（ユーザーホーム/www/htdocs）内のコンテンツを、所属ドメインのウェブサイト上に公開することが出来ます。

編集権限設定

ユーザーを選択:

表示 / ページ 1 - 1 件目を表示 全数: 1

<input type="checkbox"/>	URL	ユーザーID	操作
<input type="checkbox"/>	http://example.co.jp/webalias	example	<input type="button" value="✕ 削除"/>

8.4.3. サイト編集権限の削除

① [管理者設定]の「ウェブサーバー」より、[サイト編集制限]をクリックします。

管理者設定

ドメイン

ユーザー

メールサーバー

ウェブサーバー

SSL/TLS証明書

サイトアクセス制限

サイト編集権限

サイトバックアップ

ウェブサイト分析

アプリケーション

システム

管理者サポート

管理者設定 / ウェブサーバー / サイト編集権限

 **サイト編集権限**

任意のユーザーのウェブディレクトリ（ユーザーホーム/www/htdocs）内のコンテンツを、所属ドメインのウェブサイト上に公開することが出来ます。

編集権限設定

サイト編集権限を利用するにはドメインに所属する一般ユーザーを作成してください。

表示 / ページ 0 - 0 件目を表示 全数: 0

<input type="checkbox"/>	URL	ユーザーID	操作
-- 現在、表示するレコードはありません --			

8. ウェブサーバー

② 一覧が表示されましたら、削除したい権限付与ユーザーの「削除」ボタンをクリックします。

※チェックを入れて「一括削除」ボタンでも削除は可能です。

管理者設定 / ウェブサーバー / サイト編集権限

👤 サイト編集権限

任意のユーザーのウェブディレクトリ（ユーザーホーム/wwww/htdocs）内のコンテンツを、所属ドメインのウェブサイト上に公開することが出来ます。

編集権限設定

ユーザーを選択：

表示 / ページ 1 - 1 件目を表示 全数: 1

<input type="checkbox"/>	URL	ユーザーID	操作
<input type="checkbox"/>	http://example.co.jp/webalias	example	<input type="button" value="✕ 削除"/>

③ 確認の画面が表示されますので、「OK」ボタンをクリックします。

..***.*** の内容

選択した項目を削除してもよろしいですか？

③ 削除完了のメッセージが表示され、一覧から該当の権限付与ユーザーが削除されましたら完了です。

管理者設定 / ウェブサーバー / サイト編集権限

webalias を削除しました。

👤 サイト編集権限

任意のユーザーのウェブディレクトリ（ユーザーホーム/wwww/htdocs）内のコンテンツを、所属ドメインのウェブサイト上に公開することが出来ます。

編集権限設定

権限付与ユーザー

表示 / ページ 0 - 0 件目を表示 全数: 0

<input type="checkbox"/>	URL	ユーザーID	操作
-- 現在、表示するレコードはありません --			

8.5. サイトバックアップ

「バックアップ」は、管理者がウェブコンテンツや CGI スクリプトを手動でバックアップする機能です。ファイルの内容及びパーミッションが保存されます。

8.5.1. バックアップの対象

バックアップの対象となるのは以下のディレクトリかつ内部に実態が存在するものに限りです。

- ・「/www/cgi-bin/」
- ・「/www/htdocs/」

バックアップ対象にならない例

- ・「/users/<ユーザーID>/www/htdocs/<サイト編集権限>」にアップロードしたウェブコンテンツ
- ・「/www/logs/」以下のファイル
- ・「/www/」直下に格納された設定ファイル

管理者設定 / ウェブサーバー / サイトバックアップ

📁 サイトバックアップ

ウェブサイトのコンテンツのバックアップと復元ができます。
データベース上のデータは保存されません。
ファイルの復元によってファイルが上書きされた場合、現在の状態に戻すことはできません。

ドメイン選択

example.co.jp ▼

バックアップ作成

<input type="checkbox"/>	バックアップ名	日付	サイズ	操作
<input type="checkbox"/>	example	07/19/2018 06:33 PM	0.6KB	バックアップ復元 削除

8. ウェブサーバー

8.5.2. バックアップデータの格納先

バックアップデータは、次の位置に格納されています。



■ index.txt

バックアップデータのファイル名と表示名を関連付けるファイルです。

バックアップを作成すると、自動的に更新されます。

■ バックアップデータの本体

バックアップデータは tar と gzip でアーカイブ化されて格納されます。

• 注意

バックアップデータを削除する場合は、必ず「7.5.5.バックアップデータの削除」の手順にて実施してください。

/backup/ ディレクトリから直接削除すると、正常に動作しなくなる可能威勢があります。

8. ウェブサーバー

8.5.3. バックアップデータの作成

バックアップにてウェブコンテンツをバックアップする手順をご説明します。

① [管理者設定]の「ウェブサーバー」より、[サイトバックアップ]をクリックします。



② バックアップ対象のドメインを選択し、[バックアップ作成] ボタンをクリックします。



8. ウェブサーバー

③ バックアップ作成の画面が表示されましたら、バックアップ名を入力して、[作成] ボタンをクリックします。

管理者設定 / ウェブサーバー / サイトバックアップ / バックアップ作成

バックアップ作成

現時点のウェブサイトコンテンツのバックアップを作成します。

バックアップ名

作成 キャンセル

④ 「新しいバックアップが作成されました。」というメッセージが表示されましたら、バックアップは完了です。

管理者設定 / ウェブサーバー / サイトバックアップ

新しいバックアップが作成されました

サイトバックアップ

ウェブサイトのコンテンツのバックアップと復元ができます。

データベース上のデータは保存されません。

ファイルの復元によってファイルが上書きされた場合、現在の状態に戻すことはできません。

バックアップ作成

作成されたバックアップデータ

バックアップ名	日付	サイズ	操作
201806backup	06/07/2018 03:31 PM	21774.0KB	バックアップ復元 削除

8. ウェブサーバー

8.5.4. バックアップデータからの復元

バックアップにてウェブコンテンツを復元する手順をご説明します。

- ① [管理者設定]の「ウェブサーバー」より、「サイトバックアップ」をクリックします。

管理者設定 / ウェブサーバー / サイトバックアップ

↑ サイトバックアップ

ウェブサイトのコンテンツのバックアップと復元ができます。
データベース上のデータは保存されません。
ファイルの復元によってファイルが上書きされた場合、現在の状態に戻すことはできません。

ドメイン選択

example.co.jp

バックアップ作成

	バックアップ名	日付	サイズ	操作
<input type="checkbox"/>	example	07/20/2018 11:43 AM	0.6KB	バックアップ復元 削除

- ③ 復元するドメインを選択し、[バックアップ復元] ボタンをクリックします。

管理者設定 / ウェブサーバー / サイトバックアップ

↑ サイトバックアップ

ウェブサイトのコンテンツのバックアップと復元ができます。
データベース上のデータは保存されません。
ファイルの復元によってファイルが上書きされた場合、現在の状態に戻すことはできません。

ドメイン選択

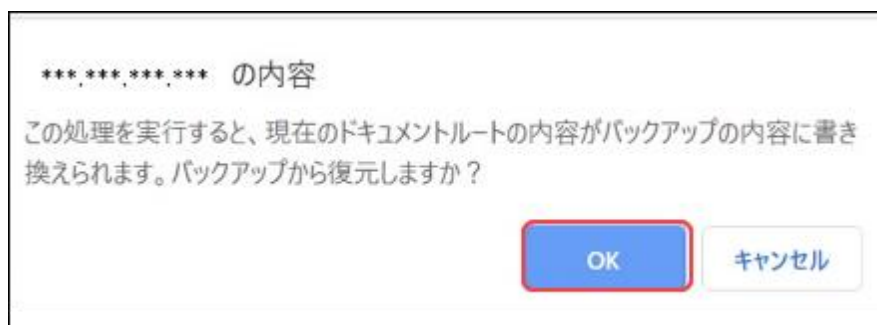
example.co.jp

バックアップ作成

	バックアップ名	日付	サイズ	操作
<input type="checkbox"/>	example	07/20/2018 11:43 AM	0.6KB	バックアップ復元 削除

8. ウェブサーバー

- ④ 以下のダイアログが表示されたら[OK]ボタンをクリックします。



- ⑤ [バックアップが復元されました]と表示されたら復元の完了です。



● 注意

- ・「バックアップからの復元」を実行すると、復元によって上書きされたファイルは、復元直前の状態に戻すことができなくなります。
- ・バックアップデータからの復元を行なう前に「バックアップの作成」をされることをお勧めします。
- ・バックアップからの復元は、バックアップに含まれるファイルの追加のみ行なわれます。バックアップデータに対応するファイルがない場合、該当のファイルは削除されず、そのままの状態に残ります。

● アドバイス

本サービスでは、次の2種類の方法でデータを復元することができます。

■ バックアップ機能でバックアップされたデータの復元

[管理者設定]メニューのウェブサーバーにある「サイトバックアップ」では、/www/htdocs/と/www/cgi-bin/ 配下にあるディレクトリとファイルをバックアップしておくことができます。

■ 「ファイル」内にある「ファイルの復元」からの復元

本サービスでは、外部記憶装置とは別に、約1日分のディスクバックアップを保存しています。

上部メニューの「ファイル」から「ファイルの復元」を実施することで、ディスクバックアップされたディレクトリもしくはファイルを復元することができます。

「ファイルの復元」については、「利用者マニュアル」をご参照ください。

8. ウェブサーバー

8. ウェブサーバー

8.5.5. バックアップデータの削除

作成したバックアップデータを削除する手順をご説明します。

① [管理者設定]の「ウェブサーバー」より、[サイトバックアップ]をクリックします。



② ドメインを選択して、削除したいバックアップデータの[削除]ボタンをクリックします。※チェックを入れて[一括削除]ボタンでも削除は可能です。



8. ウェブサーバー

③ 以下のダイアログが表示されますので、[OK] ボタンをクリックします。



④ 「バックアップが削除されました。」とメッセージが表示され、一覧から該当のデータが削除されましたら完了です。



8. ウェブサーバー

8.6. 自動応対

8.6.1. 自動応対概要

任意のウェブページにお問い合わせ等に使えるチャットウィンドウを表示して、自動で応対を行う機能です。



8. ウェブサーバー

8.6.2. 対応シナリオの作成

自動対応ボットがどの様に対応するかを設定します。

1. サーバー管理者でログインし、業務ツール->自動対応->対応ボット管理を選択する
2. シナリオ入力用の CSV ファイルをダウンロードする



3. CSV ファイルにシナリオを記入し、「参照…」からファイルを選択した後、「シナリオアップデート」をクリックしてシナリオを更新する

No.	質問	選択項目	タイプ
1-1	お問い合わせありがとうございます。どのようなお問い合わせでしょうか？	1 取扱製品 2 アフターサポート 3 IR	選択
1-2	取扱製品に関するお問い合わせですね。製品カタログはこちら(http://www.cotoha.com/catalog.pdf)をご覧ください。製品について何かご不明な点がございましたら？		自由回答
1-3	製品のアフターサポートに関するお問い合わせですね。お問い合わせ内容をお聞かせいただけます。		自由回答
1-4	IRに関するお問い合わせですね。お話し合わせ内容をお聞かせいただけます。		自由回答
2	お客様のお名前をお聞かせいただけますでしょうか？		自由回答
3	お客様のおご連絡先をお聞かせいただけますでしょうか？ Q14: 当社の製品をごとお知りになりましたか？	1 はい 2 いいえ	選択
4	お問い合わせに当社の製品をご紹介させていただきます。Q14: 当社の製品をごとお知りになりましたか？	1 はい 2 いいえ	選択
5	Q14: 当社の製品をごとお知りになりましたか？	1 はい 2 いいえ	選択
6	Q14: 当社の製品をごとお知りになりましたか？	1 はい 2 いいえ	選択
7	Q14: 当社の製品をごとお知りになりましたか？	1 はい 2 いいえ	選択

8. ウェブサーバー

8.6.3. ウェブページへの設置

応対用画面をミーティングアシスト上で作成したウェブページに掲載します。

1. サーバー管理者でログインし、管理者設定->自動応対->応対ボット管理を選択

「自動応対ボット」の「タグ確認」をクリックし、表示されたコードをお客様ページのソースに添付

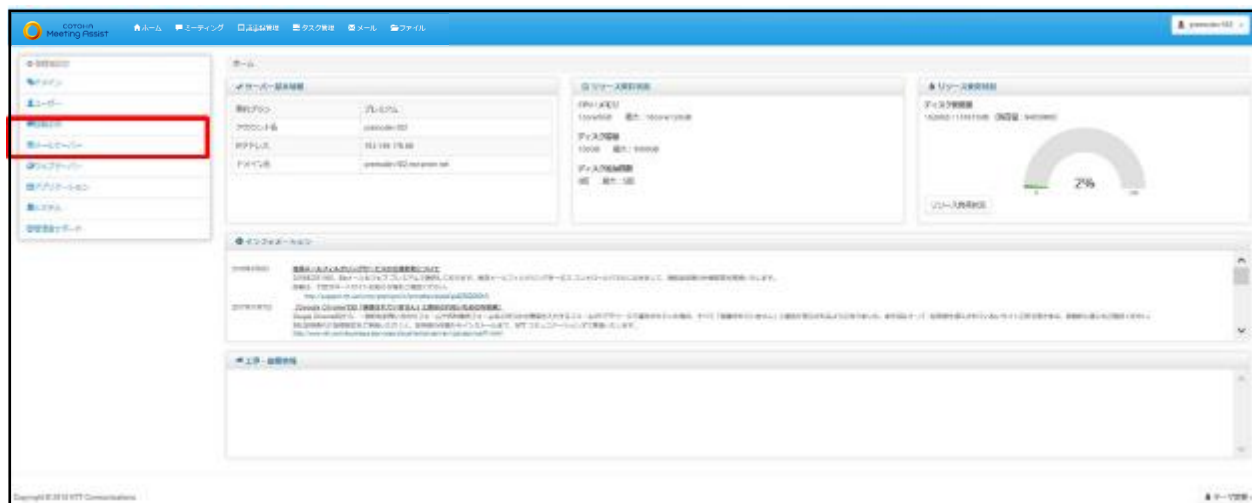


8. ウェブサーバー

8.6.4. 過去の対応結果を集計する

どの選択肢が過去に何回選択されたかを表示します。

1. サーバー管理者でログインし、管理者設定->自動対応->対応結果一覧を選択する



集計結果			
自動対応結果			
No.	内容	選択結果	タイプ
1	お問い合わせありがとうございます。どのようなお問い合わせでしょうか？	1. お問い合わせの受付状況	選択
2	お問い合わせに関するお問い合わせは、お問い合わせの受付状況を確認してください。お問い合わせの受付状況を確認してください。	2. お問い合わせの受付状況	選択
3	お問い合わせに関するお問い合わせは、お問い合わせの受付状況を確認してください。お問い合わせの受付状況を確認してください。	3. お問い合わせの受付状況	選択
4	お問い合わせに関するお問い合わせは、お問い合わせの受付状況を確認してください。お問い合わせの受付状況を確認してください。	4. お問い合わせの受付状況	選択
5	お問い合わせに関するお問い合わせは、お問い合わせの受付状況を確認してください。お問い合わせの受付状況を確認してください。	5. お問い合わせの受付状況	選択
6	お問い合わせに関するお問い合わせは、お問い合わせの受付状況を確認してください。お問い合わせの受付状況を確認してください。	6. お問い合わせの受付状況	選択
7	お問い合わせに関するお問い合わせは、お問い合わせの受付状況を確認してください。お問い合わせの受付状況を確認してください。	7. お問い合わせの受付状況	選択

8.7. ウェブサイト分析

8.7.1. ウェブサイト分析の概要

アクセス解析データやソーシャルデータを収集しウェブサイトの改善点や傾向の分析が可能です。

項目	種類	説明
傾向分析	アクセス数の推移	ウェブサイトのアクセス数と訪問者数を表示します。 表示期間：直近 4 週間、過去 12 カ月、月指定
	アクセス元ページ	ウェブサイトへのアクセス元の割合を表示します。 (直接アクセス、検索エンジン、他サイト)
	検索数の推移	設定した分析ワードの検索数の推移を表示します。
	関連検索ワード	設定した分析ワードを検索した人がその他の検索で使ったワードを抽出・表示します。
	関連ニュース	設定した分析ワードが含まれるニュースを抽出・表示します。
ページ分析	ページ別アクセス数	ウェブサイト内のページ毎のアクセス数を表示します。
	上位 10 ページの アクセス数グラフ	ウェブサイトのアクセス数トップ 10 ページを表示します。
	遷移図	対象ページ閲覧前後の遷移状況（アクセス元、アクセス先）を表示します。
訪問者分析	利用デバイス	訪問者が利用している端末の割合を表示します。 (PC、タブレット、スマートフォン、その他)
	利用ブラウザ	訪問者が利用しているブラウザの割合を表示します。
	アクセス元地域	アクセス数が多い都道府県 上位 10 件を表示します。
	アクセス元 IP アドレストップ 10	アクセス数が多い上位 10 件の IP アドレスを表示します。
AI 分析		ウェブサイトを改善する方法を提示します。



注意

- ・ウェブ分析ツールをアンインストールすることによりそれまで蓄積した分析データも削除されます。
- ・本機能はお客様のウェブ利用方法によりデータの表示分析結果が異なります。
また参考値となるためデータの精度を保証するものではありませんので、ご了承ください。

8. ウェブサーバー

8.7.2. ウェブサイト分析のインストール

ウェブサイト分析のインストール方法を以下にご説明します。

① [管理者設定]の「ウェブサーバー」より、[ウェブサイト分析]をクリックします。メール分析の画面が表示されましたら、[ドメイン選択]をし、MySQLのパスワードを入力し、[インストール]ボタンをクリックします。

The screenshot shows the 'Website Analysis' installation interface. On the left is a sidebar with navigation links: 管理者設定, ドメイン, ユーザー, メールサーバー, ウェブサーバー, SSL/TLS証明書, サイトアクセス制限, サイト編集権限, サイトバックアップ, ウェブサイト分析 (highlighted with a red box), アプリケーション, システム, and 管理者サポート. The main content area is titled 'ウェブサイト分析' and includes a description: 'ウェブサイトのアクセス状況やインターネット上の情報を組み合わせてデータ分析することでウェブサイトの改善をサポートします。' Below this is a 'ドメイン選択' section with a text input field containing 'example.co.jp'. The 'ウェブ分析機能' section features three callouts: 'アクセス解析' (Access Analysis) with a line and pie chart, 'ソーシャル連携' (Social Linkage) with a bar chart, and 'AI分析' (AI Analysis) with a text box. At the bottom, there is a 'MySQL管理パスワード' input field and a blue 'インストール' button.

管理者設定 / ウェブサーバー / ウェブサイト分析

ウェブサイト分析

ウェブサイトのアクセス状況やインターネット上の情報を組み合わせてデータ分析することでウェブサイトの改善をサポートします。

ドメイン選択

example.co.jp

ウェブ分析機能

ウェブサイトを様々な角度からAIが分析し、アクセス数アップを支援

アクセス解析

流入状況やアクセスユーザの解析を行います。また、ワンクリックでアクセス解析に必要な解析タグをコンテンツに設定できます。

ソーシャル連携

アクセス解析と同一時系列でソーシャル(世の中)のトレンドを比較できます。

AI分析

解析データをもとにウェブサイトの改善につながる情報をAIが提案します。

ウェブ分析機能は設定されていません。
ウェブ分析機能の設定には、MySQLへのデータベース作成が必要となります。
MySQL管理パスワードを入力し、「インストール」ボタンをクリックしてください。

MySQL管理パスワード

インストール

8. ウェブサーバー

- ② 確認メッセージが表示されますので、[OK] ボタンをクリックします。



- ⑥ ウェブ分析設定画面が表示されましたら完了です。



8. ウェブサーバー

8.7.3. ウェブサイト分析の設定

ウェブサイト分析の設定方法を以下にご説明します。

- ① ウェブ分析設定画面ページにて、 トラッキングタグ挿入ファイルを選択します。

ウェブ分析設定

トラッキングタグの設定

ウェブ分析はウェブコンテンツにトラッキングタグの埋め込みが必要です。
下記のファイルリストより埋め込み対象ファイルを選択すると自動でトラッキングタグの挿入が可能です。

[解説・タグの手動埋め込み方法](#)

トラッキングタグ自動挿入対象ファイル選択

☐ 以下のファイルを全て選択

対象ファイル	タグのステータス	確認
<input checked="" type="checkbox"/> index.html		確認

☐ OFF タグの自動修復

上記で選択されたファイルを追跡し、ファイルの更新などでトラッキングタグが消えた場合でも自動でトラッキングタグを修復します。

アドバイス

- ・トラッキングタグを手動で挿入される場合は、タグの手動埋め込み方法をクリックし<!-- WebAnalysis -->から<!-- End WebAnalysis -->までをコピーし、ウェブサイトの解析を行う全てのページに貼り付けます。

手動でのタグの埋め込み方法

下記のタグをコンテンツ内に挿入してください。(挿入箇所：headの終了タグの直前に挿入されることを推奨します。)

```
<!-- WebAnalysis -->  
[ここにコンテンツが入ります]  
<!-- End WebAnalysis -->
```

- ・タグの自動修復を「ON」にすることで定期的/1日毎にトラッキングタグの有無をチェックし自動でトラッキングタグを修復します。

・ 注意

- ・htdocs ディレクトリは以下の HTML ファイル（拡張子：html,htm）が自動挿入ファイル対象です。
- ・トラッキングコードの埋め込み場所は</head>の終了タグ直前に挿入されることを推奨します。
- ・動的コンテンツへの埋め込みについてはサポートしておりません。

8. ウェブサーバー

② サイト分析ワードの設定を入力します。

検索傾向やニュースなどのソーシャルデータを取得するためのワードを設定します。

1 サイト分析ワードの設定

ウェブ分析ではソーシャルデータを用いた比較分析が可能です。
下記のフォームにウェブサイトに関連した分析ワードを設定すると自動で関連情報を取得します。

業種	会社名
<input type="text" value="業種を選択"/>	<input type="text"/>
製品名	フリー分析ワード
<input type="text"/>	<input type="text"/>

③ レポートメールの設定へ通知先メールアドレスを入力し、［分析設定の保存］をクリックします。

レポートメールの設定

レポートメールの通知設定を行うとウェブ分析結果のサマリーレポートを週に1回メールでお知らせします。

☒ ON メール通知

通知先メールアドレス

レポートメール通知内容

レポートメール通知をONにすることにより、**毎週月曜日**に通知先メールアドレスへウェブ分析結果が配信されます。

<例> 通知メール内容サンプル>

From: 管理者ID@お客様ドメイン
subject: COTOHA Meeting Assist ウェブ分析 サマリーレポート
YYYY/MM/DD

COTOHA Meeting Assist ウェブ分析サマリーレポートです。

先週(YYYY-MM-DD から YYYY-MM-DD まで)は、
XXXXユニークユーザーからXXXXのアクセス(ページビュー)ありました。

分析結果の詳細はコントロールパネルからウェブ分析をご参照ください。
<https://XXXXXX.mwprem.net/ControlPanel/>

本メールはウェブ分析機能より自動配信されています。
設定の変更/解除はコントロールパネルのウェブ分析設定からご設定ください。

8. ウェブサーバー

- ③ 「ウェブ分析機能は設定が完了しました。」と表示されましたら完了です。

ウェブ分析設定

ウェブ分析機能の設定が完了しました。

タグ挿入成功ファイル

index.html

タグ挿入失敗ファイル

無し

「分析結果閲覧」ボタンをクリックすると、ウェブ分析結果画面へ移動します。

分析結果閲覧

8. ウェブサーバー

8.7.4. ウェブサイト分析のアンインストール

ウェブサイト分析のアンインストール方法を以下にご説明します。

①[管理者設定]の「ウェブサーバー」より、[ウェブサイト分析]をクリック後、[ドメイン選択]をし、右上の[設定] ボタンをクリックします。



②ウェブ分析設定画面より[アンインストールボタンを表示]をクリックし、MySQL 管理者パスワードを入力し[アンインストールを実行]をクリックします。



8. ウェブサーバー

④ 確認メッセージが表示されますので [OK] ボタンをクリックします。



⑤ 初期インストール画面が表示されましたら完了です。



9.アプリケーション

9.1. アプリケーション概要

9.1.1. アプリケーションの機能

必要なアプリケーションをコントロールパネル上でクリックしていただく事でインストールできます。

アプリケーションはウェブサイトを構成するために必要な機能である基本アプリと、ウェブサイトの機能を拡張する機能である追加アプリ、ウェブサイトで利用するデータベースとに区分できます。

本サーバーで利用可能なアプリケーションやデータベースについて解説いたします。

8.2 基本アプリ

8.3 追加アプリ

8.4 データベース

9. アプリケーション

9.2. 基本アプリ

9.2.1. 基本アプリの概要

本サーバーで利用可能なスクリプト言語が確認出来ます。

バージョンの詳細については、以下サポートページをご参照ください。

<https://www.ntt.com/business/services/cloud/rental-server/vps/service23.html>

9.2.2. PHP のバージョン

本サーバーには、PHP がインストールされています。

PHP バージョンの詳細については、以下サポートページをご参照ください。

<https://www.ntt.com/business/services/cloud/rental-server/vps/service23.html>

本サービスには、複数バージョンの PHP がインストールされており、初期設定では PHP5.3 を使用するよう設定されています。[管理者設定]の「アプリケーション」画面で、PHP のバージョンを切り替えて使用することができます。PHP のバージョン切り替え手順を以下でご説明します。

1. [管理者設定]の「アプリケーション」より、[基本アプリ] をクリックします。



2. 「基本アプリ」の画面が表示されましたら、「スクリプト言語」欄「PHP」の[設定] ボタンをクリックします。

9. アプリケーション

管理者設定 / アプリケーション / 基本アプリ

基本アプリ

アプリケーション

サービス名	ステータス	操作
Postfix	起動中	設定
Apache	起動中	設定 WebDAV
ProFTPD	起動中	設定
Dovecot	起動中	設定

スクリプト言語

サービス名	ステータス	設定
PHP	起動中	設定
Perl	起動中	
Python	起動中	
Ruby	起動中	

3. 「バージョンの選択」プルダウンから変更するバージョンを選択し、[変更] ボタンをクリックします。

PHPバージョン

PHPのバージョンを変更できます。
PHPのバージョンを変更すると、従来バージョン用にデザインされた既存のスクリプトが使えなくなる場合がありますのでご注意ください。

現在のバージョン	5.3 (Module)
バージョンの選択	5.3 (Module) ▼

変更

4. [バージョンの選択]プルダウンから変更するバージョンを選択し[変更]をクリックします。

PHPバージョン

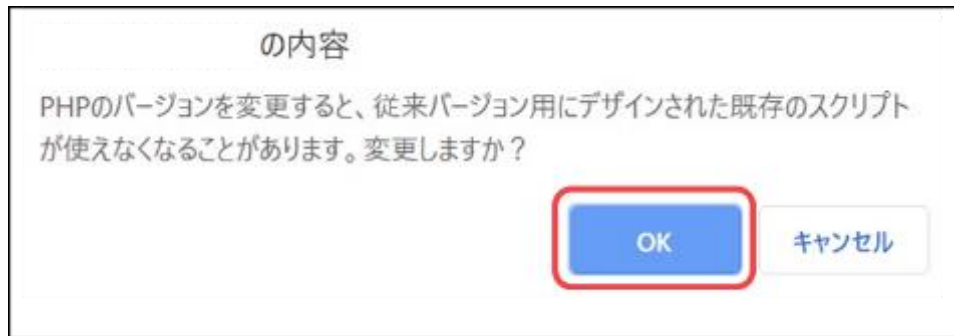
PHPのバージョンを変更できます。
PHPのバージョンを変更すると、従来バージョン用にデザインされた既存のスクリプトが使えなくなる場合がありますのでご注意ください。

現在のバージョン	5.3 (Module)
バージョンの選択	5.3 (Module) ▼ 5.3 (CGI) 5.3 (Module) 7.4 (CGI) 7.4 (Module)

変更

9. アプリケーション

5. 確認メッセージで[OK]をクリックします。



6. 以下のメッセージが表示されれば変更は完了です。



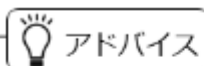
9. アプリケーション

9.2.3. ウェブ DAV

1. ホーム画面の[管理者設定]より[アプリケーション]から[データベース]をクリック後、[phpPgAdmin]を開く]をクリックします。

データベース		
サービス名	ステータス	操作
MySQL	停止中	設定 起動
PostgreSQL	起動中	設定 停止
phpMyAdmin	無効	設定 有効化
phpPgAdmin	有効	設定 無効化

2. 左上のメニューのPostgreSQL をクリックし、「ユーザー名」と「パスワード」を入力し [実行] をクリックします。



アドバイス

ログインには、ID(postgres)と「4.3.12 PostgreSQL」のパスワード変更で設定したパスワードを使用します。

3. ログインが完了すると、以下の管理画面が表示されます

9. アプリケーション



注意

PostgreSQLやphpPgAdminの利用操作方法などは**サポート対象外**となります。

ウェブ DAV の概要

サーバーに ID、パスワード付のファイル共有用のフォルダを作成し、ファイル共有サーバーとして利用します。当機能をウェブ DAV（ウェブダブ）と言います。

共有フォルダとユーザーの追加設定

1. ホーム画面の[管理者設定]より「アプリケーション」、[基本アプリ] をクリックします。

9. アプリケーション

管理者設定 / アプリケーション / 基本アプリ

基本アプリ

アプリケーション

サービス名	ステータス	操作
Postfix	起動中	設定
Apache	起動中	設定 WebDAV
ProFTPD	起動中	設定
Dovecot	起動中	設定

スクリプト言語

サービス名	ステータス	設定
PHP	起動中	設定
Perl	起動中	
Python	起動中	
Ruby	起動中	

2. 「基本アプリ」の画面が表示されましたら、[ウェブ DAV]ボタンをクリックします。

基本アプリ

アプリケーション

サービス名	ステータス	操作
Postfix	起動中	設定
Apache	起動中	設定 WebDAV
ProFTPD	起動中	設定
Dovecot	起動中	設定

3. [新規作成]をクリックします。

9. アプリケーション

WebDAV

WebDAV共有フォルダの作成、編集、削除を行います。

新規作成

表示 **10** / ページ 0 - 0 件目を表示 全数: 0 絞り込み検索

<input type="checkbox"/>	共有フォルダ名	説明	最終更新日時	操作
ー現在、表示するレコードはありませんー				

← 前へ 次へ →

4. フォルダ名と説明を入力し、保存をクリックします。

フォルダ作成

フォルダ名

davtest

説明

webdav test

保存 キャンセル

5. 「共有フォルダ名を追加しました。」と表示されましたら、フォルダの追加は完了です。

管理者設定 / アプリケーション / 基本アプリ / WebDAV

davtestを追加しました
[基本アプリに戻る](#)

WebDAV

WebDAV共有フォルダの作成、編集、削除を行います。

新規作成

表示 **10** / ページ 1 - 1 件目を表示 全数: 1 絞り込み検索

<input type="checkbox"/>	共有フォルダ名	説明	最終更新日時	操作
<input type="checkbox"/>	davtest	webdav test	2018/08/15 11:02 AM	ユーザー 編集 削除

9. アプリケーション

6. 続いて、ウェブ DAV のユーザーを追加します。[ユーザー]をクリックします。



WebDAV

WebDAV共有フォルダの作成、編集、削除を行います。

新規作成

表示 10 / ページ 1 - 1 件目を表示 全数: 1

<input type="checkbox"/>	共有フォルダ名	説明	最終更新日時	操作
<input type="checkbox"/>	davtest	webdav test	2018/08/15 11:02 AM	ユーザー 編集 削除

7. ユーザー名とパスワードを入力し、[保存]をクリックします。



ユーザーの追加 (davtest)

ユーザー名

半角英小文字(a~z)、半角英大文字(A~Z)、半角数字(0~9)を利用可能

davuser

パスワード

半角英小文字(a~z)、半角英大文字(A~Z)、半角数字(0~9)、半角記号(@# \$% ^ * () _ + = & -) のそれぞれ最低1文字を含めた8文字以上

パスワードの強度: 強い

保存 キャンセル

8. 「ユーザーID を追加しました」と表示されましたら、ユーザーの追加は完了です。



管理者設定 / アプリケーション / 基本アプリ / WebDAV / ユーザーの編集

davuserを追加しました



メール&ウェブプレミアム r2で追加したユーザーとWebDAVのユーザーは別管理となります。

CarotDAV の導入

1. CarotDAV をインストールします。[管理者設定]の[データベース]から phpPgAdmin の[無効化]をクリックします。

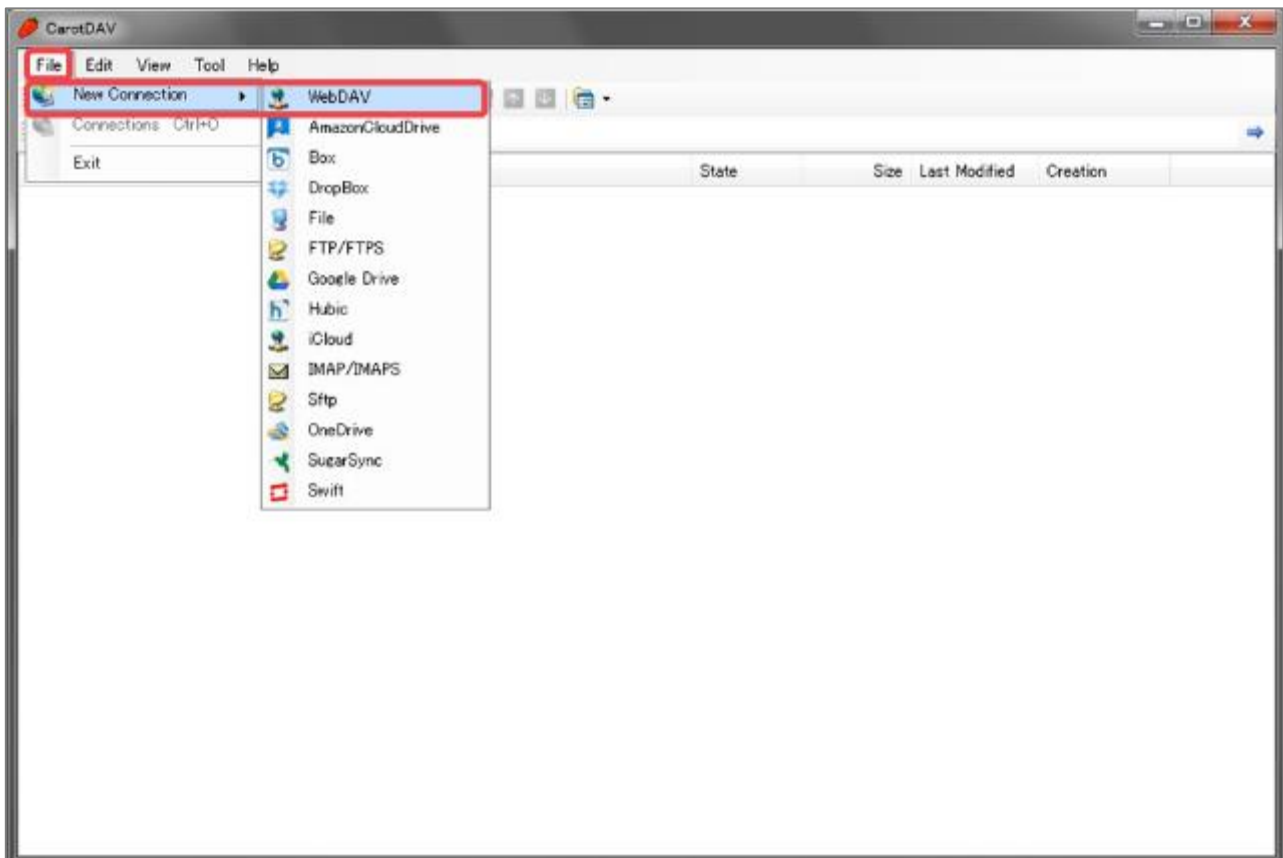
9. アプリケーション



注意

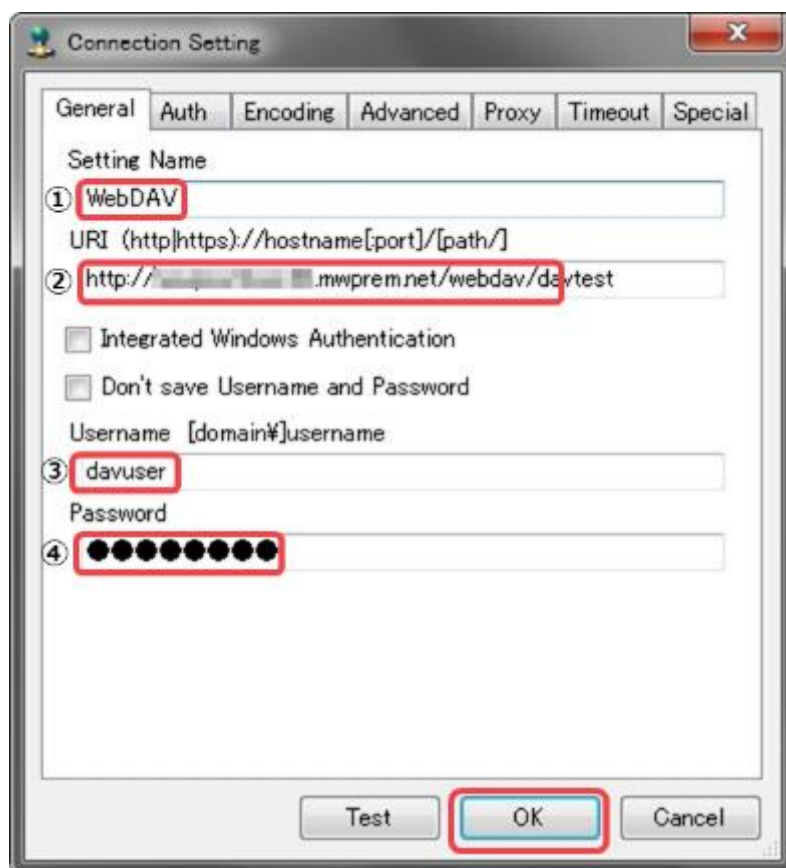
- ・ファイル共有を行う端末全てに導入する必要があります。
- ・当ソフトウェアは一部を除き英語版となります。

2. <https://www.forest.impress.co.jp/library/software/carotdav/>にアクセスし、CarotDAV をダウンロードします。
3. ダウンロードしたファイルを実行し、インストールを完了させてください。
4. CarotDAV を起動し、[File]をクリックし、「New Connection」から「ウェブ DAV」をクリックします。



5. 「General」のタブが開きますので、必要な項目を入力します。

9. アプリケーション



各入力項目について

①Setting Name

任意の名前を入力します。

②URI

https://c*****.mwprem.net/dav/ウェブ DAV 名（共有フォルダ名） を入力します。

③Username ④Password

本書 P195 で設定したユーザー名とパスワードを入力します。

6. [OK]をクリックします。

以上で CarotDAV の設定は完了です。



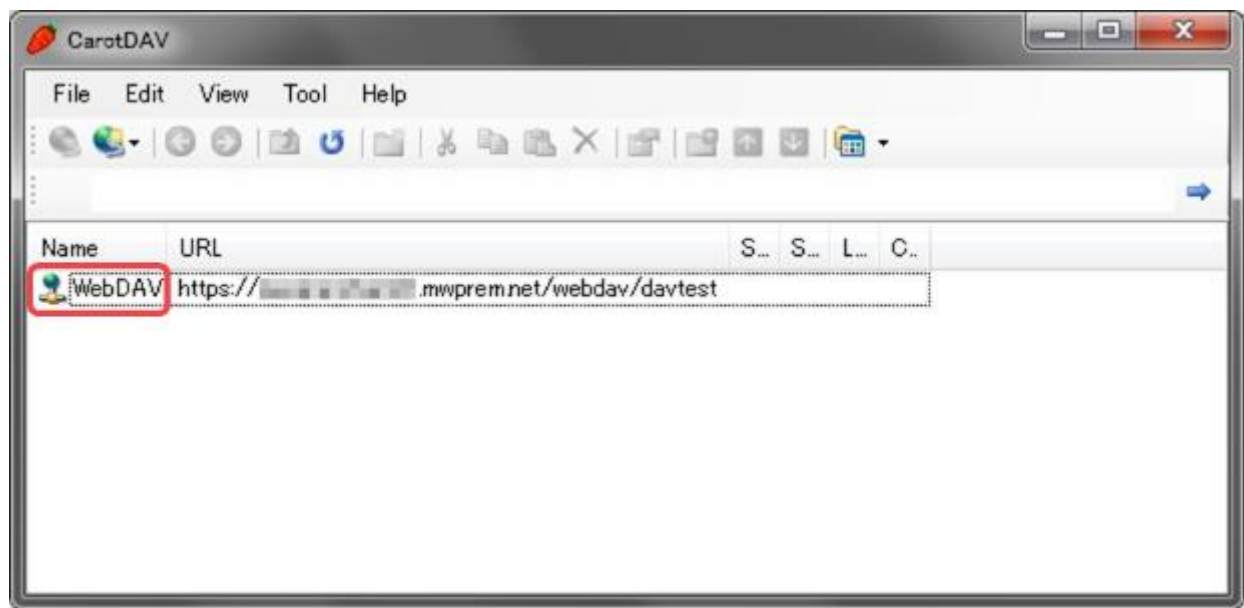
注意

[Test]や[OK]のボタンがグレーアウトしている場合は、②URI の入力内容に誤りがあります。コントロールパネルのURLを参考に再度入力内容をご確認ください。

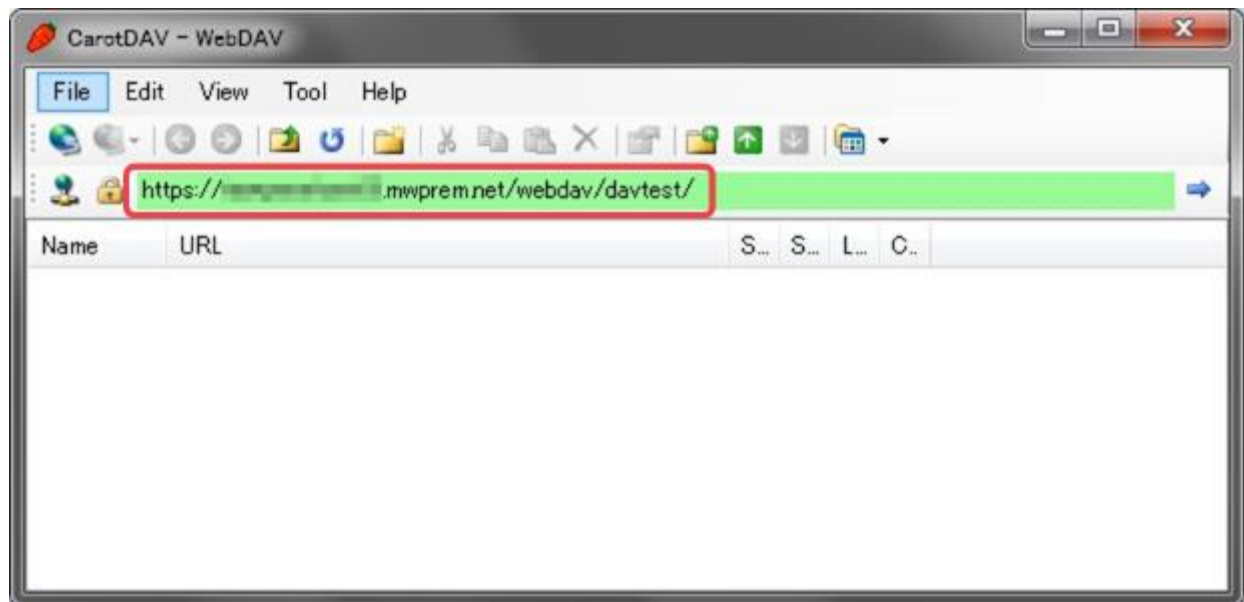
ファイルのアップロード・ダウンロード

1. 追加された設定の「Name」の項目をダブルクリックし、サーバーに接続します。

9. アプリケーション

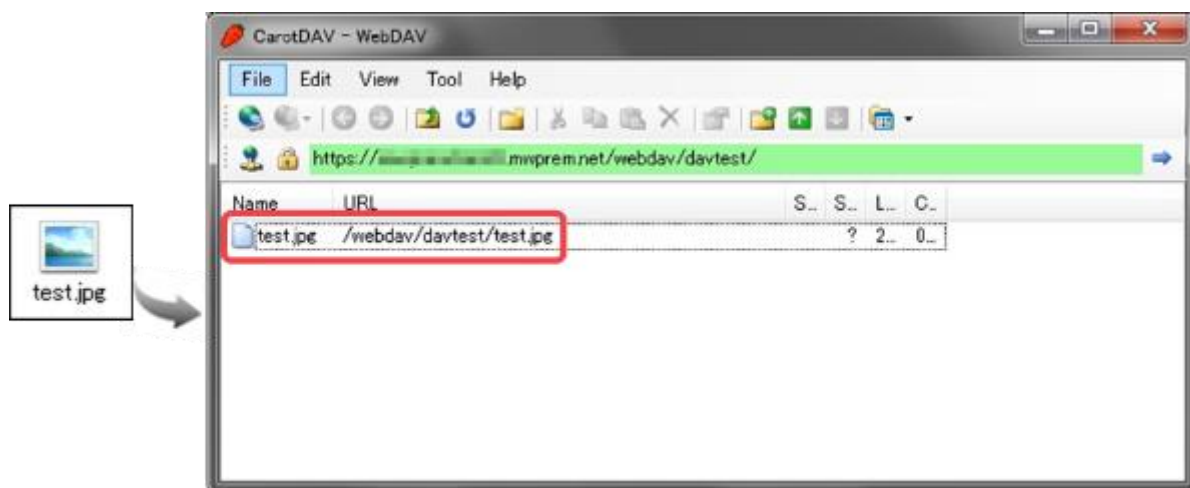


2. アドレス欄が緑色になれば接続できています。

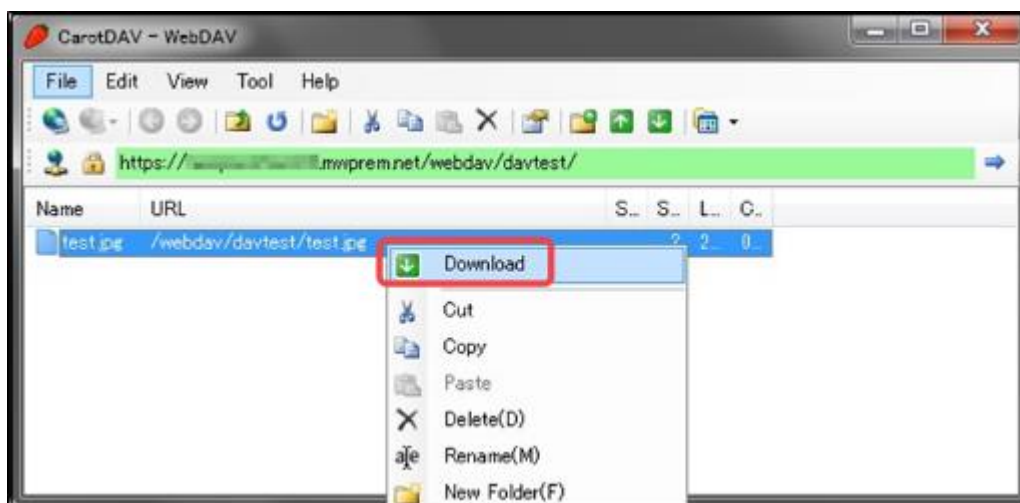


3. アップロードしたいファイル、CarotDAV の画面へドラッグ&ドロップします。

9. アプリケーション



4. ダウンロードは、ファイルを選択し、[Download]を右クリック、保存先を選択しダウンロードします。



契約ディスク容量が上限となります。各ユーザ毎の容量制限には依存しません。ディスク容量の圧迫を避ける為、不要なファイルは定期的に削除してください。

大容量の添付ファイルを一度にアップロード・ダウンロードをすると、サーバーのレスポンスが低下する可能性があります。

CarotDAVのその他の利用方法についてはサポート対象外となります。インターネット情報等にてご確認ください。

参考URL:

■ Webdav(英語)

<http://www.webdav.org/>

9. アプリケーション

9.3. 追加アプリ

9.3.1. 追加アプリの概要

追加アプリとは、1 クリックでインストールが可能な各種のアプリケーションです。

ブログやショッピングカート、グループウェア等があり、お客さまにて任意でインストールしていただき、利用することが可能です。

利用可能なアプリは以下の通りです。



• 注意

本サービスの追加アプリについては、インストールまでのご案内となります。

インストール後のご利用方法については、お客様にて各アプリに公式サイト等でお調べいただくようお願いいたします。

追加アプリを利用する際には、データベース（MySQL, PostgreSQL）が必要となる場合がありますので、事前に有効化するようにお願いいたします。

9. アプリケーション

9.3.2. 追加アプリのインストール

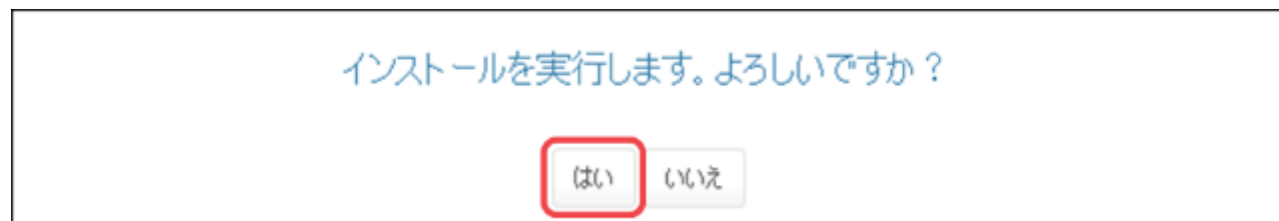
1. [管理者設定]より、[アプリケーション]をクリック後、[追加アプリ]をクリックします。



2. 対象ドメインを選択し、インストールしたいアプリの[インストール]をクリックします。



3. 確認画面が表示されますので[はい]をクリックします。



9. アプリケーション

3. インストールが完了すると、以下のような詳細情報が表示されれば、インストールは完了です。
(この情報は後でも再確認が可能です。)





3. インストールが正常に完了した場合は、以下のようにステータス表示が[インストール済]になります。

ドメイン選択		
example.co.jp		
アプリケーション	ステータス	操作
Wordpress	インストール済	インストール情報
Piwik	未インストール	インストール
Pukiwiki	未インストール	インストール

9. アプリケーション

9.3.3. 追加アプリの管理画面

1. [管理者設定]の[追加アプリ]から[インストール情報]をクリックします。

ドメイン選択		
example.co.jp		
アプリケーション	ステータス	操作
Wordpress	インストール済	 インストール情報
Piwik	未インストール	 インストール
Pukiwiki	未インストール	 インストール

2. 追加アプリの管理画面 URL をブラウザで開きます。

Wordpress

ー初期インストール情報ー

ーInstall Date Mon Jun 18 15:49:52 JST 2018

application_name: wordpress
application_version: 4.5.2
domain_name: example.co.jp
LoginID: 
PW: 

URL: <https://example.co.jp/wordpress/wp-login.php>

MySQL_Database_Name wpres_db
MySQL_Database_User wpres_user
MySQL_Database_PW 



9. アプリケーション

3. インストールした追加アプリの画面が表示されます。



The image shows the WordPress login interface. At the top center is the WordPress logo. Below it is a white login box containing the following elements: a label 'ユーザー名またはメールアドレス' (Username or email address) above a text input field; a label 'パスワード' (Password) above a password input field; a checkbox labeled 'ログイン状態を保存する' (Remember me) and a blue 'ログイン' (Login) button. Below the login box, there is a link 'パスワードをお忘れですか?' (Lost your password?) and a link '← へ戻る' (Return).

4. インストール情報で表示されていた、ユーザー名とパスワードを入力します。



This image shows the same WordPress login screen as the previous one, but with user input. The text input field for the username/email and the password input field (displayed as dots) are both highlighted with red rectangular boxes, indicating where the user has entered their credentials. The rest of the interface, including the logo, buttons, and links, remains the same.

9. アプリケーション

5. ログインすると以下のような管理画面が表示されます。（管理画面は各追加アプリ毎に違いがあります。）



6. 管理画面より各追加アプリの管理や設定を行ってください。
7. アクセス解析、Pwiki については別途追加設定が必要になります。それ以外の追加アプリについては、インストール完了後にすぐに利用可能です。



注意

サイボウズ Office10については、試用版のインストールとなります。本運用される場合は、別途サイボウズ社とライセンス契約が必要となります。

• 注意

サイボウズ Office10 については、試用版のインストールとなります。本運用される場合は、別途サイボウズ社とライセンス契約が必要となります。

9. アプリケーション

9.3.4. Piwik の設定

1. アクセス解析を実施するには、解析用のトラッキングタグをウェブサイトに埋め込む必要があります。
2. Piwik のインストール情報から管理画面の URL を確認し、アクセスします。



3. Piwik の管理画面にログインします。



9. アプリケーション

- 画面下部の「JavaScript トラッキングタグ」に表示されたトラッキングタグの<!-- Piwik -->から<!-- End Piwik Code -->までをコピーし、ウェブサイトの解析を行う全てのページに貼り付けます。

JavaScriptトラッキングタグ

Make sure this code is on every page of your website. We recommend to paste it immediately before the closing </head> tag.

```
<!-- Piwik -->
<script type="text/javascript">
  var _paq = _paq || [];
  _paq.push(["setDomains", [".localhost"]]);
  _paq.push(['trackPageView']);
  _paq.push(['enableLinkTracking']);
  (function() {
    var u="//[redacted]/piwik/";
    _paq.push(['setTrackerUrl', u+'piwik.php']);
    _paq.push(['setSiteId', 1]);
    var d=document, g=d.createElement('script'), s=d.getElementsByTagName('script')[0];
    g.type='text/javascript'; g.async=true; g.defer=true; g.src=u+'piwik.js'; s.parentNode.insertBefore(g,s);
  })();
</script>
<noscript><p></p></noscript>
<!-- End Piwik Code -->
```

・ 注意

- ・ トラッキングコードの埋め込み場所は</body>タグの前をお勧めします。
- ・ 動的コンテンツへの埋め込みについてはサポートしておりません。

9. アプリケーション

9.3.5. 追加アプリの削除

1. インストールした追加アプリを削除する場合は、追加アプリのファイルとデータベースを削除する必要があります。削除が必要なファイル・データベースは以下の通りです。

追加アプリ名	削除ファイル・ディレクトリ	データベース 削除の要否
Wordpress	/users/ドメイン管理者 ID/www/ドメイン名/wordpress /users/サーバー管理者 ID/.wordpress_ドメイン名 /users/サーバー管理者 ID/.wordpress_app	要削除
Piwik	/users/ドメイン管理者 ID/www/ドメイン名/piwik /users/サーバー管理者 ID/.piwik_ドメイン名 /users/サーバー管理者 ID/.piwik_app	要削除
Pukiwiki	/users/ドメイン管理者 ID/www/ドメイン名/pukiwiki /users/サーバー管理者 ID/.pukiwiki_ドメイン名 /users/サーバー管理者 ID/.pukiwiki_app	不要
サイボウズ	/users/ドメイン管理者 ID/cbag (数字) /users/ドメイン管理者 ID/www/cgi-bin/cbag (数字) /users/ドメイン管理者 ID/www/ドメイン名/cb1060 /users/サーバー管理者 ID/.cybozu_ドメイン名 /users/サーバー管理者 ID/.cybozu_app	不要
Eccube	/users/ドメイン管理者 ID/www/ドメイン名/shop /users/ドメイン管理者 ID/www/eccube_data /users/サーバー管理者 ID/.eccube_ドメイン名 /users/サーバー管理者 ID/.eccube_app	要削除
OpenPNE	①/users/ドメイン管理者 ID/www/ドメイン名/openpne ②/users/ドメイン管理者 ID/openpne ③/users/サーバー管理者 ID/.openpne_ドメイン名 ④/users/サーバー管理者 ID/.openpne_app	要削除
Xoops	/users/ドメイン管理者 ID/xoops_trust_path /users/ドメイン管理者 ID/www/ドメイン名/xoops /users/サーバー管理者 ID/.xoops_ドメイン名 /users/サーバー管理者 ID/.xoops_app	要削除



警告

- ・ OpenPNEの削除においては、ファイル削除の順番を①②③の順に実施するようにするようお願いいたします。
削除順に誤りがあると、OpenPNEの再インストールが出来なくなる恐れがあります。
削除手順を誤ってしまった場合は、カスタマーサポートまで相談してください。

9. アプリケーション

2. 削除したい追加アプリのインストール情報から、データベース名を確認します。（以下の案内は Wordpress 削除の例です）

ドメイン選択		
example.co.jp		
アプリケーション	ステータス	操作
Wordpress	インストール済	 インストール情報
Piwik	未インストール	 インストール
Pukiwiki	未インストール	 インストール

3. 初期インストール情報の画面が開きますので、データベース名を確認します

Wordpress

初期インストール情報

Install Date: Fri Jul 13 14:33:15 JST 2018

application_name: wordpress

application_version: 4.5.2

domain_name: example.co.jp

LoginID: [redacted]

PW: LhLvXPWe

URL: https://example.co.jp/wordpress/wp-login.php

MySQL_Database_Name: **wpress_db**

MySQL_Database_User: [redacted]

MySQL_Database_PW: [redacted]

4. データベース名を確認、phpMyAdmin にログインします。画面左側メニューからアプリケーションをクリックして、データベースをクリックします。

管理者設定

ドメイン

ユーザー

メールサーバー

ウェブサーバー

アプリケーション

基本アプリ

追加アプリ

データベース

システム

ホーム

サーバー基本情報

契約プラン	プレミアム
アカウント名	[redacted]
IPアドレス	[redacted]
ドメイン名	[redacted]

リソース契約状況

CPU / メモリ
1core/8GB 最大:16core/128GB

ディスク容量
100GB 最大:1000GB

ディスク追加回数
0回 最大:5回

リソース使用状況

ディスク使用量
453MB / 101673MB (残容量:
96033MB)

1%

リソース負荷状況

インフォメーション

9. アプリケーション

5. データベースのメニュー画面が表示されますので、phpMyAdmin のコントロールログイン画面へのリンクをクリックします。

データベース		
サービス名	ステータス	操作
MySQL	起動中	設定 停止
PostgreSQL	未設定	利用開始
phpMyAdmin 	有効	設定 無効化
phpPgAdmin	無効	設定 有効化

6. phpMyAdmin へログインします。[管理者設定]より[アプリケーション]から[データベース]をクリック後、[phpMyAdmin を開く]をクリックします。

データベース		
サービス名	ステータス	操作
MySQL	起動中	設定 停止
PostgreSQL	停止中	設定 起動
phpMyAdmin  	有効	設定 無効化
phpPgAdmin	無効	設定 有効化

9. アプリケーション

7. 「ユーザー名」と「パスワード」を入力し [実行]をクリックします。



● アドバイス

ログインには、サーバー管理者 ID と「MySQL のパスワード変更」で設定したパスワードを使用します。

9. アプリケーション

8. phpMyAdmin にログインできましたら、確認し追加アプリのデータベース名を左側のメニューからクリックします。

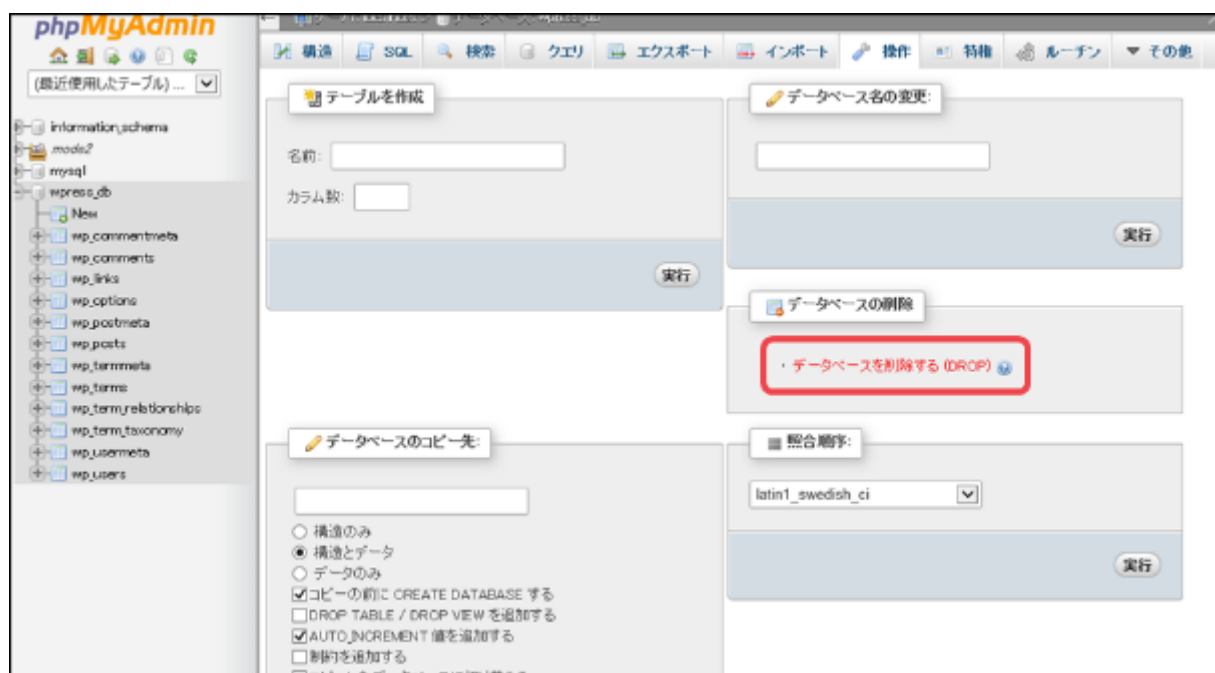


9. 対象データベースの画面が表示されましたら「操作」をクリックします。



9. アプリケーション

10. 「操作」画面が表示されましたら、「データベースの削除」欄の「データベースを削除する (DROP)」をクリックします。



11. 確認メッセージが表示されますので、[OK] ボタンをクリックします。



9. アプリケーション

12. 「対象 DB 名」の項目が削除されましたらデータベースの削除は完了です。次に追加アプリのファイルを削除します。

13. ホーム画面上部より、[ファイル] をクリックしてファイルマネージャを表示させます。次にディレクトリ一覧の [users] をクリックします。



14. 「users」ディレクトリ内が表示されましたら、「サーバー管理者 ID」のディレクトリをクリックします

<input type="checkbox"/>	名前	最終更新日	サイズ	操作
<input type="checkbox"/>	example_admin	2018/07/13		開く, 名前変更, コピー, 移動, 圧縮, 共有, 削除
<input type="checkbox"/>	サーバー管理者ID	2018/07/13		開く, 名前変更, コピー, 移動, 圧縮, 共有, 削除
<input type="checkbox"/>	example.com_admin	2018/07/10		開く, 名前変更, コピー, 移動, 圧縮, 共有, 削除

9. アプリケーション

- 15.「サーバー管理者 ID」のフォルダ内が表示されましたら、「.wordpress_ドメイン名」にチェックを入れ、[削除] ボタンをクリックします。



- 16.削除の確認画面が表示されますので、ファイルに間違いがないことを確認し、[削除] ボタンをクリックします。



- 17.「選択されたファイルが削除されました。」というメッセージが表示されましたら、削除は完了です。次に WordPress のディレクトリを削除します。



9. アプリケーション

18. [ホームディレクトリ] をクリックし、ファイルマネージャトップ画面を表示し、[users] をクリックします

ホームディレクトリ

操作: 復元

7ディレクトリ, 1ファイル, (0隠しファイル), (0ショートカット)

最終更新日時: 2018/07/12 07:24 PM

隠しファイルを表示

+ディレクトリ作成

ファイル作成

アップロード

<input type="checkbox"/>	名前	最終更新日	サイズ	操作
<input type="checkbox"/>	tmp	2014/11/07		開く
<input type="checkbox"/>	etc	2018/07/12		開く
<input type="checkbox"/>	www	2014/11/07		開く
<input type="checkbox"/>	users	2018/07/17		開く
<input type="checkbox"/>	ftp	2014/11/07		開く 名前変更 コピー 移動 圧縮 共有 削除

19. ドメイン管理者のディレクトリをクリックします。

ファイルマネージャ

権限ディレクトリ内のファイル进行操作できます。

ファイルマネージャ

共有ファイル

復元ファイル

ユーザーホームへ移動: example2

ホームディレクトリ / users

操作: 圧縮 | 共有 | コピー | 属性変更 | 所有者変更 | 復元 | ショートカット作成

4ディレクトリ, 0ファイル, (0隠しファイル), (0ショートカット)

最終更新日時: 2018/07/17 04:38 PM

隠しファイルを表示

+ディレクトリ作成

ファイル作成

アップロード

<input type="checkbox"/>	名前	最終更新日	サイズ	操作
<input type="checkbox"/>	example2	2018/07/17		開く 名前変更 コピー 移動 圧縮 共有 削除
<input type="checkbox"/>	example2	2018/07/17		開く 名前変更 コピー 移動 圧縮 共有 削除
<input type="checkbox"/>	example.co.jp_admin	2018/07/17		開く 名前変更 コピー 移動 圧縮 共有 削除
<input type="checkbox"/>	example1	2018/07/17		開く 名前変更 コピー 移動 圧縮 共有 削除

9. アプリケーション

20. ドメイン管理者のディレクトリが開いたら[www]をクリック、続いてドメイン名のディレクトリをクリックします。



21. ドメイン名のディレクトリ内にある、「wordpress」にチェックを入れ、削除をクリックします。



9. アプリケーション

22. 削除の確認画面が表示されますので、ファイルに間違いがないことを確認し、
[削除] ボタンをクリックし ます。



23. 「選択されたファイルが削除されました。」というメッセージが表示されましたら、wordpress の削除は完了です。



• 注意

- ・ 追加アプリをインストールした場合、該当アプリの全データが削除されます。
- ・ 削除されたデータは復旧できませんのでご注意ください。

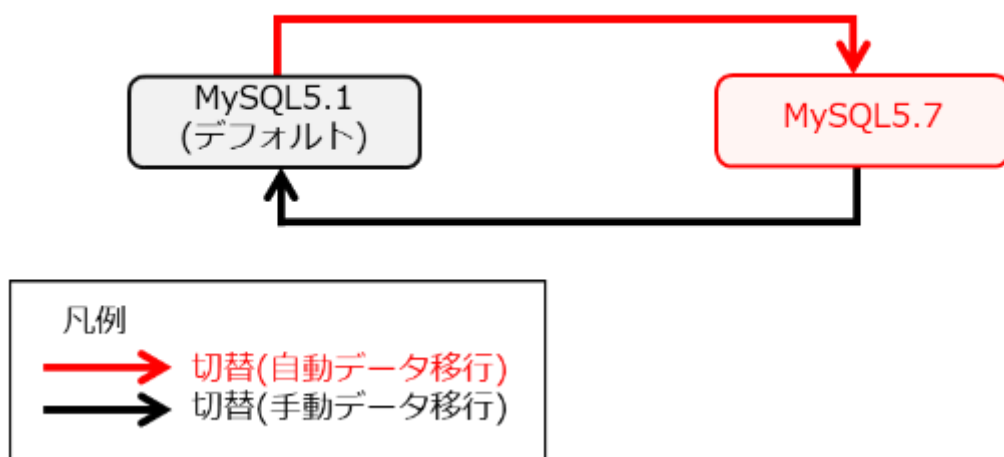
9. アプリケーション

9.4. データベース

9.4.1. 利用可能なデータベース

COTOHA Meeting Assist では、MySQL と PostgreSQL が利用可能です。

データベースのバージョン	備考
MySQL 5.1.73 または 5.7.17	デフォルトバージョンは 5.1.73 お客様操作で任意にバージョンの切り替え可能
PostgreSQL 8.4.20	PostgreSQL はバージョン変更が出来ません



• 注意

- MySQL のバージョンを 5.1 から 5.7 に変更する場合、5.1 のデータは 5.7 に引き継がれて継続して利用することができます。
- MySQL のバージョンを 5.7 から 5.1 に戻す場合、5.7 で更新されたデータは引き継がれず削除され、最後に 5.1 から 5.7 に変更した時点のデータに戻ります。

9. アプリケーション

9.4.2. MySQL

MySQL の利用開始

データベースの画面では、MySQL の設定変更、起動と停止、パスワードの変更をすることが可能です。

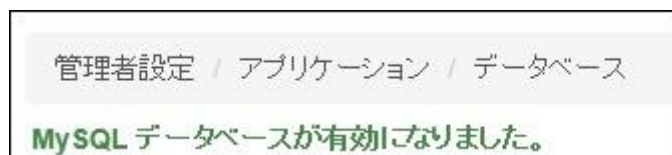
1. [管理者設定]より、[アプリケーション]をクリック後、 [データベース]をクリックし、MySQL の[起動]をクリックします。



2. MySQL の[起動]をクリックします。



3. 「MySQL データベースが有効になりました。」というメッセージが表示されましたら、MySQL の起動は完了です。



9. アプリケーション

MySQL5.7 へのアップグレード

MySQL 5.7 へのアップグレードする手順をご説明します。

1. [管理者設定]より、[アプリケーション]をクリック後、[データベース]をクリックします。



2. MySQL の設定をクリックします。



3. パスワードを入力し、「MySQL 5.7 へのバージョン変更」をクリックします。

The screenshot shows the 'バージョン' (Version) page. It contains a warning message, the current version (5.1), a password input field, and a button to change the version to MySQL 5.7.

MySQLサーバーのバージョンを変更できます。

ご注意
MySQL5.7に变更后、再度MySQL5.1に変更した場合、MySQL5.7上で作成されたデータは引き継がれません。
phpMyAdminであらかじめデータのバックアップをお取りください。
MySQLサーバーが停止している場合はバージョン変更のため、起動されます。

ご利用中のバージョン
5.1

パスワード
●●●●●●●●

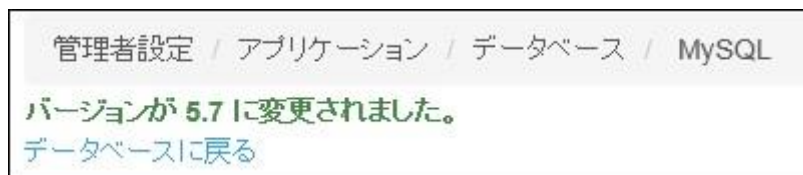
MySQL5.7にバージョン変更

9. アプリケーション

4. 確認画面が表示されますので、[OK]をクリックします。



5. 「バージョンが 5.7 に変更されました。」と表示されます。



4. 「MySQL 5.7 へのバージョン変更が完了しました」 と表示され、「バージョン」欄が 5.7.17 に変更されていれば完了です。



● アドバイス

・アップグレード後にバージョンを MySQL5.1 に戻したい場合は、動画面の[MySQL5.1 にバージョン変更]からダウングレードすることができます。

9. アプリケーション

MySQL の停止

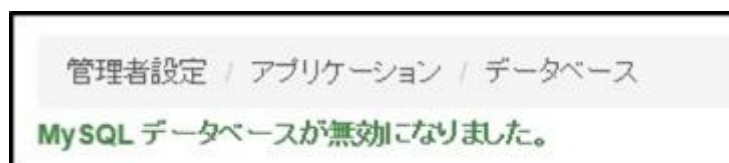
1. [管理者設定]より、[アプリケーション]をクリック後、[データベース]をクリックします。



2. MySQL の[停止]をクリックします。



3. 「MySQL データベースが無効になりました。」というメッセージが表示されましたら、MySQL の停止は完了です。



• 注意

MySQL を利用しているアプリケーションがある場合、無効にすることにより、正常にご利用できなくなりますのでご注意ください。

9. アプリケーション

MySQL のパスワード変更

1. [管理者設定]の[データベース]から MySQL の[設定]をクリックします。



2. 「パスワード」 欄に新しいパスワードを入力後[保存]をクリックします。

パスワード変更

パスワード

パスワードを入力

パスワードを入力(確認用)

保存

3. 下記画面のように「MySQL のパスワードを変更しました。」 と表示されましたら完了です。



• 注意

MySQL をご利用しているアプリケーションがある場合、パスワードを変更することにより正常にご利用いただけなくなります。必要に応じて新しいパスワードに変更してください。

9. アプリケーション

MySQL の設定情報

PHP からの MySQL 接続や ODBC 等を利用する場合に下記設定が必要です。

情 報	内容
ポート番号	3306
接続ホスト名	お客さまドメイン名、またはウェブサーバーの IP アドレス、または localhost
データベース名	使用するデータベース名
I D	データベースへアクセスできる権限を持つ MySQL ユーザー名
パスワード	MySQL アカウント作成時に設定したパスワード

● アドバイス

*MySQL のストレージエンジンは下記の 4 種類がご利用いただけます。

・ CSV ・ MRG_MYISAM ・ MEMORY ・ MyISAM

MySQL の文字コードは UTF-8 を使用しています。

● 注意

【お客さまご契約の COTOHA Meeting Assist サーバー外からの ODBC 接続】

・ MySQL5.1 の場合、MySQL ユーザーの特権変更が必要です。

・ MySQL5.7 の場合

MySQL ユーザーの特権変更および /etc/my.cnf の設定が必要です。

・ InnoDB は MySQL5.7 へアップデートを実施する事により利用可能です。

またデータベース作成時に InnoDB を選択することは出来ません。

テーブル作成時にてご利用可能となります。

※MySQL5.1 では InnoDB はご利用いただけません。

【MySQL5.7 での InnoDB ご利用方法】

phpMyAdmin にてテーブルの作成時、ストレージエンジンを「InnoDB」 に設定してください。

※テーブル作成後にストレージエンジンを変更することはできません。

※初期値では MyISAM が適用されます。

9. アプリケーション

9.4.3. phpMyAdmin

phpMyAdmin の起動

MySQL をブラウザ上で管理するためのソフト「phpMyAdmin」のインストール方法をご説明します。

1. [管理者設定]より、[アプリケーション]をクリック後、[データベース]をクリックします。



2. phpMyAdmin の[有効化]をクリックします。



3. 下記画面のように「phpMyAdmin を有効化しました。」 と表示されましたら完了です。



• 注意

MySQL サービスを起動していないと phpMyAdmin をご利用いただけません。

MySQL が停止している場合は、本書「MySQL」の項をご参照の上 MySQL を起動してください。

9. アプリケーション

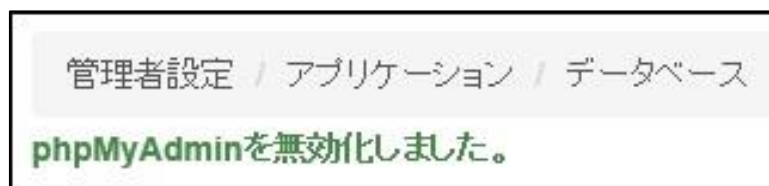
phpMyAdmin の停止

1. [管理者設定]の[データベース]から phpMyAdmin の[無効化]をクリックします。



サービス名	ステータス	操作
MySQL	起動中	設定 停止
PostgreSQL	停止中	設定 起動
phpMyAdmin	有効	設定 無効化
phpPgAdmin	無効	設定 有効化

2. 下記画面のように「 phpMyAdmin を無効化しました。 」 と表示されましたら完了です。



9. アプリケーション

phpMyAdmin のログイン

1. [管理者設定]より[アプリケーション]から[データベース]をクリック後、[phpMyAdmin を開く]をクリックします。

データベース		
サービス名	ステータス	操作
MySQL	起動中	設定 停止
PostgreSQL	停止中	設定 起動
phpMyAdmin	有効	設定 無効化
phpPgAdmin	無効	設定 有効化

22.「ユーザー名」と「パスワード」を入力し [実行]をクリックします。



The image shows the phpMyAdmin login interface. At the top is the phpMyAdmin logo and the text 'phpMyAdmin へようこそ'. Below this is a language selection section with a dropdown menu set to '日本語 - Japanese'. Underneath is a 'ログイン' (Login) button. The login form consists of two input fields: 'ユーザー名:' (Username) and 'パスワード:' (Password). Both fields are highlighted with red rectangles. At the bottom right of the form is an '実行' (Execute) button, also highlighted with a red rectangle.

● アドバイス

ログインには、サーバー管理者 ID と「MySQL のパスワード変更」で設定したパスワードを使用します。

9. アプリケーション

9. アプリケーション

3. ログインが完了すると、以下の管理画面が表示されます。



・ 注意

MySQL や phpMyAdmin の利用操作方法などは**サポート対象外**となります。

9. アプリケーション

9.4.4. PostgreSQL

PostgreSQL の利用開始

データベースの画面では、PostgreSQL の設定変更、起動と停止、パスワードの変更をすることが可能です。

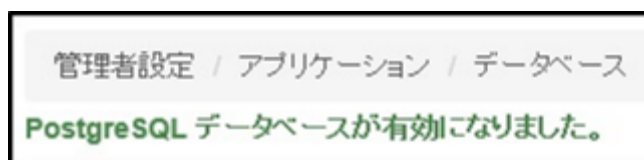
1. [管理者設定]より、[アプリケーション]をクリック後、[データベース]をクリックします。



2. PostgreSQL の[起動]をクリックします。



3. 「PostgreSQL データベースが有効になりました。」というメッセージが表示されましたら、PostgreSQL の起動は完了です。



9. アプリケーション

PostgreSQL の停止

1. [管理者設定]より、[アプリケーション]をクリック後、[データベース]をクリックします。



2. PostgreSQL の[停止]をクリックします。



3. 「PostgreSQL データベースが無効になりました。」というメッセージが表示されましたら、PostgreSQL の停止は完了です。

• 注意

PostgreSQL を利用しているアプリケーションがある場合、無効にする事により正常にご利用できなくなりますのでご注意ください。

9. アプリケーション

PostgreSQL のパスワード変更

1. [管理者設定]の[データベース]から PostgreSQL の[設定]をクリックして開きます。



サービス名	ステータス	操作
MySQL	停止中	設定 起動
PostgreSQL	起動中	設定 停止
phpMyAdmin	無効	設定 有効化
phpPgAdmin	無効	設定 有効化

1. 「パスワード」 欄に新しいパスワードを入力後[保存]をクリックします。



パスワード変更

パスワード

パスワードを入力

パスワードを入力(確認)

保存

3. 下記画面のように「PostgreSQL のパスワードを変更しました。」と表示されましたら完了です。



• 注意

PostgreSQL を利用しているアプリケーションがある場合、パスワードを変更する事により正常にご利用できなくなります。必要に応じて新しいパスワードに変更してください。

9. アプリケーション

9.4.5. phpPgAdmin

phpPgAdmin の起動

MySQL をウェブブラウザから管理可能になる「phpPgAdmin」のインストール方法をご説明します。

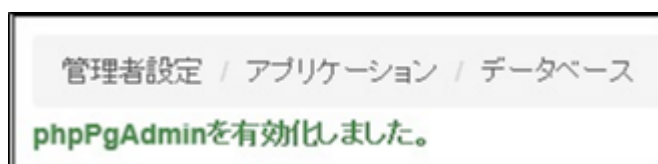
1. [管理者設定]より、[アプリケーション]をクリック後、[データベース]をクリックします。



2. phpPgAdmin の[有効化]をクリックします。



3. 下記画面のように「phpPgAdmin を有効化しました。」と表示されましたら完了です。



• 注意

PostgreSQL サービスを起動していないと phpPgAdmin をご利用いただけません。

PostgreSQL が停止している場合は、本書「PostgreSQL」の項をご参照の上 PostgreSQL を起動してください。

9. アプリケーション

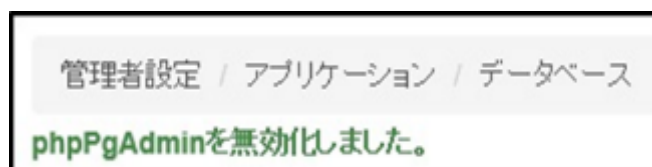
phpPgAdmin の停止

1. [管理者設定]の[データベース]から phpPgAdmin の[無効化]をクリックします。



サービス名	ステータス	操作
MySQL	停止中	設定 起動
PostgreSQL	起動中	設定 停止
phpMyAdmin	無効	設定 有効化
phpPgAdmin	有効	設定 無効化

2. 下記画面のように「 phpPgAdmin を無効化しました。 」 と表示されましたら完了です。



9. アプリケーション

phpPgAdmin のログイン

1. [管理者設定]メニューの[アプリケーション]から[データベース]をクリック後、[phpPgAdmin を開く]をクリックします。



サービス名	ステータス	操作
MySQL	停止中	設定 起動
PostgreSQL	起動中	設定 停止
phpMyAdmin	無効	設定 有効化
phpPgAdmin	有効	設定 無効化

2. 左上のメニューの PostgreSQL をクリックし、「ユーザー名」と「パスワード」を入力し[実行]をクリックします。



phpPgAdmin 5.0.4

SQL | 履歴 | 検索 | ログアウト

phpPgAdmin:

PostgreSQL にログイン

ユーザー名

パスワード

ログイン

• 注意

ログインには、ID(postgres)と「4.3.12 PostgreSQL」のパスワード変更で設定したパスワードを使用します。

9. アプリケーション

3. ログインが完了すると、以下の管理画面が表示されます。



• 注意

PostgreSQL や phpPgAdmin の利用操作方法などは**サポート対象外**となります。

10. システム

この章では、本サーバー内のシステムメニュー機能についてご案内します。

10.1. 定期実行タスク

10.1.1. 定期実行タスクの概要

タスク管理とは、サーバー上で実行可能なコマンドやスクリプトを、自動的に実行する機能です。タスク管理は、[管理者設定]から、[システム]をクリックし[定期実行タスク]をクリックします。

管理者設定 / システム / 定期実行タスク

定期実行タスク管理

日時を指定して実行するコマンドやスクリプトを設定できます。

タスク実行通知

メールアドレスを入力

タスク一覧

<input type="checkbox"/>	タスクグループ	コマンド	実行ユーザー	有効	分	時	日	月	曜日	その他	処理
--------------------------	---------	------	--------	----	---	---	---	---	----	-----	----

● 注意

スケジュールを設定してからタイムゾーンを変更すると、システムが正常に動作しなくなる可能性があります。タスク管理を使用する際は、予めタイムゾーンをご確認ください。

タイムゾーンの変更手順については「利用者マニュアル」をご参照ください。

● アドバイス

タスク管理を使用するためには、シェルスクリプトやプログラムを作成し、サーバー上に保存しておく必要があります。また、外套のスクリプトやプログラムには実行権限が必要です。

スクリプトやプログラムに関する作成や実装、問題発生時の対処などは、お客様の事項責任で実施いただくようお願いいたします。

10. システム

10.1.2. 定期実行タスクの作成

タスク管理にタスクを作成すると、ある時間が来たら自動的にスクリプトが実行されます。

ここでは、「~/users/ドメイン管理者/test.sh」というスクリプトを、毎朝 6 時に自動起動する例をご説明します。

なお、ドメイン管理者のホームに test.sh があるものとします。

1. はじめに、「~/users/ドメイン管理者/test.sh」に実行権限をつけます。ホーム画面上部にある [ファイル] をクリックします。



2. /users/ドメイン管理者 ディレクトリを開き、 test.sh の[詳細]をクリックします。

<input type="checkbox"/>	名前	最終更新日	サイズ	操作
<input type="checkbox"/>	www	2018/07/18		
<input type="checkbox"/>	shared	2018/07/18		名前変更 コピー 移動 圧縮 共有 削除
<input type="checkbox"/>	test.sh	2018/07/23	0.00 KB	詳細 名前変更 コピー 移動 圧縮 共有 削除

3. [属性変更]をクリックします。

ファイルマネージャ	
ファイル名とパス	ホームディレクトリ / users / example.co.jp_admin / test.sh
タイプ	unknown
サイズ	0.00KB
最終更新日時	2018/07/23 02:56 PM
操作	削除 圧縮 共有 コピー 移動 名前変更 属性変更 所有者変更 ショートカット作成
オプション	無効

10. システム

4. 所有者の「実行」にチェックを入れて、[保存]をクリックします。

属性変更

test.shの属性を変更します。

属性設定	所有者	読込	書込	実行
	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	グループ	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	その他	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

5. 次に、タスク管理にタスクを作成します。[システム]の[定期実行タスク]をクリックします。

管理者設定 / システム / 定期実行タスク

定期実行タスク管理

日時を指定して実行するコマンドやスクリプトを設定できます。

タスク実行通知先

メールアドレスを入力

タスク一覧

<input type="checkbox"/>	タスクグループ	コマンド	実行ユーザー	有効	分	時	日	月	曜日	その他	処理
--------------------------	---------	------	--------	----	---	---	---	---	----	-----	----

6. [新規作成]をクリックします。

定期実行タスク管理

日時を指定して実行するコマンドやスクリプトを設定できます。

タスク実行通知先

メールアドレスを入力

タスク一覧

<input type="checkbox"/>	タスクグループ	コマンド	実行ユーザー	有効	分	時	日	月	曜日	その他	処理
--------------------------	---------	------	--------	----	---	---	---	---	----	-----	----

10. システム

7. 以下内容を選択、入力したのち[保存]をクリックします。

タスク作成

新しいタスクを作成します。

タスクグループ

[1]

○新規作成

●既存から選択

コマンド

[2]

実行権限

[3]

ユーザー選択

example.co.jp_admin (example.co.jp_admin)

タスクの実行間隔

●標準パターン [4]

○日時指定 [5]

標準パターン

毎年

分

時

日

月

曜日

[6]

保存

保存・次の作成

キャンセル

10. システム

■各項目の説明

番号	項目	内容
[1]	タスクグループ	タスクがたくさんある場合に、グループを作成すると便利です。 例：「daily」「weekly」「system」など 既に作成してあるグループがあれば、「既存から利用」のプルダウンから選択できます。
[2]	コマンド	スクリプトのパスを入力します。 scripts ディレクトリの test.sh を実行する場合は、~/scripts/test.sh と入力します。
[3]	実行権限	タスクの実行を行うユーザーを設定します。
[4]	タスクの実行間隔	標準パターン選択を選択した場合、プルダウンから、「毎年」「毎月」「毎週」「毎日」「毎時」「リブート時」を選択できます。日時指定を選択した場合、日時指定の項目から日時を設定できます。
[5]	日時指定	分：「毎分」「2 分毎」「5 分毎」「10 分毎」「15 分毎」「0…59 分」から選択 時：「毎時」「2 時間毎」「4 時間毎」「6 時間毎」「0…23 時」から選択 日：「毎日」「1…31 日」から選択 月：「毎月」「1…12 月」から選択 曜日：「毎日」「日, 月, 火, 水, 木, 金, 土 曜日」から選択 各項目の組み合わせにより、次のような日時指定ができます。 例：毎週水曜日の 6:40 に実行、毎月 1 日の 4 時に実行、など
[6]	保存ボタン	保存ボタンをクリックすると、タスクが作成されます。

8. 「タスクが保存されました。」と表示され、「コマンド」欄にタスクが反映されたら完了です。

管理者設定 / システム / 定期実行タスク

タスクが保存されました

定期実行タスク管理

日時を指定して実行するコマンドやスクリプトを設定できます。

タスク実行通知先

メールアドレスを入力

設定

新規作成

タスク一覧

<input type="checkbox"/>	タスクグループ	コマンド	実行ユーザー	有効	分	時	日	月	曜日	その他	処理
<input type="checkbox"/>	test	test.sh	example.co.jp_admin	✓						daily	編集 無効 削除

10. システム

10.1.3. 定期実行タスクの処理

作成済みの定期実行タスクを編集して実行内容や実行時間を変更したり、タスクの削除、タスクの無効化が可能です。

タスク一覧											
<input type="checkbox"/>	タスクグループ	コマンド	実行ユーザー	有効	分	時	日	月	曜日	その他	処理
<input type="checkbox"/>	test	test.sh	example.co.jp_admin	✓						daily	 編集  無効  削除

項目	内容
編集	タスクの実行時間や、コマンドを別のスクリプトに変更することができます。
無効/有効	タスクの実行を一時的に停止することができます。[無効]状態になると[有効]ボタンにボタンが切り替わります。再度タスクを有効にするには[有効]ボタンをクリックします。
削除	不要なタスクを削除することができます。

10. システム

10.2. IP アクセス制限

10.2.1. IP アクセス制限の概要

IP アクセス制限とは、特定の IP アドレスからのアクセスを制限する機能です。

外部からの攻撃や不正アクセス防止として利用できます。

IP アクセス制限は、[システム]をクリックし、[IP アドレス制限]から設定できます。初期状態では、日本国外からのアクセスを拒否し、日本国内のみアクセスが許可になっています。

The screenshot shows the 'IP Access Restriction' settings page. On the left is a sidebar menu with 'システム' (System) highlighted. The main content area is titled 'システム設定 / IPアクセス制限'. It contains three main sections: 'IPアクセス制限' (IP Access Restriction), 'サーバールール' (Server Rules), and 'サービス (ポート) 毎のルール' (Rules per Service (Port)).

IPアクセス制限

本コントロールパネルや各サービス (ポート) のIPアクセス制限を設定できます。

INPUT	FORWARD	OUTPUT
DROP(拒否)	DROP(拒否)	ACCEPT(許可)

☐ ポートスキャン対策とSYNフラッド対策を有効にする

コントロールパネルのルール

本コントロールパネルのログインを制限できます。
設定内容によっては現在ご利用中の端末からもコントロールパネルにログインができなくなりますのでご注意ください。

デフォルトの挙動	例外
<input type="checkbox"/> 拒否	許可したいIP <input checked="" type="checkbox"/> 国内IP全て <input type="button" value="個別設定"/>

サービス (ポート) 毎のルール

サービスとポート	デフォルトの挙動	例外
http TCP/80	<input type="checkbox"/> 拒否	許可したいIP <input checked="" type="checkbox"/> 国内IP全て <input type="button" value="個別設定"/>

・ アドバイス

議事録機能に対し IP アクセス制限を行う場合は以下の 2 項目を設定してください。

- ①コントロールパネルのルール
- ②サービス[ポート]毎のルール (https TCP/443)

・ 注意

IP アクセス制限を設定する際には、制限対象の IP アドレスを確認されるよう強くお勧めします。
誤って設定しますと、サーバーへのアクセスが出来なくなる可能性があります。

10. システム

10.2.2. 個別設定

1. https 通信を特定の IP アドレスからのアクセスのみを許可し、それ以外は拒否する場合の設定例です。
2. [管理者設定]から[システム]をクリックし、[IP アクセス制限]をクリックします。

管理者設定

システム設定 / IPアクセス制限

IPアクセス制限

本コントロールパネルや各サービス (ポート) のIPアクセス制限を設定できます。

サーバールール

INPUT	FORWARD	OUTPUT
DROP(拒否)	DROP(拒否)	ACCEPT(許可)

☐ ポートスキャン対策とSYNフラッド対策を有効にする

コントロールパネルのルール

本コントロールパネルのログインを制限できます。
設定内容によっては現在ご利用中の端末からもコントロールパネルにログインができなくなりますのでご注意ください。

デフォルトの挙動	例外
<input type="checkbox"/> 拒否	許可したいIP <input checked="" type="checkbox"/> 国内IP全て ▼ 個別設定

サービス (ポート) 毎のルール

サービスとポート	デフォルトの挙動	例外
http TCP/80	<input type="checkbox"/> 拒否	許可したいIP <input checked="" type="checkbox"/> 国内IP全て ▼ 個別設定
https TCP/443	<input type="checkbox"/> 拒否	許可したいIP <input checked="" type="checkbox"/> 国内IP全て ▼ 個別設定

3. [国内 IP 全て]のチェックを外し、個別設定をクリックします。

https
TCP/443

☐ 拒否

許可したいIP
☐ 国内IP全て ▼ 個別設定

4. IP アドレス入力画面に、許可する IP を入力します。

↑ 個別設定

https
TCP/443

☐ 拒否

許可したいIP
☐ 国内IP全て

IPアドレス (IPv4) / サブネットマスク	
1	203.0.113.100 / 32
2	203.0.113.101 / 32
3	203.0.113.102 / 32

追加 例外の一括解除

● アドバイス

- ・ [追加]をクリックすると入力項目を増やすことができます。
- ・ [例外の一括解除]をクリックすると、入力した IP アドレスをクリアできます。

5. 許可する IP の入力が終わりましたら、画面下の[設定を保存する]をクリックします。

↑ 個別設定

IPアドレス (IPv4) / サブネットマスク	
1	203.0.113.100 / 32
2	203.0.113.101 / 32
3	203.0.113.102 / 32

追加 例外の一括解除

https TCP/443 拒否 許可したいIP ☐ 国内IP全て

smtp 許可したいIP

TCP/21 ☒ 国内IP全て

設定を保存する

6. 確認画面が表示されますので[OK]をクリックします。

bizmw-login.com の内容

IPアクセス制限の設定を保存します。よろしいですか？

キャンセル OK

10. システム

7. [IP アクセス制限設定が変更されました。]と表示されましたら設定は完了です。



8. 個別設定がされている場合は、「〇〇件設定済」と表示され、[個別設定]をクリックすると内容を確認できます。

コントロールパネルのルール：入力エラーについて

「コントロールパネルのルール」で「デフォルトの挙動」を[拒否]に設定し、[国内IP全て]を選択せず[IPアドレス]も空欄のまま[設定を保存する]をクリックした場合は、【入力エラー】のアラートが表示されて保存できません。

[国内IP全て]を選択するか、個別設定の[IPアドレス]を入力してから[設定を保存する]をクリックしてください。

コントロールパネルのルール

本コントロールパネルのログインを制限できます。
設定内容によっては現在ご利用中の端末からもコントロールパネルにログインができなくなりますのでご注意ください。

サービス(ポート)毎のルール

bizmw-login.com の内容

【入力エラー】

「コントロールパネルのルール」に許可されているIPアドレスがひとつも登録されていないため、本コントロールパネルにログインができなくなります。以下のいずれかの設定をしてください。

- ・例外の「個別設定」にIPを登録する
- ・例外の「国内IP全て」にチェックをいれる
- ・「デフォルトの挙動」を許可する

OK

10. システム

制限される動作と影響

サービス	ポート番号	制限対象の動作	推奨	推奨・非推奨の理由
HTTP	80	ホームページを閲覧する（暗号化無） 例：http://example.jp/	-	ホームページアクセスに支障が出る可能性があります。
HTTP over SSL	443	ホームページを閲覧する（暗号化有） 例：https://example.jp/	-	フォームメール（資料請求、問合せ等）の利用に支障が出る可能性があります。
SMTP	25	利用者、外部からのメール送信	-	メール送信に支障が出る可能性があります。
Message submission	587	利用者、外部からのメール送信	-	
POP	110	利用者、外部環境からメールソフトを用いたメール受信（暗号化有）	○	不正アクセス防止。 ただし、利用範囲が社内等に限定され、利便性に欠く場合があります。
POP over SSL	995	利用者、外部環境からメールソフトを用いたメール受信（暗号化無）	○	
IMAP	143	利用者、外部環境からメールソフトを用いたメールデータの同期（暗号化無）	○	
IMAP over SSL	993	利用者、外部環境からメールソフトを用いたメールデータの同期（暗号化有）	○	
MySQL	3306	データベースへのアクセス	-	ホームページアクセスに支障が出る可能性があります。
PostgreSQL	5432	データベースへのアクセス	-	
FTP	21	FFFTP でホームページを設置する	○	ホームページ改竄防止

*ポートスキャンと SYN フラッド対策には全ポートを推奨

アクセスが集中した場合、防御機能が働き、サイトの閲覧が出来なくなる可能性があります。

● アドバイス

- ・ 初期設定としての推奨内容となります。
 - ・ 上記以外のサービス、ポートには設定出来ません。
 - ・ 不正アクセス、または攻撃を完全に防止する機能ではございません。
- 上記を参考に、お客さまのご利用環境に応じて設定を行ってください。

10. システム

10.2.3. 海外 IP アドレスフィルタ

海外 IP アドレスからのアクセスを拒否し、不正アクセスや悪意のある攻撃への対策が可能です。

※ご利用開始直後の設定では海外 IP アドレスからのアクセスを拒否する設定となっております。

海外 IP アドレスからのアクセス拒否状態を解除する

1. [管理者設定]メニューより、[システム]内の[IP アクセス制限]をクリックします。

管理者設定

システム設定 / IPアクセス制限

IPアクセス制限

本コントロールパネルや各サービス (ポート) のIPアクセス制限を設定できます。

サーバールール

INPUT	FORWARD	OUTPUT
DROP(拒否)	DROP(拒否)	ACCEPT(許可)

☐ ポートスキャン対策とSYNフラッド対策を有効にする

コントロールパネルのルール

本コントロールパネルのログインを制限できます。
設定内容によっては現在ご利用中の端末からもコントロールパネルにログインができなくなりますのでご注意ください。

デフォルトの挙動	例外
<input type="checkbox"/> 拒否	許可したいIP <input checked="" type="checkbox"/> 国内IP全て <input type="button" value="個別設定"/>

サービス (ポート) 毎のルール

サービスとポート	デフォルトの挙動	例外
http TCP/80	<input type="checkbox"/> 拒否	許可したいIP <input checked="" type="checkbox"/> 国内IP全て <input type="button" value="個別設定"/>
https TCP/443	<input type="checkbox"/> 拒否	許可したいIP <input checked="" type="checkbox"/> 国内IP全て <input type="button" value="個別設定"/>

2. 制限を解除したいサービスとポートについて、デフォルトの挙動の項目の[拒否]の項目をクリックするとダイアログが表示されます。[OK]をクリックします。

システム設定 / IPアクセス制限

IPアクセス制限

本コントロールパネルや各サービス (ポート) のIPアクセス制限を設定できます。

サーバールール

INPUT	FORWARD	OUTPUT
DROP(拒否)	DROP(拒否)	ACCEPT(許可)

☐ ポートスキャン対策とSYNフラッド対策を有効にする

コントロールパネルのルール

本コントロールパネルのログインを制限できます。
設定内容によっては現在ご利用中の端末からもコントロールパネルにログインができなくなりますのでご注意ください。

デフォルトの挙動	例外
<input type="checkbox"/> 拒否	許可したいIP <input checked="" type="checkbox"/> 国内IP全て <input type="button" value="個別設定"/>

サービス (ポート) 毎のルール

サービスとポート	デフォルトの挙動	例外
http TCP/80	<input type="checkbox"/> 拒否	許可したいIP <input checked="" type="checkbox"/> 国内IP全て <input type="button" value="個別設定"/>
https TCP/443	<input type="checkbox"/> 拒否	許可したいIP <input checked="" type="checkbox"/> 国内IP全て <input type="button" value="個別設定"/>

bizmw-login.com の内容
デフォルトの挙動を切り替えると個別設定はクリアされます。切り替えますか？

10. システム

3. [拒否]と表示されていた項目が[許可]に変わります。

サービスとポート	デフォルトの挙動	例外
http TCP/80	<input checked="" type="checkbox"/> 許可	拒否したいIP ▼ 個別設定
https	<input type="checkbox"/> 拒否	許可したいIP ▼ 個別設定

※全てのサービスとポートで制限を解除したい場合は、項目毎に繰り返し操作を行ってください。

4. 最下部の[設定を保存する]ボタンをクリックし、表示されるダイアログの[OK]をクリックします。

TCP/3306	<input type="checkbox"/>	bizmw-login.com の内容 IPアクセス制限の設定を保存します。よろしいですか？ キャンセル OK	▼ 個別設定
PostgreSQL TCP/5432	<input type="checkbox"/>		▼ 個別設定
FTP TCP/21	<input checked="" type="checkbox"/> 許可	拒否したいIP	▼ 個別設定
設定を保存する			

5. 海外 IP フィルタ設定が変更されました。と表示され登録完了です。

注意

- ・ Office365,Gmail,AWS 等のメールサービス(海外のサーバー間の通信) をご利用の場合、メール不着等の影響が出る可能性がございますので、予め制限を解除してご利用ください。
- ・ Google クローラー等をウェブコンテンツに含める場合、解析結果等に影響が出る可能性がございますので、予め制限を解除してご利用ください。
- ・ 当機能（制限）におきまして、破棄されたデータは弊社で復旧できません。お手数ではございますが、制限解除後にデータの再送手配等を行ってください。

10. システム

10.3. ファイルバックアップ

10.3.1. ファイルバックアップの概要

ファイルバックアップの設定を行うと、ファイルマネージャーの復元ファイル機能を利用して、ファイルの復元が利用できます。

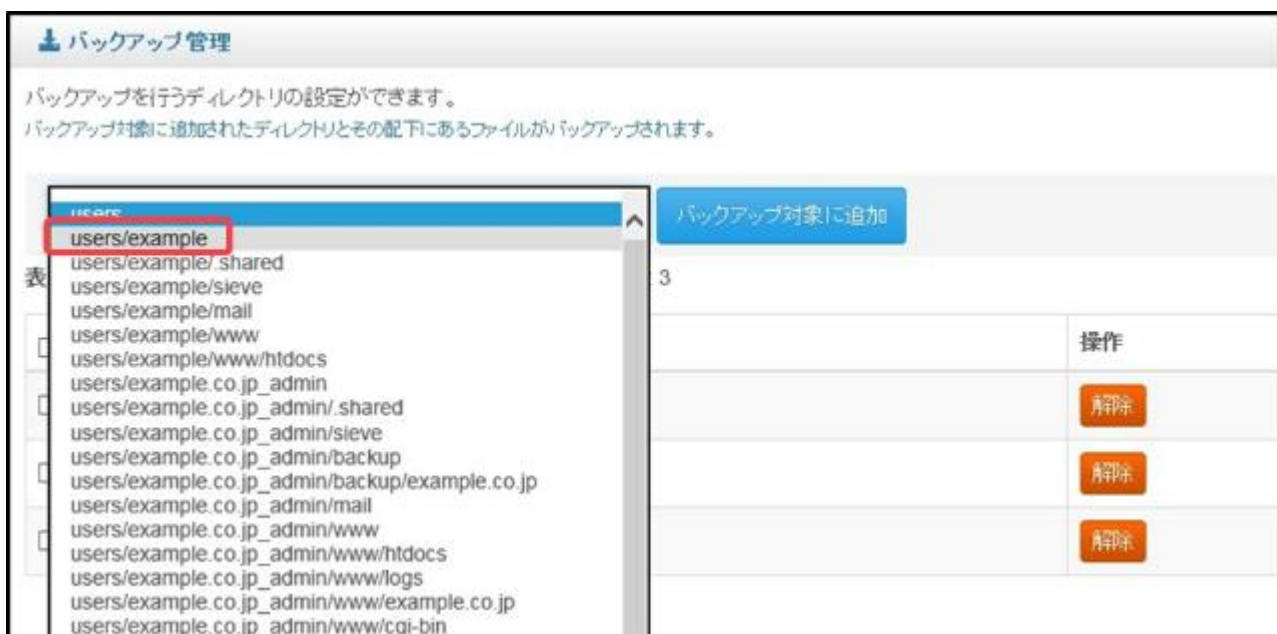
初期状態で、サーバー上の重要なファイル・ディレクトリはバックアップ対象として設定されています。必要に応じて、個別に追加設定を行ってください。

10.3.2. バックアップ対象の追加

1. [管理者設定]で、[システム]をクリックし、[ファイルバックアップ]をクリックします。



2. バックアップの対象に追加したいディレクトリをプルダウンから選択します。



10. システム

3. 対象ディレクトリを選択し[バックアップ対象に追加]をクリックします。

バックアップ管理

バックアップを行うディレクトリの設定ができます。
バックアップ対象に追加されたディレクトリとその配下にあるファイルがバックアップされます。

users/example ▼

バックアップ対象に追加

表示 10 / ページ 1 - 3 件目を表示 全数: 3

4. 確認画面が表示されますので、[追加]をクリックします。

バックアップ対象追加

以下のディレクトリおよびディレクトリ内のファイルをバックアップの対象に追加します。

users/example

追加 キャンセル

5. バックアップ対象が追加されれば完了です。

バックアップ管理

バックアップを行うディレクトリの設定ができます。
バックアップ対象に追加されたディレクトリとその配下にあるファイルがバックアップされます。

users ▼

バックアップ対象に追加

表示 10 / ページ 1 - 4 件目を表示 全数: 4

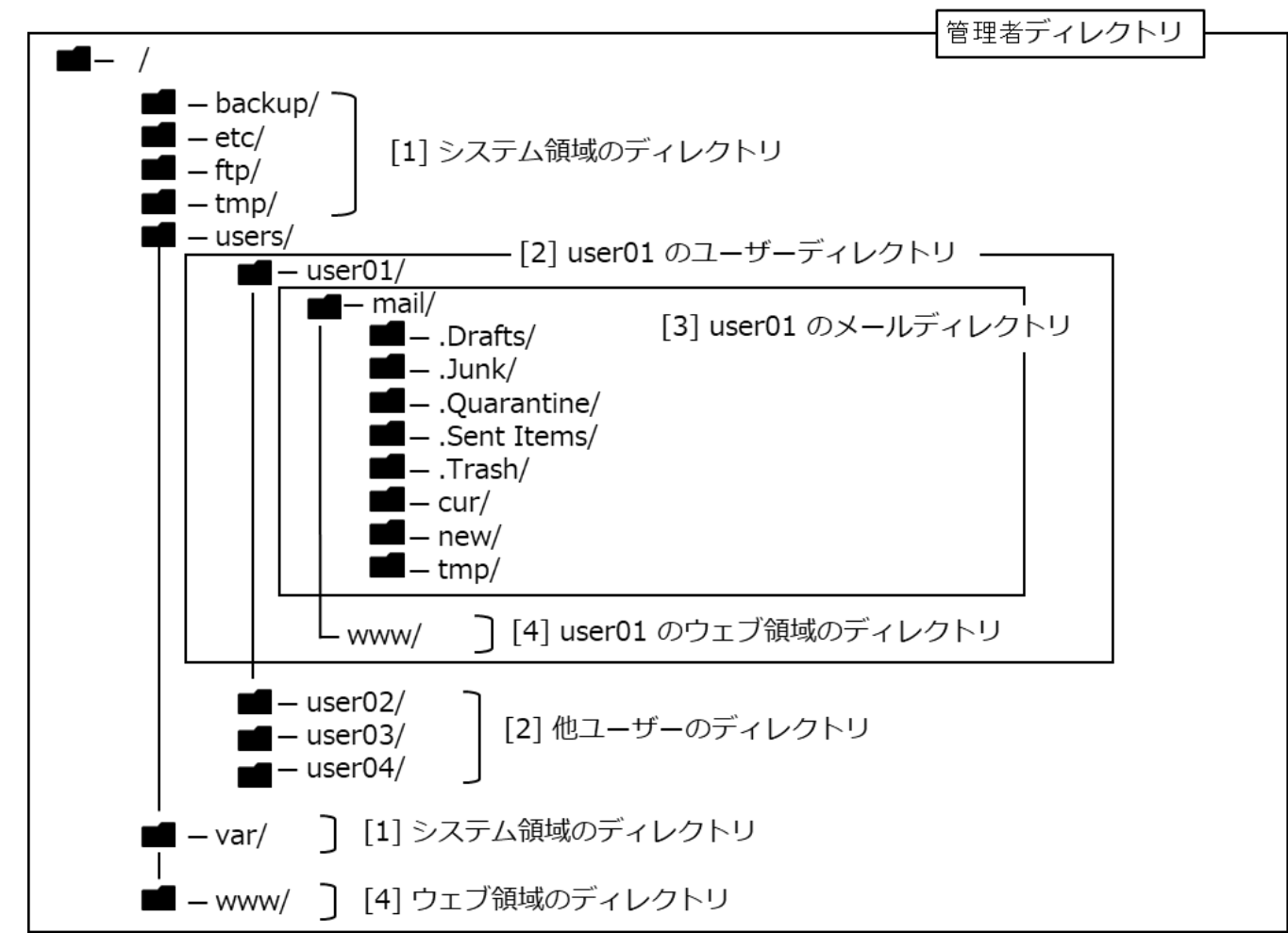
ディレクトリ名	操作
<input type="checkbox"/> etc	削除
<input type="checkbox"/> tmp	削除
<input type="checkbox"/> users/example	削除
<input type="checkbox"/> var	削除

6. バックアップ対象に追加されたディレクトリは、翌日以降にファイルマネージャから復元することが出来るようになります。

11. ディレクトリ構成

11.1. ディレクトリの概要

本サーバー内のディレクトリ構成を次に示します。



項番	ディレクトリ領域の分類	概要
1	システム領域のディレクトリ	サーバー運用上、必要なファイルが格納されるディレクトリです。
2	ユーザー領域のディレクトリ	利用者（ユーザー）毎のファイルが格納されるディレクトリです。
3	メールディレクトリ	利用者（ユーザー）毎のメールが格納されるディレクトリです。
4	ウェブ領域のディレクトリ	ウェブのコンテンツファイルをアップロードするディレクトリです

11. ディレクトリ構成

● アドバイス

- ・サーバー管理者は、全ての領域にアクセス可能です。
- ・サーバー管理者以外のユーザーは、/user/<ユーザーID>以下のディレクトリのみ参照可能です。

● 注意

Var 配下の領域に関しては、お客さまにて独自に操作は行えません。

11.2. システム領域のディレクトリ

システム領域の各ディレクトリについてご説明します。

ディレクトリ	概要
/	システム領域の最上位のディレクトリ指定は / になります。
/backup/	「ウェブサーバー」の「サイトバックアップ」のバックアップファイルが格納されます。
/etc/	各種アプリケーション（個別ルールなど）の設定ファイルが格納されています。
/tmp/	サーバー内の各種アプリケーションが作成する一時ファイルが格納されます。
/var/	主に MySQL 関連のデータが格納されています。

● 注意

システム領域のディレクトリ、もしくはディレクトリ内のファイルを誤って削除・編集した場合、システムが正常に動作しなくなることがあります。FTP や「ファイルマネージャ」を使用してシステム領域のディレクトリにアクセスする場合には、十分に注意してください。

誤って削除・編集をして、システムの修復が必要になった場合は、ファイルマネージャの「復元ファイル」からファイルを復元できる可能性があります。

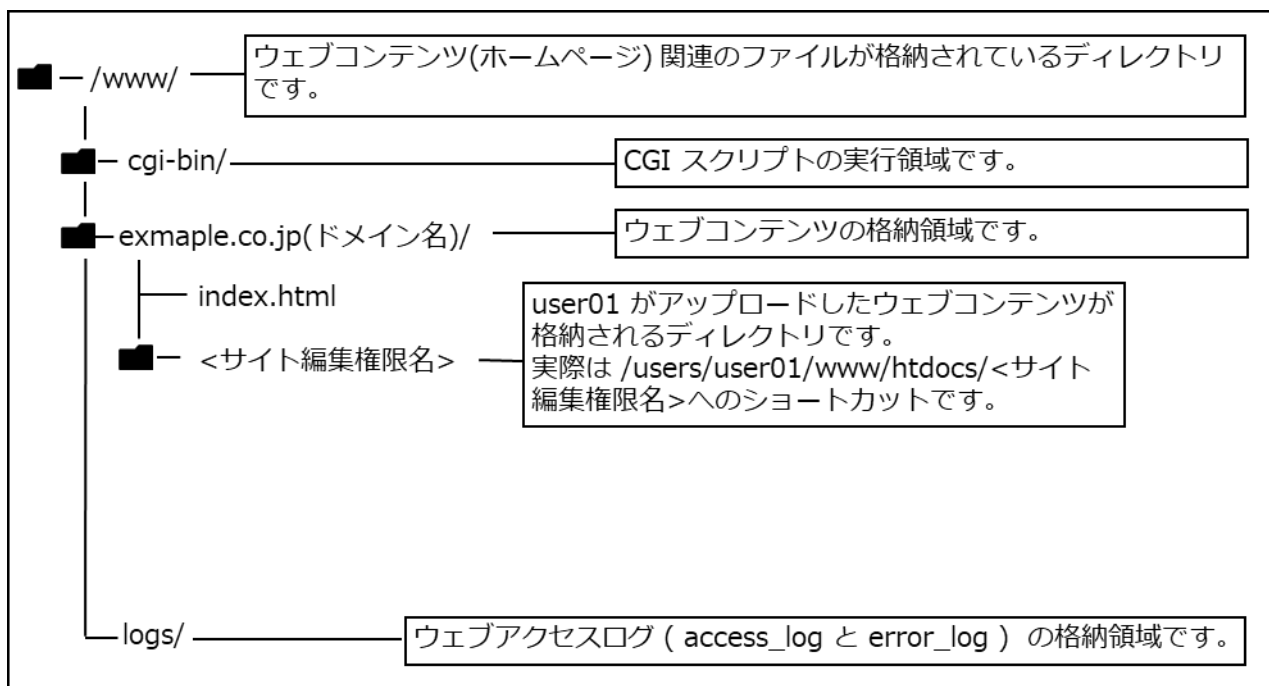
※「ファイルの復元」で復元されるファイルは、本サービスの日次バックアップ時点(午前 1 時から 5 時ごろ)のものになります。「復元ファイル」についての詳細は、利用者マニュアルをご参照ください。

11. ディレクトリ構成

11. ディレクトリ構成

11.3. ウェブ領域のディレクトリ

ウェブ領域の各ディレクトリについてご説明します。



・ 注意

- ・ 各ディレクトリを削除された場合、正常にウェブコンテンツが表示されなくなりますので、削除しないようお願いいたします。
- ・ `logs` ディレクトリを削除された場合、ウェブに関するログが正しく生成されなくなりますので、削除しないようお願いいたします。

■ サイト権限を持つ利用者のディレクトリについて

サイト権限を持つ利用者 `example` が作成された場合、利用者のユーザーディレクトリに、ウェブコンテンツを格納する領域が作成されます。

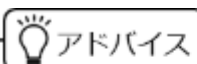
■ `example` のウェブコンテンツディレクトリ

`/users/example/www/htdocs/<サイト権限名>`

11. ディレクトリ構成



また、`/www/htdocs/<サイト権限名>`というシンボリックリンクが作成されます。
このショートカットは、`/users/ example /www/htdocs/<サイト権限名>`へ格納されます。



サイト権限名が「test」、アップロードしたウェブコンテンツ名が「index.html」の場合、`http://<お客さまドメイン>/test/`で閲覧することができます。

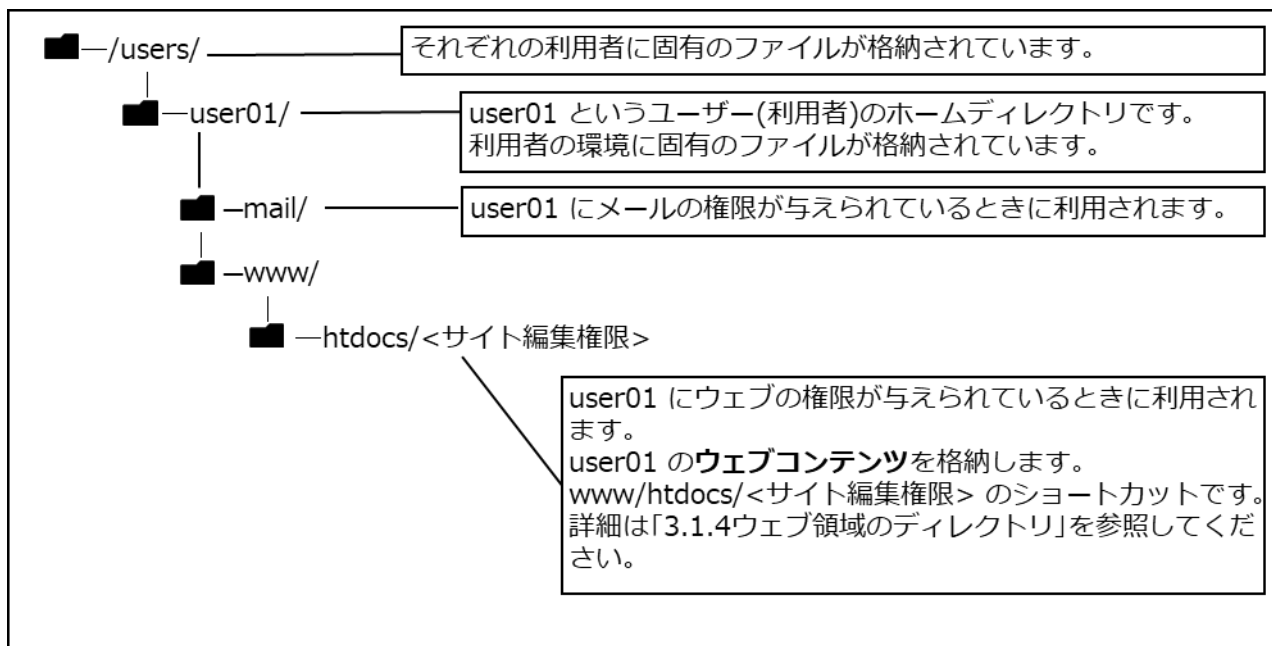
● アドバイス

サイト権限名が「test」、アップロードしたウェブコンテンツ名が「index.html」の場合、`http://<お客さまドメイン>/test/`で閲覧することができます。

11. ディレクトリ構成

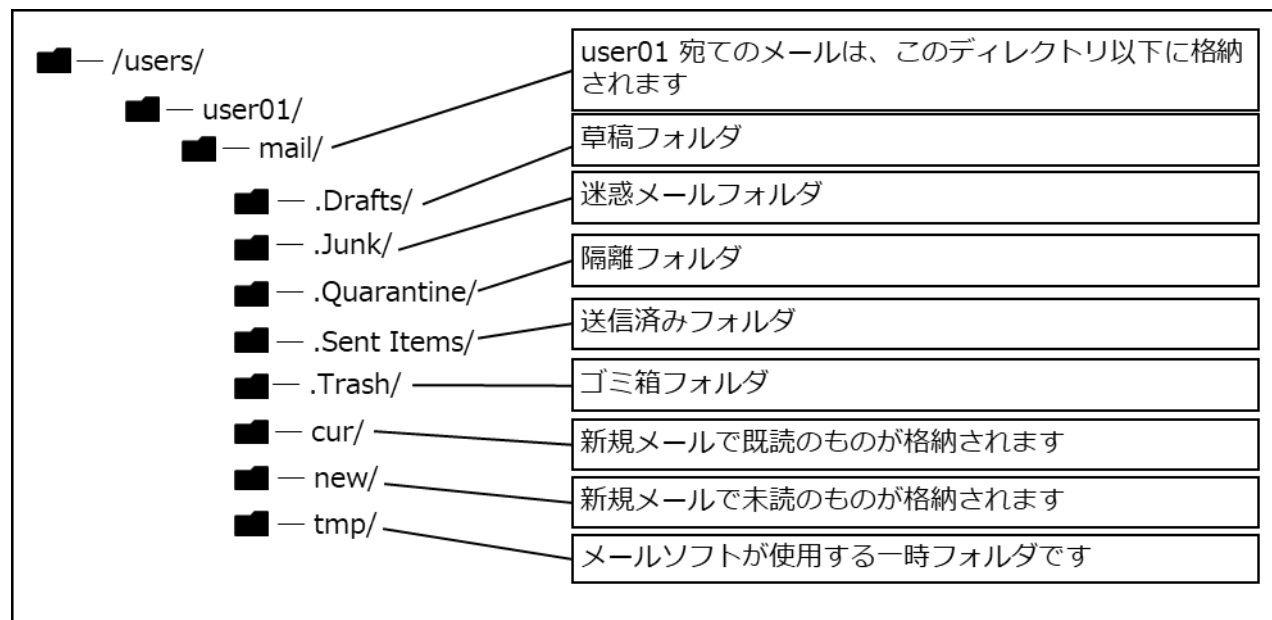
11.4. ユーザー領域のディレクトリ

ユーザー領域の各ディレクトリについてご説明します。



メールディレクトリ

メールディレクトリ内の各ディレクトリについてご説明します。



12. サービスのご利用にあたって

12.1. 本サービスの提供形態に関する注意

仮想専用サーバーについて

本サービスは1台のサーバーを複数のユーザーで共有していただく仮想専用サーバーの形態で提供いたします。

仮想専用サーバーとは、1台のサーバーに対して複数の仮想サーバーを実現するソフトウェアをインストールする事で、専用サーバーと同等の環境を実現させているサーバーを指します。

このメカニズムによって、サーバーの物理的なリソースを効率的に分割することができます。

本サービスでは、ハードウェアを複数のお客さまで共有していただく環境で構築しています。

ソフトウェアは原則、開発元から出荷された機能で実装していますが、本サービスのサーバーハードウェアは共用のサービスであり、各ユーザーではソフトウェアの一部機能で使用上の制約が発生することがあります。

同様に各ソフトウェアからの出力されるログも、アクセスログについてはお客さまが参照可能な位置に格納されておりますが、メールやFTPなど他のソフトウェアのログは、お客さまに提供している権限では参照できない位置に格納されております。

また、サーバーの障害等に関与しない受信記録の詳細な説明や、具体的な送信元 IP アドレス等の情報を開示することは電気通信事業法に定められております「通信の秘密を侵すこと」に該当するおそれがあるため、ご契約者ご本人様からのご依頼の場合であっても控えさせて頂いております。

本サービスでは、ご利用開始時より、次の機能を提供しております。

■固定 IP アドレス

各アカウントは、固定のグローバルアドレスを持っています。このアドレスは、原則として、変更されることなくご使用いただけます。

サービスへのアクセスには、インターネットブラウザを使用いたします。このため、本サービスの管理作業や各種機能をご利用していただくためには、インターネット経由でウェブにアクセスできる環境が必要になります。

■バックアップ

バックアップ（ディスク、外部記憶装置）を取得しております。ただし、バックアップの対象はハードディスク上に記録されたデータのみです。編集中の「状態」やメモリー上でのみ稼働しているデータベース等は、バックアップの対象にはなりません。

■デフォルトドメインとサーバー証明書

本サーバーには、「ユーザーID（管理者）.mwprem.net」に対応したサーバー証明書をインストール済みです。この証明書により次に示すセキュアな通信を実現できます。

- ・ https を用いたサービスへのアクセス
- ・ POP over SSL（Port 995）や SMTP over TLS（Port 587）を利用したメールサーバーへのアクセス

12.2. サポートに関する注意事項

問題が発生致しサポート窓口にご相談される場合、下記の点をご確認くださいようお願いいたします。

■サポート方法について

電話、およびメールによるサポートのみとなります。

訪問による設定サポートなどは実施しておりません。

■サポート範囲について

サポート範囲は、各種マニュアル/メールアドレスの設定/提供機能の設定までとなります。

そのためホームページの作成方法や内容などに関するサポートはいたしかねますので予めご了承ください。

■ホームページ CGI について

お客さま側で作成されたホームページ CGI の内容に関するサポートはいたしかねますので予めご了承ください。

■データベース (MySQL) や各スクリプト (PHP など) の記述について

本サービスでは、MySQL/PHP などの動作環境のみを提供しております。

データベースの操作方法や、各スクリプトの記述等に関するサポートはいたしかねますので予めご了承ください。

■ログの提供について

共用サーバーでの提供の特性上、アクセスログにつきましてはお客さまが参照可能な位置に格納されておりますが、メールや FTP などのその他のログは、お客さまが参照できない位置に格納されており、提供を行っておりませんのでご了承ください。

12. サービスのご利用にあたって

12.3. 本サービス保全に関する注意事項

本サービスは共用サーバーとなりますので、運用にあたってご留意いただきたいことがございます。

● サーバー資源の使用状況によっては、弊社から使用内容の見直しや使用状況の改善をお願いさせていただくことがございます。

また、電気通信設備の保守上又は工事上やむを得ない場合に、お客さまの収容サーバーを変更する場合がございます。この場合あらかじめそのことを契約者に通知します。ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

なお、お客さまのコンテンツ、設定情報等の変更はございません。

● 毎週木曜日午前 0:00～5:00 に定期メンテナンスを実施致します。

その作業によりメンテナンス内容によりサーバーに影響が出る可能性があります。

メンテナンスによる影響が以下のように大きい場合には、事前に下記「オペレーションサポート」ウェブにてご案内致しますので定期的なご確認をお勧めいたします。

■ メンテナンスによりサービスへ以下の影響がある場合

- (1) 動作が不安定になる可能性がある場合
- (2) サーバーが停止する可能性がある場合
- (3) サーバーを再起動する可能性がある場合

「オペレーションサポート」ウェブ（弊社の工事・故障情報サイト）

・ COTOHA Meeting Assist

<https://support.ntt.com/maintenance/service/cotoha-ma>

ソフトウェアの品質や問題点への対応には、可能な限り早い対応を行いますが、最新のセキュリティパッチや改良版については、本サービス提供環境での稼働確認などの為、ある程度のお時間をいただく可能性がございます。また機能改良版については、一定以上のお時間が掛かる場合もございますことをご留意ください。

12. サービスのご利用にあたって



COTOHA Meeting Assist 管理設定マニュアル

発行 NTTコミュニケーションズ株式会社
〒100-8019 東京都千代田区大手町2-3-1

© NTTコミュニケーションズ株式会社
本書の無断複写複製（コピー）・転載を禁じます。